

フィリピン教育省

フィリピン国
技術職業高校支援プロジェクト
(円借款附帯プロジェクト)

業務完了報告書

平成 29 年 6 月

(2017 年)

独立行政法人

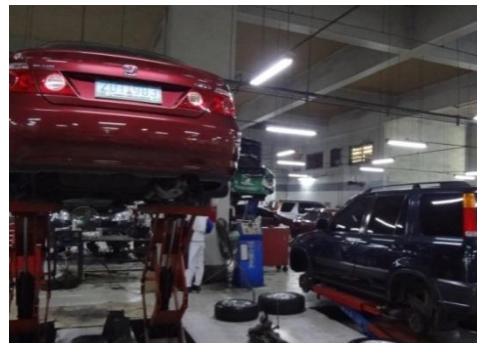
国際協力機構 (JICA)

株式会社コーエイ総合研究所

プロジェクト活動の写真



パイロット校実習受け入れ企業インタビュー:
The Lounge(2014年3月)



パイロット校実習受け入れ企業インタビュー:
Honda Cars Kalookan Inc.(2014年3月)



パイロット校実習受け入れ企業への
インタビュー:DSJP(2014年3月)



パイロット校対象ワークショップの開催
(2014年4月)



企業視察:ユニカセ・コーポレーション
(2014年7月)



企業視察:バブコック日立株式会社
(2014年7月)



Training Cum Workshop for School Industrial
Linkage Coordinator(2014年11月)



教育省年次ワークショップ会合
(2015年2月)



プロジェクト調達機材(トラクター)(BNATS)
(2015年8月)



本邦研修(沖縄県立中部農林高等学校)
(2015年11月)



地域事務所との打ち合わせ(Misamis
Oriental)(2015年11月)



Stakeholder Recognition(Laguna 地方事務所)
(2016年1月)



経験交流会の様子(BSF)
(2016年2月)



Toyota Cubao(企業実習先)担当者との
意見交換(2016年2月)



企業実習を経験した生徒へのインタビュー
(ONSTS)(2016年3月)



プロジェクト供与の養殖施設(ICNSF)
(2016年3月)



Café Razzo (RESPSCI)におけるコーヒー教室
(2016年6月)



千葉県立市川工業高等学校と STVS の交流
(2016年7月)



企業への Industry Summit への協力依頼
(2016年8月)



RAHS 競争的助成金事業のモニタリング
(2016年8月)



TNTS 自動車整備場開所式
(2016年9月)



本邦研修:山梨県立北杜高等学校
(2016年10月)

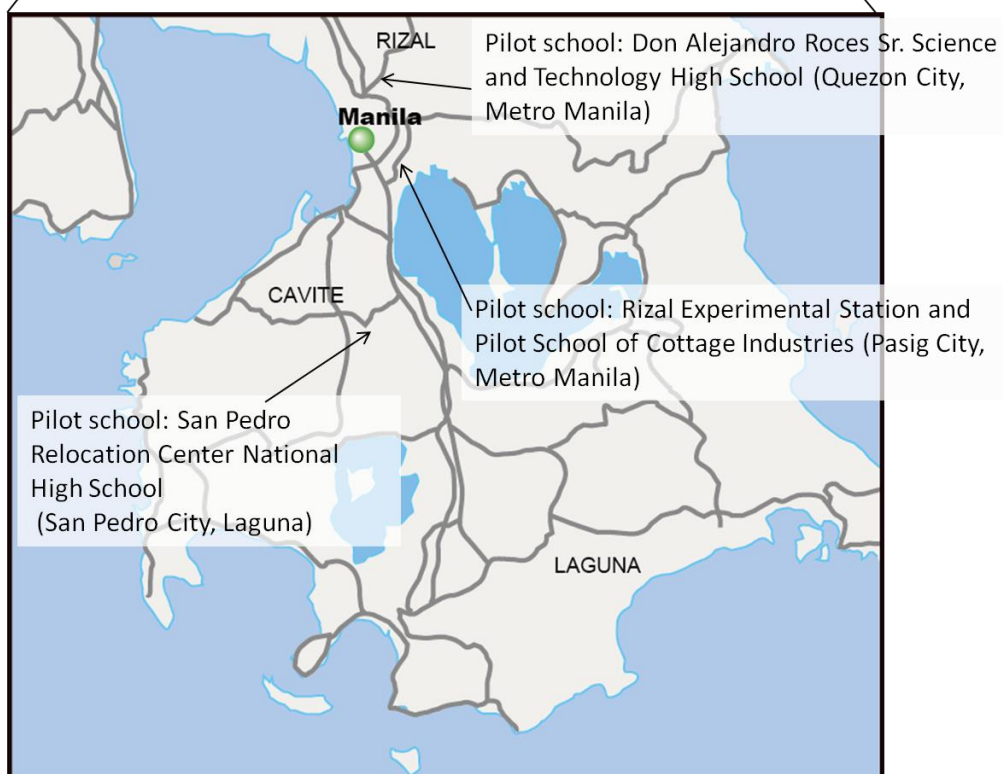
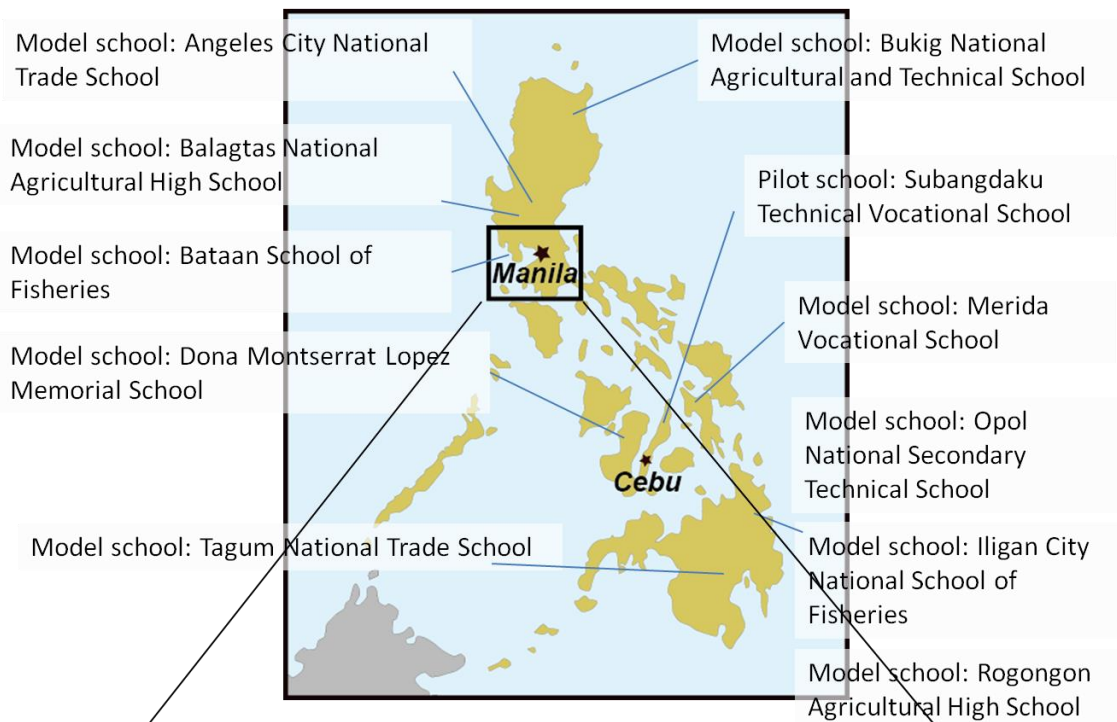


Industry Summit の様子
(2016年11月)

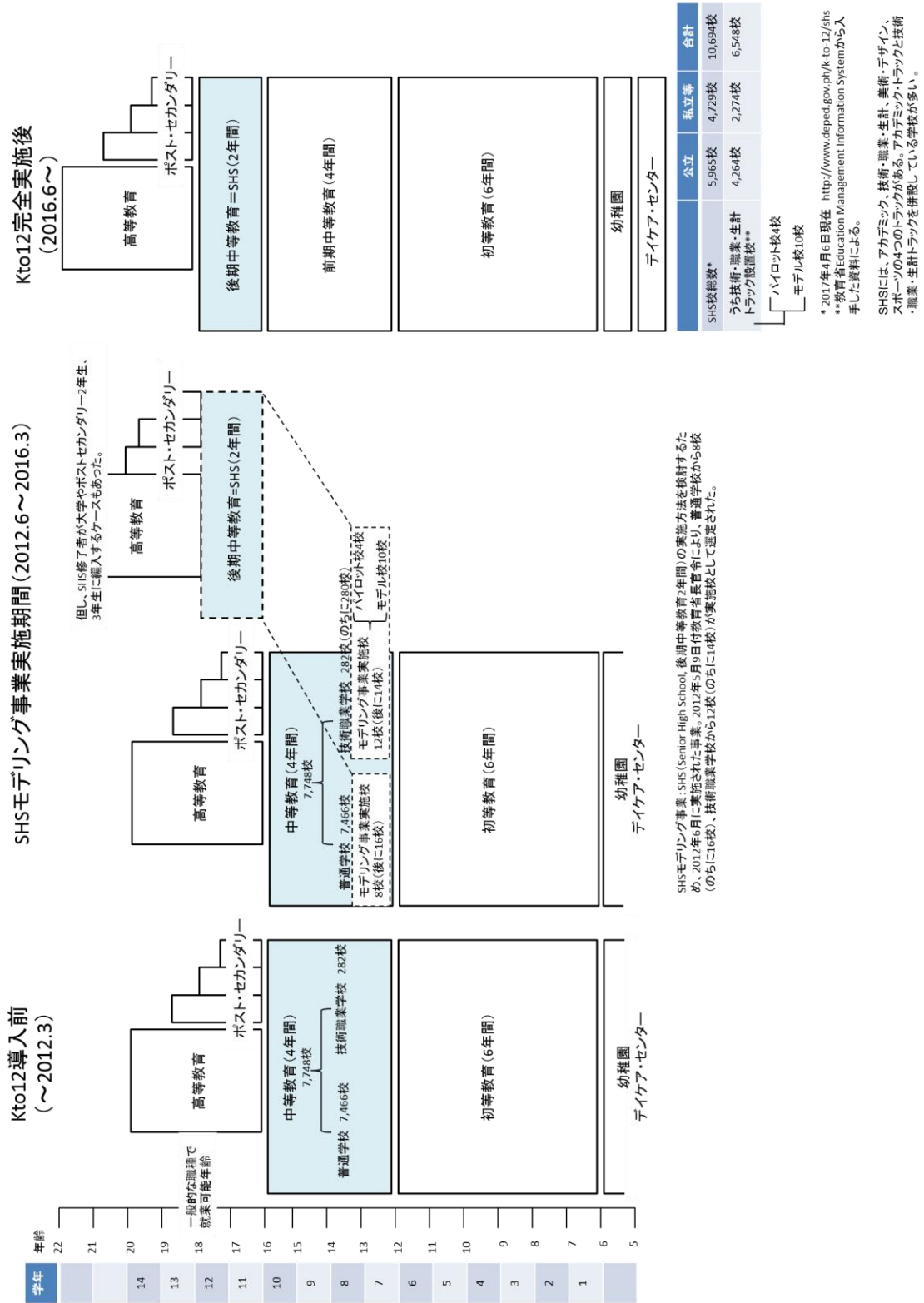


終了時評価
(2017年4月)

プロジェクト位置図



パイロット校・モデル校の位置づけ



SHSモデリング事業: SHS (Senior High School, 後期中等教育2年間) の実施方法を検討するため、2012年6月に実施された事業。2012年5月9日付教育省長官令により、普通学校から8校 (のちに16校)、技術職業学校から12校 (のちに14校) が実施校として選定された。

要 約

プロジェクト名：（和）技術職業高校支援プロジェクト
（英）Project for Supporting Senior High School (SHS) Program in Technical Vocational High Schools

対象国名：フィリピン

対象グループ：教育省は全国から選定した 30 以上の学校において、SHS モデリング事業を実施した。それらのうち 14 校が技術職業学校である。14 の技術職業学校のうち、4 校をプロジェクト活動の成果 1 と成果 2 の対象校（パイロット校）として選定、残りの 10 校（モデル校）は成果 3 の活動の受益者である。なお、10 校のうち 4 校は SHS モデリング事業/早期実施を継続していなかったことから、成果 3 で配賦した競争的助成金¹の対象とはならなかった。

署名日（実施合意）：2013 年 9 月 30 日

協力期間：2014 年 2 月から 2017 年 6 月

相手国機関名：（和）教育省 （英）Department of Education

概要：

フィリピン中期開発計画（2011 - 2016）では、Education For All とミレニアム開発目標の教育関連目標達成がゴールとして設定されており、それを受けて、2016 年までに基礎教育期間を 10 年間（初等教育 6 年間、中等教育 4 年間）から 12 年間（初等教育 6 年間、前期中等教育 4 年間、後期中等教育 2 年間）へ延長することが決定された。その実現を目指すのが「K to 12 改革」である。その目的は、国際水準である 12 年間の基礎教育を実現し、教育の質を改善することである。フィリピン政府は、2011 年から就学前教育（5 歳児）の義務化を開始、前期中等教育のカリキュラム改訂、そして後期中等教育 2 年間の設置に取り組んできた。

SHS（Senior High School、後期中等教育 2 年間）モデリング事業もその取り組みの 1 つである。2012 年 5 月 9 日に発出された教育省長官令により、全国にある 7,748 校の中等学校（Secondary Schools）のうち、技術職業学校 282 校（当時、現在は 280 校）から 12 校（のちに 14 校）、普通学校 7,466 校から 8 校（のちに 16 校）が実施校として選定された。SHS の実施方法を検討するため、2012 年 6 月にモデリング事業が開始した。

SHS プログラムは、核となる共通カリキュラムと 4 つのトラックを通して提供される専門教育から構成される。4 つのトラックとはすなわち、(1) アカデミック、(2) 技術・職業・生計、(3) 美術・デザイン、そして(4) スポーツ である。本プロジェクトでは、第二のトラックを設置するモデリング事業実施校を対象に、技術職業教育を SHS プログラムへ統合す

¹ モデル校での実践経験や成功事例を他の SHS 校に適用、活動成果を広く普及させるための助成金。

ることを支援してきた。

2016年6月、K to 12改革は全面実施を迎え、フィリピンの基礎教育期間はこれまでの10年間に新たに2年間のSHSが追加され12年間（小学校6年、中学校4年、高校2年）となった。これを受け、プロジェクト最終年次は、特に、モデリング事業および早期実施で培われた経験、好事例が全国の技術職業高校（280校）の参考となるよう留意して活動を実施した。

本プロジェクトでは、モデル高校（Senior High School-SHS）で実施された計画・活動・好事例が、学校改善計画（SIP）の作成・改善の参考事例として、K to 12モデル校を含む全国の技術職業学校（TVHS）と共有されることを上位目標に掲げている。パイロット校において、卒業生の能力と産業界のニーズのミスマッチ/ギャップが把握され、そのギャップを埋めるために、学校改善計画の策定、日本企業を含む産業界/企業との協働を促進した（成果1および成果2）。さらにパイロット校以外の技術職業学校が、パイロット活動や成功事例の再現/適応/採用のために情報を得られるよう（成果3）努めた。これらの活動から得られた好事例を参考に、産業界/企業との連携を改善/強化するための仕組みを構築することを目指した（プロジェクト目標）。

プロジェクト目標の達成度：

2017年4月17日～4月29日に実施された終了時評価において、指標1「パイロット校において、卒業生の能力と産業界のニーズのミスマッチ/ギャップが把握され、学校改善計画（SIP）により対策がとられる」、指標2「パイロット校が学校活動を改善し、把握されたギャップを埋めるために、日本企業を含む産業界/企業と協働できるようになる」、指標3「パイロット校以外のモデル校が、パイロット活動や成功事例の再現/適応/採用のために情報を得る」は達成され、プロジェクト目標は「達成された」と判断された。

「妥当性」、「有効性」、「効率性」、「インパクト」については高いと評価され、「持続性」については「やや高い」と評価された。

上位目標に関しては今後、教育省、地方事務所、地域事務所、パイロット校、モデル校が、パイロット活動の好事例を全国に広く紹介し、活用していくことが強く望まれる。

終了時評価調査結果の詳細については、別途、作成される「フィリピン国技術職業高校支援プロジェクト終了時評価調査報告書」を参照されたい。

フィリピン国技術教育高校支援プロジェクト（円借款附帯プロジェクト）

業務完了報告書

目 次

プロジェクト活動の写真

プロジェクト位置図

パイロット校・モデル校の位置づけ

要約

1. プロジェクトの概要（背景・経緯・目的）	1
1.1 背景・経緯	1
1.2 プロジェクト期間.....	2
1.3 上位目標、プロジェクト目標及び成果.....	3
1.4 対象グループ.....	3
1.5 合同調整委員会（JCC）	6
1.6 専門家の投入.....	7
2. 活動内容（活動実績・活動成果）	8
2.1 活動実績	8
2.1.1 プロジェクト全体.....	8
2.1.2 成果1	16
2.1.3 成果2	22
2.1.4 成果3	29
2.2 活動成果	37
2.2.1 成果1	37
2.2.2 成果2	40
2.2.3 成果3	47
3. プロジェクト実施運営上の課題・工夫・教訓.....	49
4. プロジェクト目標の達成度（終了時評価結果の概要等）	53
4.1 プロジェクト目標の達成状況.....	53
4.2 終了時評価結果の概要.....	54
5. 上位目標の達成に向けての提言.....	57
5.1 上位目標の達成状況.....	57
5.2 上位目標の達成に向けての提言.....	61

添付資料

- 添付資料 1 PDM ((1) Ver. 0 & Jul. 2014, (2) Dec. 2014, Mar. 2015, Oct. 2015, Mar. 2016, & Nov. 2016)
- 添付資料 2 業務フローチャート
- 添付資料 3 詳細活動計画
- 添付資料 4 専門家派遣実績 (要員計画)
- 添付資料 5 研修員受け入れ実績
- 添付資料 6 供与機材・携行機材実績 (引渡リスト含む)
- 添付資料 7 合同調整委員会議事録 (第1回から第3回)
- 添付資料 8 競争的助成金に係る活動実施報告書 (2017年6月)
- 添付資料 9 聞き取りを行った企業等一覧
- 添付資料 10 Newsletter No.1~4
- 添付資料 11 Newsletter Magazine
- 添付資料 12 教育省プレスリリース
- 添付資料 13 The Daily NNA フィリピン版

用 語

BESRA	Basic Education Sector Reform Agenda	—
BFAR	Bureau of Fisheries and Aquatic Resources	水産資源局
BNATS	Bukig National Agricultural and Technical School	—
BSF	Bataan School of Fisheries	—
CHED	Commission on Higher Education	高等教育委員会
DA	Department of Agriculture	農業省
DARSSTHS	Don Alejandro Roces Sr. Science and Technology High School	—
DENR	Department of Environment and Natural Resources	環境天然資源省
DepEd	Department of Education	教育省
DOLE	Department of Labor and Employment	労働雇用省
DPSP	Development Policy Support Program	開発政策支援プログラム
DTI	Department of Trade and Industry	貿易産業省
FBS	Food and Beverage Services	飲食サービス
FIDA	Fiber Industry Development Authority	繊維産業開発庁
ICNSF	Iligan City National School of Fisheries	—
ILC	Industrial Linkage Coordinator	産業連携コーディネータ
JCC	Joint Coordination Committee	合同調整委員会
MIAP	Metalworking Industries Association of the Philippines, Inc.	フィリピン金属産業協会
MOA	Memorandum of Agreement	覚書
MOU	Memorandum of Understanding	協議議事録
NC	National Certificate	TESDA が承認する国家資格
ONSTS	Opol National Secondary Technical School	—
PESO	Public Employment Service Office	公共職業安定所
PEZA	Philippine Economic Zone Authority	フィリピン経済区庁
PDM	Project Design Matrix	プロジェクト・デザイン・マトリクス
PDMA	Philippine Die & Mold Association Inc.	フィリピン鋳物協会
PFP	Partnership Focal Person	—
PO	Plan of Operation	詳細活動計画
RAHS	Rogongon Agricultural High School	—

RESPSCI	Rizal Experimental Station and Pilot School of Cottage Industries	—
SHS	Senior High School	高校
SILO	School Industry Linkage Officer	学校産業連携担当
SIP	School Improvement Plan	学校改善計画
SPRCHNS	San Pedro Relocation Center National High School	—
STEM	Science, Technology, Engineering, and Mathematics	—
STVEP	Strengthened Technical Vocation Education Program	技術職業教育プログラム
STVS	Subangdaku Technical Vocational School	—
Tech-Voc Unit	Technical and Vocational Education Unit, DepEd	技術職業教育ユニット
TESDA	Technical Education and Skills Development Authority	技術教育技能開発庁
TNTS	Tagum National Trade School	—
TVHS	Technical and Vocational High School	技術職業高校

1. プロジェクトの概要（背景・経緯・目的）

1.1 背景・経緯

フィリピン中期開発計画（2011 - 2016）では、Education For All とミレニアム開発目標の教育関連目標達成がゴールとして設定されており、それを受けて、2016 年までに基礎教育期間を 10 年間（初等教育 6 年間、中等教育 4 年間）から 12 年間（初等教育 6 年間、前期中等教育 4 年間、後期中等教育 2 年間）への延長が決定された。その実現を目指すのが「K to 12 改革」である。その目的は、国際水準である 12 年間の基礎教育を実現し、教育の質を改善することである。フィリピン政府は、2011 年から就学前教育（5 歳児）の義務化を開始、前期中等教育のカリキュラム改訂、そして後期中等教育 2 年間の設置に取り組んできた。

SHS（Senior High School、後期中等教育 2 年間）モデリング事業もその取り組みの 1 つである。2012 年 5 月 9 日に発出された教育省長官令により、全国にある 7,748 校の中等学校（Secondary Schools）のうち、技術職業学校 282 校（当時。現在は 280 校）から 12 校（のちに 14 校）、普通学校 7,466 校から 8 校（のちに 16 校）が実施校として選定された。SHS の実施方法を検討するため、2012 年 6 月にモデリング事業が開始した。

フィリピン政府より、SHS モデリング事業の支援の要請を受け、国際協力機構（JICA）は 2013 年 2 月 17～23 日、SHS モデリング事業を支援するプロジェクトの詳細計画を策定する目的でフィリピンに調査団を派遣した。同年 9 月 30 日には JICA とフィリピン国教育省の間で技術協力プロジェクト「技術教育モデル校支援プロジェクト」実施にかかる協議議事録が署名され、同プロジェクトは 2014 年 2 月に開始した。

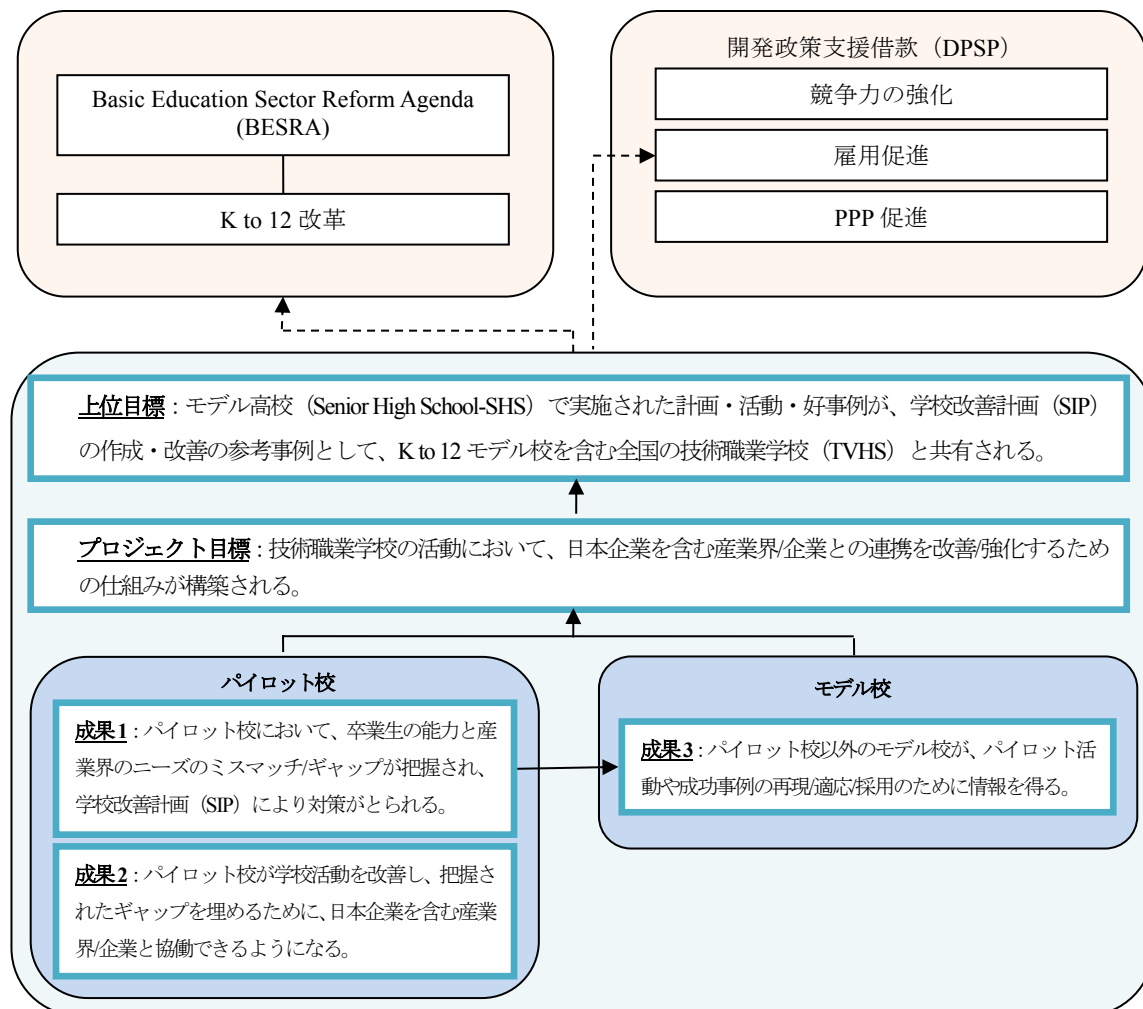
SHS プログラムは、核となる共通カリキュラムと 4 つのトラックを通して提供される専門教育から構成される。4 つのトラックとはすなわち、(1) アカデミック、(2) 技術・職業・生計、(3) 美術・デザイン、そして(4) スポーツ である²。本プロジェクトでは、第二のトラックを設置するモデリング事業実施校を対象に、技術職業教育を SHS プログラムへ統合することを支援してきた。これは、JICA が実施した「開発政策支援借款（投資環境整備）」に付随する政策アクションのフィリピン政府による実現を側面支援することを目的としていた。

2014 年、教育省が SHS モデリング事業という名称を Early Implementation（早期実施）という名称に変更することを決定した。そこで、第 2 回合同調整委員会（2015 年 6 月 30 日）において、プロジェクト名称の変更が提案された³。新たなプロジェクト名は、和文名称「技術職業高校支援プロジェクト」、英文名称“Project for Supporting Senior High School (SHS) Program in Technical Vocational High Schools”にて合意された。

² 2016 年 6 月以降、アカデミック・トラックと技術・職業・生計トラックを併設した学校が多かった。

³ 名称のみの変更であり、プロジェクトのスコープには変更は生じていない。

2016年6月、K to 12 改革は全面実施を迎え、フィリピンの基礎教育期間はこれまでの10年間に新たに2年間のSHSが追加され12年間（小学校6年、中学校4年、高校2年）となった。これを受け、プロジェクト最終年次は、特に、モデリング事業および早期実施で培われた経験、好事例が全国の技術職業高校（280校）の参考となるよう留意して活動を実施した。



出所: JICA プロジェクト・チーム

図 1: プロジェクトとフィリピン国政府による政策枠組みの関係

1.2 プロジェクト期間

プロジェクト全体の期間は合計3年4ヵ月であり、2014年2月から2017年6月までとなっている。これを下表のとおり、3年次に分けて実施した。

第一年次：	2014年2月～2015年4月
第二年次：	2015年5月～2016年4月
第三年次：	2016年5月～2017年6月

下図は、フィリピンの学年度に合わせてプロジェクト年次がどのように設定されたかを示すものである。

Year Month	2014												2015												2016												2017					
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6
Project Year	1st Project Year												2nd Project Year												3rd Project Year																	
School Term	2013/14		2014/2015										2015/2016										2016/2017																			
			1st Semester					2nd Semester					1st Semester					2nd Semester					1st Semester					2nd Semester														

出所：JICA プロジェクト・チーム

図2：プロジェクト年次とフィリピンの学年度の比較

1.3 上位目標、プロジェクト目標及び成果

協議議事録によって合意された上位目標、プロジェクト目標、そして期待される成果は、下記のように要約される。それぞれの成果に対応する指標と指標の入手手段を含むプロジェクト・デザイン・マトリクス（PDM）は添付資料1のとおりである。

上位目標：	モデル高校（Senior High School-SHS）で実施された計画・活動・好事例が、学校改善計画（SIP）の作成・改善の参考事例として、K to 12 モデル校を含む全国の技術職業学校（TVHS）と共有される。
プロジェクト目標：	技術職業学校（TVHS）の活動において、日本企業を含む産業界/企業との連携を改善/強化するための仕組みが構築される。
成果1：	パイロット校において、卒業生の能力と産業界のニーズのミスマッチ/ギャップが把握され、学校改善計画（SIP）により対策がとられる。
成果2：	パイロット校が学校活動を改善し、把握されたギャップを埋めるために、日本企業を含む産業界/企業と協働出来るようになる。
成果3：	パイロット校以外のモデル校が、パイロット活動や成功事例の再現/適応/採用のために情報を得る。

1.4 対象グループ

2012年以降、教育省は全国から選定した30以上の学校においてSHSモデリング事業を実施した。それらのうち14校が技術職業学校である。下表はプロジェクトの対象を示すものである。14の技術職業学校のうち、4校をプロジェクト活動の成果1と成果2の対象校（パイロット校）として選定、残りの10校（モデル校）は成果3の活動の受益者である。なお、後述のとおり、うち4校はSHSモデリング事業/早期実施を継続していなかったこと

から、成果3で配賦した競争的助成金⁴の対象とはならなかった。

上位目標：	280 技術職業学校（全国の技術職業学校）
プロジェクト目標：	14 技術職業学校（SHS モデリング事業に参加する全ての技術職業学校）
成果1：	選定された4つの技術職業学校（パイロット校）
成果2：	選定された4つの技術職業学校（パイロット校）
成果3：	SHS モデリング事業に参加する技術職業学校から上記の4パイロット校を除いた10校（モデル校）

表1は4つのパイロット校の所在地と学校名、表2はパイロット校に設置されている専門コースと生徒数を示している。表3はパイロットの4校以外でSHSプログラムに取り組んできたモデル校の一覧である。

表1：パイロット校の一覧

所在地		学校名	
L	Quezon City, Metro Manila	1	Don Alejandro Roces Sr. Science and Technology High School (DARSSTHS)
	Pasig City, Metro Manila	2	Rizal Experimental Station and Pilot School of Cottage Industries (RESPSCI)
	San Pedro City, Laguna	3	San Pedro Relocation Center National High School (SPRCNHS)
V	Mandaue City, Cebu	4	Subangdaku Technical Vocational School (STVS)

注： L: Luzon Region, V: Visayas Region

出所： JICA プロジェクト・チーム

表2：パイロット校4校の現状（2016/2017 学年度入学者数）

学校名	専門コース	生徒数		企業連携 担当数
		第11学年	第12学年	
DARSSTHS	<ul style="list-style-type: none"> • Automotive Technology (NCI) Motorcycle / Small Engine Servicing (NCII) • Computer Systems Servicing (NCII) • Telecom OSP and Subscribe Line Installation Copper Cable / POTS and DSL (NCII) Broad and Installation-Fixed Wireless System (NCII) • Animation (NCII) / Illustration (NCII) • GMAW & GTAW • Electrical Installation and Maintenance (NCII) • Tailoring (NCII) / Fashion Design (NCIII) • Food and Beverage Service (NCII) Bread and Pastry Production (NCII) Front Office Services (NCII) 	12	11	1
	合計	90	31	
RESPSCI	<ul style="list-style-type: none"> • Housekeeping • Bartending • Food and Beverage Service • Bread and Pastry • DOM-RAC 	M18 F23 M16 F5 M17 F32 M14 M21 M24 F0	M8 F6 M1 F11 M0 F8 M0 F0 M0 F0	1
	合計	170	34	

⁴ モデル校での実践経験や成功事例を他のSHS校に適用、活動成果を広く普及させるための助成金。

SPRCNHS	• Automotive Servicing (NCII) Motorcycle / Small Engine Servicing (NCII)	161	12	1
	• Electrical Installation & Maintenance (NCII)	78	12	
	• SMAW (NCII) / GTAW (NCII) /GMAW (NCII)	66	11	
	• Carpentry (NCIII)			
	• Mechatronics Servicing (NCII)	10	-	
	• Machining (NCI & NCII)	68	11	
	• Technical Drafting (NCII)	42	23	
	• Visual Graphics & Design (NCIII)	80	19	
	• Broadband Installation and Maintenance (NCII)	77	24	
	• Hairdressing (NCII)			
	• Tailoring (NCII) / Fashion Design (NCIII)			
• Food and Beverage Service (NCII)	55	-		
• Bartending (NCII)	53	10		
• Commercial Cooking (NCIII)	127	24		
	合計	817	146	
STVS	• Bread and Pastry / Food and Beverage	40	1	3
	• Metal Works (SMAW)	31	14	
	• Garments	12	4	
	合計	83	19	

出所：Industry Summit（2016年11月7日）時の各校の発表より

表3：モデル校の一覧

所在地		学校名	
L	Aparri, Cagayan	1	Bukig National Agricultural and Technical School (BNATS)
	Angeles, Pampanga	2	Angeles City National Trade School
	Balagtas, Bulacan	3	Balagtas National Agricultural High School
	Orion, Bataan	4	Bataan School of Fisheries (BSF)
V	Silay, Negros Occidental	5	Dona Montserrat Lopez Memorial School
	Ormoc, Leyte	6	Merida Vocational School
M	Cagayan de Oro, Misamis Ori.	7	Opol National Secondary Technical School (ONSTS)
	Iligan, Lanao del Norte	8	Iligan City National School of Fisheries (ICNSF)
	Iligan, Lanao del Norte	9	Rogongon Agricultural High School (RAHS)
	Tagum, Davao del Norte	10	Tagum National Trade School (TNTS)

注：L: Luzon Region, V: Visayas Region, M: Mindanao Region

出所：2012年教育省令36号に基づき、JICAプロジェクト・チームが作成

SHSモデリング事業は2012年6月に開始されたが、実際にモデル校を訪問すると、下記のとおり、全ての学校がモデリング事業を継続している訳ではないことが判明した。これを受け、本プロジェクトでは、2015/2016学年度にSHSプログラムを実施している6校（表3のうち、1、4、7、8、9、10）に対し助成金を配賦し、彼らの活動を支援、モニタリングを行った。

モデル校におけるSHSプログラムの実施状況は下表のとおりである。

表 4：モデル校での SHS プログラムの実施状況と計画

学校名	SHS 開始年	1 期生 SY'12- 13	2 期生 SY'13- 14	3 期生 SY'14- 15	4 期生 SY'15- 16
Bukig National Agricultural and Technical School (BNATS)	2012-2013	Yes	Yes	Yes	Yes
Angeles City National Trade School	2012-2013	Yes	No	No	No
Balagtas National Agricultural High School	2012-2013	Yes	Yes	No	No
Bataan School of Fisheries (BSF)	2012-2013	Yes	Yes	No	Yes
Dona Montserrat Lopez Memorial School	2012-2013	Yes	Yes	No	No
Merida Vocational School	2012-2013	Yes	Yes	No	No
Opol National Secondary Technical School (ONSTS)	2012-2013	Yes	Yes	Yes	Yes
Iligan City National School of Fisheries (ICNSF)	2012-2013	Yes	Yes	Yes	Yes
Rogongon Agricultural High School (RAHS)	2012-2013	Yes	No	No	Yes
Tagum National Trade School (TNTS)	2012-2013	Yes	Yes	Yes	Yes

出所：各校からの聞き取りをもとに JICA プロジェクト・チームが作成

上記の表が示すとおり、2012/2013 学年度から 4 学年度継続して SHS モデリング事業を実施したのは 4 校、2014/2015 学年度以外の 3 学年度実施している学校が 1 校、2013/2014、2014/2015 学年度には実施しなかったが 2015/2016 学年度には実施している学校が 1 校ある。「業務進捗報告書（第一年次）」に記載のとおり、このような状況となった背景には次のような理由が考えられる。

- 2012 年にモデリング事業を開始した際には、実施校のうち 12 校に対して教育省より百万 PHP が配賦された。しかし、次の年度以降は配賦されなかったため、事業を継続しない学校が生じた。
- 教育省中等教育局長が会議において、「SHS 設置に向けた準備の整わない学校については、2014/2015 学年度に SHS を実施する必要がない」と発言した。
- SHS 全面実施に向けた計画を策定中であるため、教育省地域事務所が域内の全学校に対して SHS 試行を停止するよう指導している地域がある。
- ビサヤ (Visaya) 地域の学校については、台風ヨランダによる被害から復旧できていない。

1.5 合同調整委員会 (JCC)

プロジェクト実施機関は教育省技術職業教育ユニット (Tech-Voc Unit) であったが、2016 年 1 月に教育省の組織改革があり、技術職業教育ユニットのメンバーはカリキュラム開発局内 Special Curricular Programs Division に吸収された。従って、本プロジェクトはカリキュラム開発局局長の管轄となった。

合同調整委員会 (JCC) は、プロジェクトの進捗や懸念事項、成果の発現に資する提案等

を関係者間で共有・協議する。第3回のJCCは下記のメンバーにて執り行われた。

フィリピン側：	教育省次官（議長） 教育省カリキュラム開発局 技術教育技能開発庁（TESDA） 高等教育委員会（CHED） 4つのパイロット校代表者
日本側：	JICA フィリピン事務所長（副議長） JICA プロジェクト・チーム 在フィリピン日本国大使館（オブザーバー）

1.6 専門家の投入

プロジェクト・チームはチーフアドバイザーと産学連携専門家（2名）、競争的助成金監理専門家（1名）で構成される。チームメンバーとして、プロジェクト・コーディネーターと秘書を現地で雇用した。

プロジェクト・チームの派遣実績は添付資料4のとおりである。

2. 活動内容（活動実績・活動成果）

2.1 活動実績

プロジェクト3年間の活動実績は、以下のとおりである。

2.1.1 プロジェクト全体

[0-1] 業務計画書の作成・提出、[0-2] ワークプラン案の作成、[0-3] ワークプラン作成・協議

第一年次に関しては、2014年2月19日付で業務計画書を提出、2月24日の現地業務開始までにワークプラン案を作成した。その後、4月までに、フィリピン教育省、パイロット校4校等と協議のうえ、プランの最終化を行った。

第二年次に関しては、2015年5月29日付で業務計画書を提出、その後、ワークプラン案を作成した。6月30日に開催された第2回JCCにてフィリピン教育省、パイロット校4校等とワークプランの内容を確認の上、最終化した。

第三年次に関しては、2016年6月10日付で業務計画書を提出、その後、ワークプラン案を作成した。現地業務開始後、フィリピン側とワークプランについて協議し、2016年8月までに最終化した。

[0-4] ベースライン指標の設定とモニタリング実施

ベースライン指標は第1回JCCにおいて協議・合意された。プロジェクトの進捗状況は、プロジェクトモニタリングシート（PM Form 3-2 Monitoring Sheet I）に沿って、2014年7月、12月、2015年3月、10月、2016年3月、11月に確認を行った。（添付資料1を参照）

[0-5] 広報活動

本プロジェクトでは、プロジェクト活動の紹介に留まらず、SHSモデリング事業の促進及び2017/2018学年度に18歳の高卒人材が輩出されることを周知する目的で、広報活動を実施してきた。3年間の実績は以下のとおりである。

表5：実施した広報活動

	媒体	時期	掲載内容	備考
第一 年次	教育省月次ニューズレター educNEWS	4月号	プロジェクト概要の紹介	同誌はその後、廃刊となった。
	フィリピン日本人商工会議所会報 p-Business	5月号	プロジェクト概要の紹介	
		9月号	パイロット校教員による Babcock-Hitachi Philippines Inc 工場訪問	
	JICA ウェブサイ	適宜更新	プロジェクト概要・プロ	http://www.jica.go.jp/project/philip

	ト		プロジェクトニュース（16回）	pines/008/news/index.html
	プロジェクト・ニュースレター第1号・第2号	2014年8月	プロジェクト概要・パイロット校の紹介・技術職業高校推進のTips	
		2015年3月	活動の進捗・モデル校紹介・日本の技術教育紹介	
	プロジェクト・ブローシュア	-	プロジェクト概要・パイロット校及びモデル校の紹介・企業実習・生徒の声	
	フェイスブック	適宜更新	プロジェクト概要・活動の進捗・情報共有（105件）	https://www.facebook.com/jicaprojecttechvocshsphilippines
第二 年次	JICA ウェブサイト	適宜更新	プロジェクトニュース（7回）	http://www.jica.go.jp/project/philippines/008/news/index.html
	プロジェクト・ブローシュア	-	プロジェクト概要・パイロット校及びモデル校の紹介・企業実習・生徒の声	
	プロジェクト・ニュースレター第3号	2016年2月	パイロット校との活動・モデル校における競争的助成金事業・本邦研修	
	技術職業高校のご紹介・ご協力 の依頼	2016年2月	フィリピンの教育事情・技術職業高校の取り組み・ご協力の方法	
	NEWSLETTER MAGAZINE	2016年3月	モデル校6校の実践紹介	
	フェイスブック	適宜更新	プロジェクト活動の進捗・情報共有（43件）	https://www.facebook.com/jicaprojecttechvocshsphilippines
	JICA ウェブサイト	適宜更新	プロジェクトニュース（4回）	http://www.jica.go.jp/project/philippines/008/news/index.html
第三 年次	プロジェクト・ニュースレター第4号	2017年2月	Industry Summit の開催・本邦研修	
	フェイスブック	適宜更新	プロジェクト活動の進捗・情報共有（46件） 3年間の「いいね」は524件（2017年5月5日現在）	https://www.facebook.com/jicaprojecttechvocshsphilippines 2017年5月末で閉鎖予定
	フィリピン教育省ウェブサイト	2016年11月13日	JICA and DepEd co-host conference to promote stronger partnership between senior high schools and industry	http://www.deped.gov.ph/press-releases/jica-and-deped-co-host-conference-promote-stronger-partnership-between-senior-high
		2016年8月23日	• “Knowledge without application is dead knowledge	http://www.deped.gov.ph/stories?cmbico=&page=1 NEWSLETTER MAGAZINE（2016年3月）の学校紹介4校分が掲載されたもの。
		2016年9月2日	• SHS Spotlight: Tagum National Trade School	
2016年9月9日		• SHS Spotlight: Bukig National Agricultural and Technical School		
2016年9月29日	• SHS Spotlight: Opol National Secondary and Technical School			

出所： JICA プロジェクト・チーム

[0-6] 合同調整委員会（JCC）開催

プロジェクト期間をとおり計3回のJCCを開催した。各会合の概要は以下のとおり。

(1) 第1回JCC（2014年7月4日）

プロジェクト第一年次の活動計画を紹介すると共に、プロジェクト開始後4ヵ月間に実施した活動と実績を報告した。会議では、プロジェクト目標及び成果の達成状況を確認する指標について議論が行われ、プロジェクト・デザイン時に設定された指標をより具体化することで合意した。また、パイロット校の活動や好事例を記録していくことの重要性が確認された。

(2) 第2回JCC（2015年6月30日）

プロジェクト第一年次の成果の達成状況を確認するとともに、ワークプランに記載された第二年次の活動計画について合意することを目的に第2回JCCを開催した。パイロット校4校は産業界とのパートナーシップを構築した実践を報告、JICA フィリピン事務所は実施中の Impact Evaluation for Industrial Human Resource Development について紹介を行った。

なお、「1.1 背景・経緯」にも記載したとおり、2014年、教育省がSHSモデリング事業という名称を Early Implementation（早期実施）という名称に変更することを決定した。そこで、第2回JCCにおいて、プロジェクト名称を“Project for Supporting Senior High School (SHS) program in TVHSs”とすることが提案された。その後、略語部分（TVHSs）を正式な名称（Technical Vocational High Schools）に改め、和文名称を「技術職業高校支援プロジェクト」に、英文名称を“Project for Supporting Senior High School (SHS) Program in Technical Vocational High Schools”に修正した。

(3) 第3回JCC（2016年10月11日）

これまでのプロジェクトの成果を確認するとともに、第三年次に計画されている活動について紹介を行うこと、フィリピン国教育省に対して、SHSの技術職業教育について提言を行うことを目的に、第3回JCCを開催した。プロジェクト総括がプロジェクト成果と第三年次の計画について報告した後、パイロット校4校が、企業との連携、技術職業教育の改善、生徒に対する進路指導の好事例や教訓を発表した。

[0-7] 業務進捗報告書の作成

業務進捗報告書は計画通りに作成し、下表のとおり提出した。

表6：業務進捗報告書

レポート名	提出時期	部数
プロジェクト業務進捗報告書（中間）	2014年8月	それぞれ 和文：5部 英文：25部（うち先方に20部） CD-R：3枚
プロジェクト業務進捗報告書（第一年次）	2015年4月	
プロジェクト業務進捗報告書（中間）	2015年11月	
プロジェクト業務進捗報告書（第二年次）	2016年4月	
プロジェクト業務進捗報告書（中間）	2016年12月	

[0-8] 本邦研修の実施

本プロジェクトでは、教育省本省、地域事務所、地方事務所、パイロット校、モデル校関係者、合計 39 名（詳細は添付資料 5）を対象に本邦研修を実施した。年度ごとの実績・概要は以下のとおりである。

(1) 第一年次本邦研修

2014 年 10 月 20～31 日（日本到着：10 月 19 日、帰国：11 月 1 日）、本邦研修「高等学校における技術教育 (Technical Education in High School in Japan)」を実施し、教育省から 3 名、4 つのパイロット校から校長と産業連携コーディネータ 2 名ずつ、合計 11 名が参加した。

研修の目的は、(1) 参加者が日本ではどのように技術教育が実施されているかを理解する、(2) 参加者がフィリピンの技術教育を改善するのに必要な知見を得る、である。第 1 週目には、日本の技術職業教育の概要についての講義と東京都及び千葉県工業高校を視察する機会を設けた。第 2 週目は地方の状況を把握してもらうために高知県の取り組みを紹介した後、フィリピンの技術職業教育改善のための方策を検討した。

研修参加者がとりわけ強い関心を示したのは、日本の職業高校が進路指導を行っていることだった。研修終了後、パイロット校と協議を行い、生徒が自由にアクセスできる場所に「就職支援コーナー」を設置することとなった。

(2) 第二年次本邦研修

2015 年 10 月 13～23 日（日本到着：10 月 12 日、帰国：10 月 24 日）、教育省中等教育・カリキュラム局職員 1 名、カリキュラム・学校管理局職員 1 名、6 つのモデル校から管理職と産業連携担当教員 2 名ずつ、合計 14 名を迎えて第二年次本邦研修を実施した。JICA フィリピン事務所からも 1 名がオブザーバー参加した。

農業高校、水産高校から 8 名の管理職及び産業連携担当教員の参加を得たため、千葉県と沖縄県にある農業高校、水産高校も視察した。これらの学校で実施されている「課題研究」⁵に対して研修参加者は強い関心を示した。帰国後、いくつかのモデル校では課題研究にヒントを得た活動を展開しようとしている。

(3) 第三年次本邦研修

2016 年 10 月 17～28 日（日本到着：10 月 16 日、帰国：10 月 29 日）、第三年次本邦研修を実施した。プロジェクト最終年次であることから、これまでの成果の持続性を担保するため、また、第二年次の本邦研修参加者から「監督者である教育省地方事務所などの理解を得

⁵ 生徒個人、もしくはグループにて課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育成することを目的に実施される。内容には調査や研究、実験、作品製作、産業現場等における実習、職業資格の取得等が含まれる。（文部科学省ウェブサイト：http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/cs/1320376.htm 2015 年 11 月 17 日閲覧）

ることが重要」という声が聞かれたことから、教育省本省からカリキュラム開発局局長をはじめとする4名、地域事務所から2名、地方事務所から8名の参加を得た。

研修第1週目には、日本の教育、技術職業教育の概要について講義を受けた後、埼玉県総合教育センター、川越総合高等学校、川越工業高等学校を視察した。第2週目は研修の舞台を山梨県に移し、同県の教育委員会による技術職業教育推進の取り組みについて説明を受けるとともに、北杜高等学校、農林高等学校、韮崎工業高等学校を視察した。また、山梨北杜生産センター、山梨県立リニア見学センターを訪問し、地域の産業について理解を深めた。

第三年次の研修参加者の帰国後の取り組みに関する聞き取り結果を一部、以下に紹介する。

カガヤン地域事務所（ルソン島北部、第2地方）

- 日本で実施されている経験年数別教員研修を、カガヤン地域事務所でも導入したいと考えている。2016/2017学年度には、新任教員向け研修を実施した。5年目、10年目研修について2017年度以降、導入していきたい。
- 本省の定めるカリキュラム・ガイド（日本の学習指導要領の解説編に相当）の範囲内で、指導内容をローカル化し、地域の文化を反映させたいと考えている。
- 産業界向けにSHS生をお披露目し、産業界のニーズを聞くことを目的に、2018年2月（SHS生の第1バッチの卒業の前月）に Skills Festival and Industry Summit を開催することを計画している。

ラグナ地域事務所（ルソン島、第4地方）

- 教育省本省に対し、SHS生の就業体験に際して傷害保険加入を勧めるメモの作成を提案した。
- 産業界との連携構築は教員の役割であり、地域事務所は制度作りなどを側面から支援すべきと考えている。
- 地域事務所の Social Mobilization and Networking 担当者が窓口となり、ラグナ州として、産業界によるSHSの就業体験の受け入れに関する決議を発出するよう働きかけている。

タグム地域事務所（ミンダナオ島、第10地方）

- 2017年3月に2日間、地域事務所が地元の企業や貿易産業省（Department of Trade and Industry, DTI）や労働雇用省（Department of Labor and Employment, DOLE）を招き、Industry Summit を開催した。学校、企業双方がプレゼンテーションを行った。
- 2018年2月（SHS生の第1バッチの卒業の前月）には、Inter-School Showcase to Industry の開催を計画している。これによりSHS生の就職先の開拓につなげたい。

第10 地方事務所（ミンダナオ島）

- 2017年2月に当該地方の地域事務所10か所から Adopt-A-School Program⁶のコーディネータを集めて会議を行った。これまで Adopt-A-School Program の活用が進まなかったのは、同プログラムを活用して解決したいような課題を学校側が抱えていなかったからだと考えている。これからは就職を希望する SHS 生支援のために、パートナーが必要になってくる。今後は、Adopt-A-School Program が有効活用されると考えている。
- 地方事務所も地域事務所も企業との連携を直接、構築することは出来ない。実際には SHS 校の教員が担っていくことになる。校長は他の業務もあるので、専科の教員がパートナーの開拓を担うべきだと考える。日本の高校を視察して確信した。
- 地方自治体に対し、SHS 生の就業体験の受け入れを企業に求める条例を定めるよう働きかけたい。Davao Oriental 州では、既に条例を定めている。

[0-9] 運営指導調査への協力

2014年10月6～11日、プロジェクト開始以降の活動の進捗状況を確認するとともに、それを踏まえた今後の活動及び本協力の到達像を整理、具体化することを目的として運営指導調査が実施された。

団員（総括：田中紳一郎 国際協力専門員 協力企画：小森明子 人間開発部高等・技術教育チーム主任調査役）は、K to 12 全面実施に向けた教育省の取り組み、パイロット校における SHS プログラムの進捗、産業連携コーディネータの重要性を確認するとともに、教育省に対して以下の依頼を行った。

- 企業との連携を維持・拡大するための教育省内の担当者の指名
- 各学校の産業連携コーディネータを支援する担当を設けるよう教育省地方事務所及び地域事務所への指導

これに対し、教育省中等教育局は、11月5日付の文書で以下のように回答した。

- プロジェクトの技術協力が実施されている期間、Cristeta M. Arcos 氏及び Maria Cecilia O. Nayve 氏を担当者として指名する。
- 地方事務所及び地域事務所に産業連携コーディネータ担当を設置することに関しては、各学校の産業連携コーディネータの役割が明確化されるなど、熟考が必要である。

[0-10] エンドライン調査の実施

エンドライン調査として2016年9月、パイロット校4校の校長、企業連携担当及びPTAにインタビューを実施した。設定されたPDM上の指標は2016年4月の段階でほぼ達成さ

⁶ 民間セクターの教育への協力を促進すべく1989年から導入されているプログラム（Republic Act No. 8525）。教室の増築や机や椅子、コンピュータ等機材の供与、児童生徒の栄養改善など学校教育に協力した民間企業、団体、個人は、手続きを経て税額控除を受けることができる。

れていたため、インタビューでは、指標のみでは測定できないプロジェクトの効果を把握するよう努めた。各指標に関連した聞き取り結果は、「2.2 活動成果」に記載するとおりである。

合わせて、「JICA プロジェクト実施 2 年半で学んだことは何か」「2014 年時点と比較し、学校とコミュニティの関係はどのように変化したか」についても聞き取りを行った。各パイロット校の回答は以下のとおりである。

表 7：パイロット校の回答（2016 年 9 月現在）

学校名	JICA プロジェクト実施 2 年半で学んだことは何か	2014 年時点と比較し、学校とコミュニティの関係はどのように変化したか
DARSSTHS	<ul style="list-style-type: none"> 企業ニーズの把握を優先し、学校教育を変更・調整すること。 企業連携には多様な戦略と技術が必要だということ。 就職支援も進路相談カウンセラーの重要な任務であること。 	<p><u>学校関係者の回答</u></p> <ul style="list-style-type: none"> これまで学校にも行かず、仕事にも就かない、就けない若者が多くいたが、SHS の開始（早期実施）により、彼らに居場所（目的）を与えることができた。これがコミュニティにおける学校の存在意義を高めることにつながった。 <p><u>PTA の回答</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 以前と比較し、保護者は学校行事への参加をより優先するようになった。 SHS は高校のイメージを一変させた。現在は子どもの進路を考えるに欠かせない存在として認識されつつある。また、地域も学校を信頼できるパートナーとして認識しつつある。
RESPSCI	<ul style="list-style-type: none"> 常に革新的なアイデアを出し続けること。 JICA プロジェクトの支援で実現した UCC Ueshima Coffee Philippines によるコーヒー教室。他校もそのアプローチを参考にできる。 	<p><u>学校関係者の回答</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 2014 年当時と比較し、学校と地域との関係はより深まった。この「地域」には地方自治体や生徒の保護者も含まれる。 地域（企業）ニーズの把握や SHS の啓発活動を行うなかで、学校関係者がより地域のことを知るようになった。 地方自治体との協力により地域の人たちが受講できる職業訓練コースを提供するようになった。 <p><u>PTA の回答</u></p> <ul style="list-style-type: none"> SHS の開始により、卒業生は卒業後すぐ就職できるようになったため、保護者も学校行事により積極的に参加するようになった。また、PTA も SHS 充実のために募金を集めるようになった。 就業体験のオリエンテーションなどを通じて、保護者と学校との関係がより深まった。

SPRCNHS	<ul style="list-style-type: none"> 卒業前に就職支援を行うこと。進路相談カウンセラーが早期に就職支援を行えるような体制を整えること。 新しい就職支援の方法。就職に役立つ企業情報ブックレットを作成するなど。 	<p><u>学校関係者の回答</u></p> <ul style="list-style-type: none"> SHS の生徒は卒業後すぐに就職が可能な年齢に達する。若者が仕事に就くという観点から学校（SHS）に対する地域の期待は高い。 以前と比べ、地域との接点が多くなっている。その一つが、SIP 策定プロセスの変化にも現れている。現在は地方自治体も完成後の SIP に署名することになっている。 <p><u>PTA の回答</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 最近は学校が地域に対し、SHS プログラムのブリーフィングや就業体験のオリエンテーションを行っている。以前と比較して学校とコミュニティとの距離は縮まった。
STVS	<ul style="list-style-type: none"> 企業訪問を行って企業ニーズを把握し、授業内容を変更・調整することで、生徒がより就職し易くなるよう準備する必要性。 学校内で実習ができるよう必要な材料の購入に十分な予算を割り当てること。 教育省地方事務所と協力して経済特区などの場所で複数の企業に対し一度にアプローチする手法。 	<p><u>学校関係者の回答</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 2014 年以前は PTA の活動も低調であったが、現在は保護者を含む地域との接点が多くなっている。保護者に対して就業体験のブリーフィングを行うようになったことなどが一例。 <p><u>PTA の回答</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 以前と比較し、教室など施設の改善が急速に進んだ。より質の良い教育に対する学校側の強い意志が見て取れる。保護者もより活発に学校行事に参加するようになった。 SIP 作成などにおいて、保護者の意見が求められるようになった。PTA の会合でも SHS プログラムの問題につき話し合うようになった。

プロジェクト開始前、教員が企業を訪問することはほとんどなかった。本プロジェクトの働きかけにより、教員が積極的に企業からニーズを聞き取り、生徒の就職につながるよう授業を改善するようになったことが明らかになった。

「学校とコミュニティの関係はどのように変化したか」という問いに対し、学校関係者、PTA 共に、両者の関係は深まっていると回答した。これは SHS により卒業生に「就職」という選択肢が開けたこと、SIP 策定時に地域の関係者の参加が求められるようになったことなどにも起因する。SHS が地域に対して大きな変化をもたらしたことがうかがえる。

[0-11] 終了時評価調査への協力

2017 年 4 月 17～29 日に実施された終了時評価調査に際して、協力を行った。

[0-12] 教育省への政策・制度改善への提言

2016 年 10 月に開催した第 3 回 JCC において、教育省に対し、以下の提言を行った。

- 教育省の SHS に関する既存の政策や方針を学校に改めて紹介していく必要がある。
- 学校-企業間の連携構築には、教育省地方事務所の積極的な関与が必要である。
- 代替教育システム（Alternative Learning System）と SHS 技術職業生計コースは連携させることができる。

[0-13] プロジェクト業務完了報告書の作成

本業務完了報告書を作成した。

2.1.2 成果 1 パイロット校において、卒業生の能力と産業界のニーズのミスマッチ/ギャップが把握され、学校改善計画（SIP）により対策がとられる

[1-1] 産業界とのギャップを把握するための人員の任命

第一年次、第二年次には、パイロット校4校において、産業界とのギャップを把握するための人員が下表のとおり任命された。第三年次については、教育省が2015年9月29日に発出したガイドラインにより、SIP策定には学校内外の関係者の関与が求められるようになったことから、産業界とのギャップ等、課題の分析は全教員で行われることとなった。

表8：産業界とのギャップを把握するための人員（第一年次、第二年次）

学校名	氏名	役職
DARSSTHS	Dr. Eladio H. Escolano	Principal IV
	Ms. Gina Labor-Obierna	Head Teacher III / Ass. Principal for Special Project / Coordinator SHS Program / Industry Linkage Coordinator
RESPSCI	Ms. Marites P. Romen	Head Teacher I
	Mr. Michael V. Alimario	Teacher I / Industry Linkage Development Officer
SPRCNHS	Ms. Maria Leonora T. Guerrero	SHS Modeling Program Coordinator, Linkage Development Officer
	Ms. Alenie B. Dualan	Teacher I / Industry Linkage Coordinator
STVS	Mr. Raymond C. Espina	Teacher III
	Mr. Randy C. Mangubat	Teacher I

出所：パイロット校からの聞き取りをもとに、JICAプロジェクト・チームが作成

[1-2] 産業界の関係者への聞き取り調査実施

産業界のニーズを把握し、卒業生の能力と産業界が求める人材のミスマッチ/ギャップを検討するため、パイロット校関係者と共に企業や商工会議所、経済特区等において聞き取り調査を実施した。聞き取り結果の概要は添付資料9のとおりである。

第一年次には、表8に示した人員らと合計17社を訪問した。企業訪問に際しては、プロジェクト・チームがドラフトした **Interview Sheet for Industry Needs** をパイロット校に紹介し、聞き取りの記録をつけるよう促した。これら企業の訪問を通じ、企業視察を通じた教員の能力強化の有効性、就業・企業実習に向けた生徒への指導充実の必要性、**Adopt-A-School Program** の活用可能性、企業実習に関する規則の整備などが明らかになった。

また、セブ日本人商工会議所には以下のご協力をいただいた：

- 2014年3月18日：STVS 校長、産業連携コーディネータ、教育省技術職業教育ユニット職員とともに理事の方々を訪問。
- 2014年4月8日：理事会が、本プロジェクトへの協力の可能性を協議いただくことに合意。
- 2014年6月10日：プロジェクト・チームが理事会へ出席し、同会議所理事13人に協力を依頼。STVSの専門コースと関連する日系企業を紹介いただくことで合意。
- 2014年7月21～24日：ご紹介いただいた溶接、縫製、食品加工に関連がある会員企業（金属加工業12社中8社、縫製業6社中1社）のうち、金属加工業6社を訪問。STVSを含む技術職業学校との将来の連携などにつき協議。
- 2014年8月28日：STVSの学校公開日（Trade Fair）に上記の6社を招待。

第二年次は、学校だけではなく教育省地域事務所、地方事務所とも協力して、産業界の関係者に対する聞き取り及び協議を行うよう努めた。2016年6月のK to 12 全面実施に向けて、K to 12 改革や18歳でSHSを卒業する若者が中等教育で何を習得するのかを産業界に丁寧伝えることが重要だと考えられたからである。以下の聞き取りを実施した。

- 2015年6月13日：ミンダナオ日本人商工会議所定例理事会において、本プロジェクトの紹介、K to 12 改革の進捗の説明を行った。その際、日本企業におけるSHS生の就業体験受け入れなどの可能性につき協議した。
- 2015年6月26日：教育省マダウエ（Mandaue）市事務所、同市においてSHSを設置している学校2校とともに、マクタン経済特区（MEZ）入居企業10社を対象にK to 12に関する啓発活動を実施。企業側からは、改革後のカリキュラムがこれまでのものとはどのように違うのか、新たなカリキュラムにおける企業実習の時間やタイミングはどうなるのかなど多くの質問が出された他、企業から高校に技術者を派遣し、生徒に指導を施す機会を設けてはどうかという積極的な提案も聞かれた。
- 2015年7月23日：ラグナ・テクノパーク内PEZAのZone Managerを訪問し、教育省地方事務所及びSPRCNHSとともにラグナ・テクノパーク入居企業に対して啓発活動を実施したい旨、打診した。
- 2016年1月22日：フィリピンを含む世界8カ国でオンライン教育サービスを展開する日系企業Quipper社と面談した。同社は、Quipper Schoolという無料ソフトと無料コンテンツ（4年生から10年生のタガログ語、算数などAcademic Subjectsの補完教材）を提供しつつ、有料のコンテンツを販売している。同社はケソン市教育省地域事務所と協力して第11学年を対象とするWork Ethicsの教材開発に取り組んでおり、同教材がほぼ完成している状況などを聞き取った。
- 2016年1月29日：ミンダナオのパナボ（Panabo）市近郊を拠点としてフルーツの輸出を手掛ける日系企業Diamond Star Agro Products（以下、Diamond Star）社とTNTSを訪問した。
- 2016年1月29日：ダバオ市郊外でフルーツや水産物の加工品を製造する日系企業Nakashin Davao Internationalの代表と面談した。

第三年次はプロジェクト終了後の成果の持続性を高める目的、パイロット校、モデル校の実践の普及に注力したため、プロジェクト・チームが主体となつての産業界への聞き取りは実施しなかった。

[1-3] 学校改善計画（SIP）の計画・活動によるギャップへの対応

学校改善計画（SIP）⁷は、各学校がコミュニティやその他のステイクホルダーの支援を受けて実施する活動を示した3年間の計画である。2001年の Republic Act No. 9155 (Governance of Basic Education Act)により推進された School-Based Management を実現するツールとして活用されている。

プロジェクト開始後、パイロット校の SIP を確認したところ、SHS プログラムについては何も記載されていなかった。そこで、プロジェクト・チームは、2014年4月2日にパイロット校3校（セブの STVS を除く）を集めてワークショップを開催し、産業界・コミュニティのニーズを反映した2014/2015学年度の年次改善計画（Annual Improvement Plan）を作成するよう助言した。ワークショップに参加することができなかった STVS に対しても、別途、口頭及び文書で同様の助言を行った。

第二年次にも、プロジェクト・チームはパイロット校4校に対して、2015/2016学年度の年次改善計画を作成するよう助言した。2015年6月初旬には、各学校を訪問して、計画に盛り込まれる活動を確認した。

第三年次には、第一年次、第二年次の年次改善計画の評価結果を踏まえ、各学校が卒業生の能力と産業界のニーズのミスマッチ/ギャップの把握に努め、その結果を新たな SIP へ反映させるようパイロット校へ助言した。それを受けて2016年6月に提出された SIP の概要は、2.2.1に記載したとおりである。

[1-4] 企業への卒業生の就職支援

本プロジェクトでは、SHS モデリング事業/早期実施の卒業生の進路に関するデータを収集し、その推移を確認するとともに、パイロット校による就職支援活動を促進するよう努めた。各年次の活動は以下のとおりである。

第一年次には、(1)パイロット校 SHS モデリング事業第1期生（2013/2014学年度の卒業生）の進路に関するデータを収集、(2)各パイロット校でこれまで実施されてきた就職支援を確認、(3)就職支援コーナーを設置した。

(1) パイロット校 SHS モデリング事業第1期生の進路に関するデータ収集

各パイロット校が卒業生の進路情報の管理や系統的に分析を行えるよう指導する目的で、

⁷ なお、2015年9月29日には、教育省長官より、SIPを通じた計画策定、学校報告カード（School Report Card, SRC）の活用を強化するガイドラインが発出された。同ガイドラインでは、学習者及びステイクホルダーの声に基づき、学校の現状を質的・量的に分析すること、課題の原因分析を行って計画を策定することなどが指示されている。

進路を確認するためのフォーマットをプロジェクトでドラフトし、パイロット校4校のSHSモデリング事業第1期生の卒業後の進路に関するデータを収集した。2014年6月時点での卒業生の就職率は平均66.3%であった。

表9：2014年3月卒業者の就職状況（2014年6月時点）

学校名	DARSSTHS	RESPSCI	SPRCHNS	STVS
卒業生数	25人	21人	192人	25人
就職	16人 (64%)	8人 (38.1%)	129人 (67.2%)	18人 (72%)
自営業	2人 (8%)	2人 (9.5%)	12人 (6.3%)	-
進学	1人 (4%)	1人 (4.8%)	49人 (25.5%)	2人 (8%)
海外研修	2人 (8%)	-	-	-
未定	4人 (16%)	9人 (42.8%)	2人 (1%)	5人 (20%)
該当なし	-	1人 (4.8%)	-	-

出所：パイロット校からの聞き取りをもとに、JICAプロジェクト・チームが作成

(2) 各パイロット校でこれまで実施されてきた就職支援の確認

各パイロット校で、これまでどのような就職支援が行われてきたかを確認した。各校には1名のキャリア・ガイダンス・カウンセラーが配置されているが、生活困窮家庭や問題を抱えた生徒の支援が主な業務であり、同カウンセラーによる進路指導、就職支援は行われていないのが現状である。各パイロット校では、主に産業連携コーディネーターが中心となり、下表のような取り組みが行われていた。

表10：パイロット校におけるこれまでの就職支援活動

学校名	就職支援活動
DARSSTHS	<ul style="list-style-type: none"> 履歴書の書き方指導や面接練習を実施 「キャリア・トーク」(産業界から招いたゲストスピーカーによる講演会)を開催 コミュニケーション能力向上のためのセミナーを開催 PESOへの生徒の推薦 Facebookを通じ、卒業生へ人材募集情報を提供
SPRCNHS	<ul style="list-style-type: none"> DOLEと覚書を取り交わし、School Based PESO⁸として承認を受け、就職情報を学内に掲示 合同就職説明会 (Job Fair) を開催 Toyota Motor Philippines Corpの訓練生制度を利用 PESOへの生徒の推薦
STVS	<ul style="list-style-type: none"> 溶接コースの生徒に関しては、実習先であるMETAPHILと雇用契約

出所：パイロット校からの聞き取りをもとに、JICAプロジェクト・チームが作成

(3) 就職支援コーナーの設置

第一年次本邦研修では、教育省及びパイロット校からの参加者に対して、日本における進路指導及び就職支援を紹介した。日本の専門高校では、労働局に申請を行い、公共職業安定

⁸ School Based PESO として承認を受けることで、学校が公共職業安定所の機能の一部を担うことができる。日本の専門高校（工業高校など）にも同じ機能がある。

所の機能の一部を担っている。各学校には進路指導室が設けられ、求人票や企業情報を閲覧できる他、就職の斡旋も行っている。[0-8]に示したとおり、参加者から自校においても同様の取り組みを行いたいという声が多く聞かれたことから、プロジェクトは4つのパイロット校の「就職支援コーナー」設置を支援した。

生徒が自由にアクセスできる場所に「就職支援コーナー」を設置するよう働きかけ、各パイロット校に対して、パソコン、パソコン机、書棚を供与した。労働雇用省（DOLE）が開発した Job Search Kiosk⁹を参考に、Phil-Job.Net¹⁰に接続して求人情報を閲覧できるようにした。

第二年次には、(1)パイロット校 SHS モデリング事業第2期生（2014/2015 学年度の卒業生）の進路に関するデータを収集、(2)就職先決定への貢献要因を確認、(3)キャリア・ガイダンス・カウンセラーの位置づけを確認、(4)就職支援コーナーの活用状況モニタリング・活用促進、(5)面接練習を実施した。

(1) パイロット校 SHS モデリング事業第2期生の進路に関するデータ収集

パイロット校4校における第2期生の就職率平均は2015年7月時点において57.1%であった。なお、就業の入り口はOJTや試用期間であるという現状に鑑み、それらも就職としてカウントした。

表 11：2015年3月卒業者の就職状況（2015年7月時点）

学校名	DARSSTHS ¹¹	RESPSCI	SPRCHNS	STVS
卒業生数	-	21人	48人	15人
就職	-	6人 (28.6%)	29人 (60.4%)	13人 (86.7%)
自営業	-	-	-	-
進学	-	3人 (14.3%)	10人 (20.8%)	-
海外研修	-	-	-	-
未定	-	6人 (28.6%)	9人 (18.8%)	2人 (13.3%)
該当なし	-	6人 (28.6%)	-	-

出所：パイロット校からの聞き取りをもとに、JICAプロジェクト・チームが作成

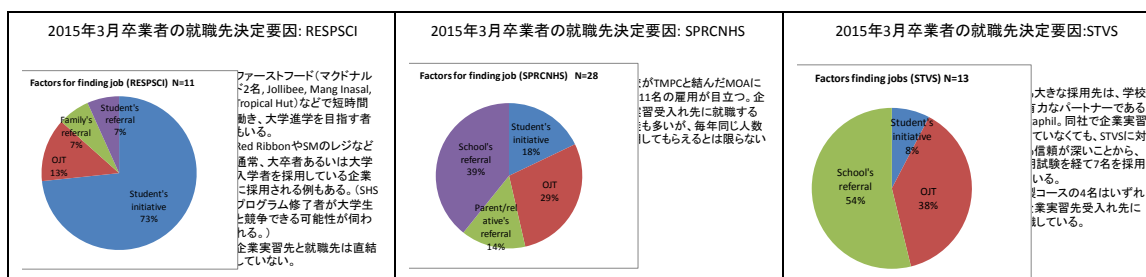
(2) 就職先決定への貢献要因を確認

産業連携コーディネータにインタビューを行い、就職先決定への貢献要因について確認した。結果は以下のとおりである。

⁹ 求人情報が検索できる端末。公共施設、モール、大学等に設置されつつある。

¹⁰ <http://www.phil-jobnet.dole.gov.ph/>

¹¹ 同校では2013/2014年度のSHS入学者がいないため、2015年3月の卒業生は不在である。



(3) キャリア・ガイダンス・カウンセラーの位置づけ

各パイロット校には、1名ずつ、キャリア・ガイダンス・カウンセラーが配置されている。キャリア・ガイダンス・カウンセラーは、これまで、第7学年にて専攻を選ぶ際のカウンセリング、問題を抱えた生徒への対応、奨学金の対象となる生徒の選定・推薦等を担当してきた。進路に関わる業務内容としては、高等教育へ進学する際のカウンセリング、キャリア・ガイダンスの実施等が挙げられる。K to 12 完全実施後、トラックの選定、Partnership Focal Person (PFP)との連携に基づき、卒業生の就職支援に係る業務を担うことが期待される。

(4) 就職支援コーナーの活用状況モニタリング・活用促進

2015年6月、2015年12月に就職支援コーナーのモニタリングを実施した。

表 12：就職支援コーナー設置状況

学校	2015年6月	2015年12月
DARSSHS	新学期が始まったばかりであり、生徒は使用していないが、パソコンはセットアップ済みである。インターネットにも接続されている。特定ページにのみアクセスできるよう制限している。	<ul style="list-style-type: none"> ガイダンス・オフィスに設置されており、インターネットへの接続も可能である。 学校側が第12学年に対し就職支援コーナーを紹介した。
RESPSCI	トップページを学校のエンジニアが作成し、ロゴをタッチするとそのサイトにアクセスできるようにしている。	<ul style="list-style-type: none"> ガイダンス・オフィスに設置されている。 実習前オリエンテーションにおいて、第12学年の生徒と保護者に対し、就職支援コーナーを紹介した。 PC内に1人ずつフォルダーを作成し、就職活動の過程も記録していくとのこと。
SPRCNHS	キャリア・ガイダンス・カウンセラーの部屋に設置されており、卒業生・在校生が自由に利用できる環境にある。	<ul style="list-style-type: none"> 供与した3台のうち1台はインターネットへの接続が可能。 他の2台はPFPの事務所に設置されており、履歴書の作成等に活用されている。
STVS	校舎増設中のため、未設置の状況であった。パソコンは校長室に保管されている。	<ul style="list-style-type: none"> 校舎の増設、校長の交代に伴い、設置されていなかった。 プロジェクト・チーム訪問時(2015年12月1日)にコンピュータ・ルームに設置した。

また、2015年12月には各学校を訪問し、就職支援コーナー活用促進のため、PPTと配布資料を用いて、Phil-Job Netの使い方を解説、生徒の代表2名に実際にコンピュータを操作

してもらう活動を実施した。

(5) 面接練習の実施

プロジェクトでは、2016年3月にSPRCNHSの飲食サービス専攻の生徒28名を対象に、研修“English for Tourism, Hospitality, and Food Industry”を実施した。3日間にわたる研修の最終日に、英語での面接練習を実施した。

第三年次には、プロジェクト・チームはパイロット校に対する就職支援を実施しなかった。地域事務所が技術・職業・生計トラックを設置しているSHS校に対して就職支援を行うことが重要であると考え、2016年7～8月、5つの地域事務所を訪ねた。K to 12プログラムが開始したばかりの時期であったため、地域事務所では就職支援に対する取り組みをほとんど実施していなかった。プロジェクト・チームは、パイロット校や日本の事例を紹介しながら、各地域内のSHS校のトラック別生徒数、取得見込みの国家資格数などをまとめて、産業界に対しSHS校を紹介する文書を作成するよう勧めた。

パイロット校SHSモデリング（早期実施）事業第3期生（2015/2016学年度の卒業生）の進路は下表のとおりである。

表 13：2016年3月卒業者の就職状況（2016年6月時点）

学校名	DARSSHS	RESPSCI	SPRCHNS	STVS
卒業生数	33人	20人	138人	13
就職	22人 (66.7%)	20人 (100%)	120人 (87%)	12 (92.3%)
自営業	—	—	—	—
進学	—	—	14 (10%)	1 (7.7%)
海外研修	—	—	—	—
未定	4人 (12.1%)	—	4 (3%)	—
該当なし	7人 (21.2%)	—	—	—

出所：パイロット校からの聞き取りをもとに、JICAプロジェクト・チームが作成

2.1.3 成果2 パイロット校が学校活動を改善し、把握されたギャップを埋めるために、日本企業を含む産業界/企業と協働出来るようになる

[2-1] 産業連携コーディネーター（ILC）の任命

各パイロット校には、下表のとおり、産業連携を担当する者が任命されている。第一年次の初めには、「産業連携コーディネータ（Industry Linkage Coordinator, ILC）」と呼称されていた担当者は、「学校産業連携担当（School-Industry Linkage Officer, SILO）」と呼ばれるようになった。その後、Guidelines for Building Partnerships for the K to 12 Basic Education Program (DepEd Order No.40, 2015)により、校長及び校長を支援する教員が「パートナーシップ窓口（PFP）」として活動することとなった。

表 14：産業連携を担当する者

学校名	第一年次・第二年次		第三年次（校長を支援する教員）	
	氏名	役職	氏名	役職
DARSSTHS	Ms. Gina Labor-Obierna	Head Teacher III / Asst. Principal for Special Project / Coordinator SHS Program	Ms. Ruthchel G. Diaz	Industrial Linkage Focal Person
RESPSCI	Mr. Michael V. Alimario	Teacher I/Industry Linkage Development Officer	変更なし	
SPRCNHS	Ms. Maria Leonora T. Guerrero	SHS Modeling Program Coordinator, Linkage Development Officer		
	Ms. Alenie B. Dualan	Teacher I / ILC	変更なし	
STVS	Mr. Raymond C. Espina	Teacher III	Ms. Nina Socorro Naces	Guidance Designate / EMIS /SHS Coordinator
	Mr. Randy C. Mangubat	Teacher I	Mr. Majencio Bontilao	Teacher / Industry Linkage Officer

出所：パイロット校からの聞き取りをもとに、JICA プロジェクト・チームが作成

[2-2] 産業界/企業と学校間の覚書（MOA）締結促進による連携の仕組み構築

産業界/企業と学校間の連携を促進するためには、個々の学校による個々の企業への働き掛けが不可欠ではあるものの、地方政府や教育省地域事務所の協力を得るとともに、業界団体との協働を図ることが効率的であると考えられる。この観点から、プロジェクト期間を通じて、国の制度、自治体や教育省地域事務所の取り組み、業界団体からの情報収集を行った。

第一年次は、以下の聞き取りを行った。

- Adopt-A-School Program :**
1998年に制定された共和国法第8525号（Act Establishing an "Adopt-A-School Program"）では、民間企業が公立の教育機関に土地、施設、機材などの寄付を行う場合、その価値の50%に当たる金額を所得控除として所得から差し引くことができると規定されている。これは、企業にとっては法人所得税の減税というインセンティブとなる。その後、2016年には教育省長官令（DO 24/2016 - Guidelines on Accepting Donations and on Processing Applications for the Availment of Tax Incentives by Private Donor-Partners Supporting the K to 12 Program）が発出され、研修の受け入れなどにおいて、民間企業がどのように所得控除を計算し、申請することができるのか細目にわたるガイドラインが制定された。
- 教育省 Quezon 市地域事務所（2014年5月27日）:**
Quezon 市において2012/2013年度からSHSプログラムを実施しているのはDARSSTHSのみである。同事務所はDARSSTHSの実践について、把握しており、市内の他校にとって手本になると考えている。なお、Quezon 市議員 Medalla 氏が生徒の

インターンシップに関する規則を策定し、Quezon 市事務所に内容の確認を依頼した。

- 教育省 Pasig 市地域事務所（2014 年 5 月 29 日）：
市内 12 校のうち技術職業学校は RESPSCI のみである。同事務所では、Adopt-A-School Program を活用したり企業の CSR 活動に期待したりする以外に、企業実習を支援する法律、規則を制定することの必要性を感じていた。また、子どもや保護者に技術職業教育を正しく理解してもらう必要あると考えていた。
- 教育省 Laguna 州事務所（2014 年 6 月 3 日）：
同事務所では各町にアンケート用紙を配布し、Laguna 州内の Industrial Mapping を行った。合わせて州内の学校のキャパシティを確認し、SHS 設置可能性、設置すべき専門コースについても検討していた。
- Association of Administrators in Hospitality, Hotel and Restaurant Management Educational Institute (AAHRMEI)（2014 年 6 月 4 日）：
AAHRMEI は、ホテル・レストラン業に関する教育機関（4 年制、私立）及び実践者に再教育の機会を提供することを目的に 2001 年に設立された全国組織である。会員は約 1000 団体/個人。同会が把握する範囲では、シャングリラホテル、マニラホテル等大手は特定の学校とパートナーシップを結んでおり、手数料を取るホテルは特定の学校とはパートナーシップを結ばない。一方で、手数料を取らないホテルとして、リゾート、Sogo、Micro Hotel グループなどが挙げられる。リゾートでは無料の宿舎が提供されることもある。レストランについては実習先を見つけることは難しくない。但し、K to 12 が全面実施されると、会員組織との競合することになるので連携は難しいと考えられる。

第二年次には、SHS 生の就業体験を受け入れる会社に対し、地方自治体がどのような優遇措置を提供することができるのか、自治体が果たせる役割や可能性につき調査を行った。

- ケソン市議会は、2014 年、「公立学校への寄付の奨励に関する条例（Ordinance Providing Incentives for Donations Made in Favor of Quezon City Public Schools（Ordinance No. SP-2367, S-2014））」を制定した。同条例では、企業が公立学校に対して、1) 土地（Land）、2) 施設（Facilities）、3) 機材（Equipment）、4) サービス（Services）を寄付する場合、その価値の 50%までを総受領高（注：事業税等の課税ベース）から差し引くことができると規定されている（注：条例の中では事業税の減税）。なお、SP-2367 は、基本的に土地や施設の寄付を念頭においているが、就業体験などの「寄付」も控除の対象となり、SHS 生の就業体験を受け入れる企業が減税の恩恵を受けることができる仕組みを整えている。
- 本プロジェクトのモデル校が所在するタグム（Tagum）市の財務課を訪ね、聞き取りを行った。本件のような目的で減税措置を実現させる場合、市税のなかでも事業税（Business Tax）の活用が適当であり、同じ地方税でも Real Property Tax や Community

Tax は馴染まないとの回答があった。北ダバオ (Davao del Norte) 州の州都でもあるタグム市には約 8,000 の事業所があり、市ではこれらの事業者に対して総受領高に応じて事業税を課し、徴収している。ダバオ (Davao) 市やカガヤン・デ・オロ (Cagayan de Oro) 市と比較しても登録事業者がそれほど多くないので、タグム市が協力企業への減税措置にかかる条例を制定するのは比較的容易ではないかとの見解が出された。

第三年次はプロジェクト終了後の成果の持続性を高める活動に重点を置いたため、プロジェクト・チームが主体となつての産業界/企業と学校間の覚書 (MOA) 締結促進は実施しなかった。

[2-3] 校長、教員、ILC 等の能力向上にかかる活動

本プロジェクトでは、パイロット校のニーズに基づき、企業の協力を得て、教員及び ILC 等の能力向上にかかる活動を実施した。

第一年次は、パイロット校教員の能力向上にかかる活動として、以下の 4 つの活動を実施した。

- Tsuneishi Heavy Industries (Cebu), Inc. の見学 (2014 年 3 月 19 日) :
STVS 校長、溶接コース担当教員 2 名がプロジェクト・チームとともにセブ島西部バランバン町の Tsuneishi Heavy Industries (Cebu), Inc. を訪問し、工場を見学した。
- ユニカセ・コーポレーションの見学 (2014 年 7 月 8 日) :
ユニカセ・コーポレーションは、青少年に雇用の機会を創出し、危機にさらされた子ども達を 1 人でも多く減らすことを目的に 2010 年に設立された社会的企業である。同社が運営するレストランでは、貧困層出身の若者がスタッフとして働いている。同レストランを DARSSTHS、RESPSCI、SPRCNHS の調理コース担当教員計 9 名が訪問し、中村ジェネラル・マネージャーから事業概要や従業員に求めている資質、従業員研修などについて説明いただいた。また従業員 2 名からも話を伺い、日本食レストランで働く際の心構え、コミュニケーション能力の向上を図る際に注意すべきことなど、参考になる情報を得た。
- バブコック日立フィリピン (BHPI) の見学 (2014 年 7 月 19 日) :
BHPI は、サンペドロ校から車で約 1 時間 30 分離れたバタンガス州パウアン町にあり、火力発電用のボイラ機器等を製造している。SPRCNHS の産業連携コーディネータ 2 名及び溶接コース担当教員 3 名が BHPI の工場を見学した。これらの教員は溶接現場での経験が少なく、溶接技術がどのように製品につながっているのかについて知識も限定的であったため、この見学は新鮮かつ有益な機会となった。BHPI では高温、高圧に耐えられるボイラ部品の製造を手掛けており、そこで必要とされる溶接技術と SPRCNHS で教えられている技術には大きな開きがあるものの、教員の能力・モチベーション向上につながったと考えられる。SPRCNHS は 2015 年 2 月 20 日に開催した Job Fair へ BHPI 関係者を招待した。

- その他の企業見学：
STVS の溶接コース担当教員が Saver' s Home Depot と Jan-Ar Construction を視察した。

第二年次には、2015 年 10 月 2 日、JICA フィリピン事務所が開催した“A Life in the Real World”に、RESPSCI と SPRCNHS 教員がそれぞれ 4 名ずつ参加し、日本のモノづくりや Kaizen¹²について学んだ。

また、SPRCNHS 及び RESPSCI の飲食サービス、家政、製菓・製パン、バーテンディング、調理、英語担当教員を対象に、英語でのコミュニケーション能力を高めること、仕事に対する意識を高めることを目的とした 3 日間の研修“English for Tourism, Hospitality and Food Industry”を開催した。これまでホテルやレストランは、大学の飲食サービス・コースやホテル経営コース修了者及び職業訓練コース修了者を採用することが多かった。そのため、SHS 早期実施校の生徒は、就業体験の機会の確保と就職に関して、大学生や職業訓練校生との競争にさらされている。さらに、同業界では、就業体験を希望する若者に対しても、身長、マナーなどに加え高いレベルのコミュニケーション能力を求めている。こうした状況に対し、プロジェクト・チームは飲食サービスの生徒と教員に、接客マナーとコミュニケーション能力を身に付けてもらうことが重要だと考えた。本研修は、就業体験、就職先に備えて、生徒が自信を付けることに貢献したと考えられる。また、英語の教員と飲食サービスの教員が、「生徒が将来、就職することが想定される職場において求められる英語コミュニケーション能力をどのように伸ばしたらよいか」を協議し始めた。

表 15：研修 “English for Tourism, Hospitality and Food Industry”

バッチ	期間	参加者
第 1 バッチ	2016 年 3 月 1～3 日	SPRCNHS 飲食サービス専攻生徒 10 名 飲食サービス担当教員 1 名
第 2 バッチ	2016 年 3 月 9～11 日	SPRCNHS 飲食サービス専攻生徒 9 名 飲食サービス担当教員 1 名
第 3 バッチ	2016 年 3 月 16～18 日	SPRCNHS 飲食サービス専攻生徒 9 名 飲食サービス担当教員 1 名
第 4 バッチ	2016 年 4 月 7～9 日	RESPSCI 教員 4 名:家政、製菓・製パン、バーテンディング、英語各 1 名、SRCNHS の教員 8 名:調理 6 名、英語 2 名

第三年次はプロジェクト終了後の成果の持続性を高める活動に重点を置いたため、プロジェクト・チームが主体となつての校長、教員、ILC 等の能力強化は以下の活動を除き、実施しなかった。

- UCC Ueshima Coffee Philippines による指導（2016 年 6 月 10 日）：
RESPSCI は、校内に就業体験の場を作るため、Café Razzo を設置した。UCC Ueshima Coffee Philippines より講師を招き、Café Razzo に携わる教員 7 人を対象にペーパーフ

¹² 主に日本の製造業の生産現場においてボトムアップ式で行われている、作業効率の向上や安全性の確保のための作業の改善活動。

フィルターを用いたコーヒーの入れ方について指導を受けた。

[2-4] 産業界と学校間で合意した活動の実施 [2-5] MOA 実施のモニタリングと評価の実施

フィリピンにおいて覚書 (MOA) の締結は協議議事録 (MOU) よりも拘束力が強いいため、連携自体には前向きでも覚書の締結には消極的な企業もある。そこで、覚書の有無を問わず、連携構築に努め、活動のモニタリングを実施した。

表 16 : 産業界と学校で合意した活動及びモニタリング

学校名	日付	企業名	モニタリング内容
DARSSTHS	2014年3月11日	Wheatberry	生徒の就業体験(製菓・製パン・飲食業)
	2014年3月11日	The Lounge	生徒の就業体験(飲食業)
	2014年3月12日	JABEZ Tourism & Hospitality Training Center	生徒の就業体験幹旋(人材育成)
	2014年3月13日	Honda Balintawak	生徒の就業体験(自動車)
	2015年1月	Toyota Cubao	生徒の就業体験(自動車)
RESPSCI	2014年3月6日	Marikina Hotel	生徒の就業体験(ホテル・飲食業)
	2015年8月3日	Agave Mexican Cantina	生徒の就業体験・就職(飲食業)
SPRCNHS	2014年3月11日	Rohm Semiconductor	生徒の就業体験・就職(半導体)
	2014年3月12日	TOYOTA Motor Philippines Corporation	生徒の就業体験・就職(自動車)
	2014年7月19日	バブコック日立フィリピン 現: MHPS(Philippines) Inc.	ILC2 人及び溶接学科教員 3 人の見学(金属加工)
	2015年3月23日	Career Power Professional Management Service, Inc.	生徒の就業体験・就職(人材紹介・派遣)
	2015年3月23日	Global Integrated	生徒の就業体験(建設)
	2015年6月5日	K to 12 Plus プロジェクト	生徒の OJT への協力
STVS	2014年3月17日	DSJP	生徒の就業体験(建設)
	2014年3月19日	METAPHIL	生徒の就業体験・就職・溶接用テストプレート・機材の提供・校舎建設・設備増強(金属加工)
	2014年3月20日	Wellmade Motors & Development Corporation/ マングラウエ商工会議所	機材供与・教員研修(金属加工)
	2014年3月20日	St. James Academy	溶接機材無料貸し出し(人材育成)
	2015年1月28日 2015年6月25日、7月21日 2016年7月12、26日	NEC Telecom Software Philippines Inc.	STVS と市川工業高等学校交流プログラムへの協力(通信)
	複数校に跨るもの	2014年7月8日	ユニカセ・コーポレーション
2014年8月28日		UCC Ueshima Coffee Philippines	DARSSTHS、RESPSCI の生徒 25 人にコーヒー教室開催

なお、第三年次はプロジェクト終了後の成果の持続性を高める活動に重点を置いたため、

プロジェクト・チームが主体となつての活動の実施、MOA 実施のモニタリングと評価は行わず、エンドライン調査にて各学校の取り組みを確認した。

[2-6] 供与機材の調達（第一年次のみ）

パイロット校が現況をどのようにとらえ、今後、どのような改善を行いたいかを確認するとともに、企業関係者から聞き取ったパイロット校卒業生と産業界のニーズのギャップ及び TESDA の資格取得に必要な機材について検討した。その中で明らかになった各校の機材に関する現状・課題に基づき、下表のとおり機材供与の方針を立て、機材の調達を行った。すべての機材は 2014 年 12 月 19 日までに、各学校に納品された。

表 17：パイロット校の機材の現状・課題及び機材供与

学校名	現状・課題	機材供与の方針	主な供与機材
DARSSTHS	<ul style="list-style-type: none"> 自動車整備コースでは、NCII 取得に必要な教育内容を提供できていない。 	NCII 取得に必要な教育内容を提供できる機材を整える。	自動車整備機材（エンジン、油圧式ジャッキ、カーリフト、工具等）、二輪自動車
RESPSCI	<ul style="list-style-type: none"> 学校に設置されている機材は古く、企業実習先の最新機材に生徒がついていけない。 教育省により実習棟が建設されたが、機材は入っていない。 	同校唯一のコースである家政・飲食サービス・コースの拡充を目指す。	調理器具（ガスレンジ、フードプロセッサ、ブレンダー、ジューサー等）、食器、ホテルの清掃用カート
SPRCNHS	<ul style="list-style-type: none"> 企業関係者への聞き取りから、設計や製図技術を身につけた生徒に対するニーズがあることが明らかになった。 様々な専門コースを設置しているが、機材の台数は生徒数に見合っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> CAD を身につけられるよう機材を整備する。 不足している機材を補う。 	コンピュータ、二輪自動車車、溶接機材、ミシン、安全防具（ヘルメット、作業用エプロン、ゴーグル、グローブ）等
STVS	<ul style="list-style-type: none"> 溶接工に対するニーズは国内外を通じて高い。 同校は溶接に力を入れているが、機材の台数は生徒数に見合っていない。 溶接実習中の安全対策が不十分である。 	溶接コースの拡充を目指す。	溶接機材、アングル研削盤、安全防具（ヘルメット、作業用エプロン、ゴーグル、グローブ、耳栓、安全靴）等。

出所： JICA プロジェクト・チーム

各校からは「機械の台数が増加したので、生徒が同時に作業を行える時間が増えた」「供与総額は大きくないが、学校のニーズに合った機材を柔軟に供与してもらえた」という声が聞こえている。教員の能力向上に貢献した事例、産業界との新たな連携が生まれた例も報告された。

- DARSSTHS を会場として開催された Quezon 市の教員研修では、プロジェクトで供与した自動車整備機材が活用された。
- STVS に機材を納入した Bosch Belmonte が同校に対し追加で機材を寄付するとともに

に、自社会議室に招いて、機材の安全な使用に関する説明会を開催した。

2.1.4 成果3 パイロット校以外のモデル校が、パイロット活動や成功事例の再現/適応/採用のために情報を得る

[3-1] パイロット校での実践経験や成功事例を他の TVHS に適用/実施するための計画策定

パイロット校での実践経験や成功事例をモデル校に紹介し実践を促すという活動に向け、第一年次にモデル校 10 校を訪問した。合わせて、各教育省事務所を訪問し、SHS モデリング事業実施状況、地域の産業、就業状況も確認した。

表 18 : モデル校訪問

	所在地	学校名	訪問日	備考
L	Aparri, Cagayan	Bukig National Agricultural and Technical School	2014年6月23～24日 2015年2月6日 2015年3月30～31日	Cagayan 州事務所訪問 (2015年2月5日)
	Angeles, Pampanga	Angeles City National Trade School	2014年6月13日 2014年11月28日	Angeles 市事務所訪問 (2014年11月28日)
	Balagtas, Bulacan	Balagtas National Agricultural High School	2014年6月5日 2014年11月27日	Bulacan 州事務所訪問 (2014年11月27日)
	Orion, Bataan	Bataan School of Fisheries	2014年6月17日 2015年1月23日	Bataan 州事務所訪問 (2015年1月23日)
V	Silay, Negros Occidental	Doña Montserrat Lopez Memorial School	2015年2月2日	Silay 市事務所訪問 (2015年2月2日)
	Ormoc, Leyte	Merida Vocational School	2015年2月4日	Leyte 州事務所訪問 (2015年2月4日)
M	Cagayan de Oro, Misamis Oriental	Opol National Secondary Technical School	2014年12月1日	Cagayan de Oro 州事務所訪問 (2014年12月2日)
	Iligan, Lanao del Norte	Iligan City National School of Fisheries	2014年12月3日	Iligan 州事務所訪問 (2014年12月3日)
		Rogongon Agricultural High School	2014年12月4日	
	Tagum, Davao del Norte	Tagum National Trade School	2014年11月24日	Tagum 市事務所訪問 (2014年11月24日)

出所： JICA プロジェクト・チーム

モデル校の概要は以下のとおりであった。

- 工業系の学校：

モデル校のうち、工業系の学校は 5 校である。Angeles City National Trade School や Tagum National Trade School、Doña Montserrat Lopez Memorial School が大都市の中心部近くに位置する一方、Opol National Secondary Technical School と Merida Vocational School は地方都市の郊外に位置している。学校の立地は生徒の実習先、ひいては就職に影響しており、Opol National Secondary Technical School では、連携を構築し得る地域の企業数が限

られていることが課題となっていた。Merida Vocational School は、2013 年にフィリピンを襲った台風ヨランダの被害を受け、校舎を修復中であった。聞き取りの結果、5 校のうち 2015/2016 学年度に SHS を実施するのは、Opol National Secondary Technical School と Tagum National Trade School の 2 校であることが明らかになった。

- 農業系の学校：

モデル校のうち 3 校が農業系の学校である。Balagtas National Agricultural High School は都市近郊の学校だが、Bukig National Agricultural Technical School と Rogongon Agricultural High School は地方都市からも離れた遠隔地の学校である。遠隔地の学校では、農業関連産業での実習機会を得ることが難しいことも課題となっていた。Bukig National Agricultural Technical School では、製菓・製パンコースで作ったケーキや菓子パンなどを販売し、収益を実習時の交通費等に充てるという取り組みを行っていた。Rogongon Agricultural High School では、高等部の生徒 1 人あたり 1 ha を実習用農園として耕すよう指導していた。これらの学校は生徒の生産活動を支援し、農業が持続可能な生計手段であることをコミュニティに示す役割も担っていた。聞き取りの結果、これらの学校のうち 2015/2016 学年度に SHS を実施するのは、Bukig National Agricultural Technical school と Rogongon Agricultural High School の 2 校であることが明らかになった。

- 水産系の学校：

水産系の学校は、Bataan School Fisheries と Iligan City National School of Fisheries の 2 校である。両校に共通するのは、水産以外のコース設置にも積極的である点である。Bataan School Fisheries では食品加工コースと、地元の工業団地で高いニーズを有する縫製コースを設置していた。Iligan City National School of Fisheries でも、食品加工コースが設置されていた。また、水産関係のコースにおいて、溶接技術の習得と資格取得を促進していた。両校とも 2015/2016 学年度も SHS を実施することを表明した。

モデル校 10 校をパイロット校と共に、縦軸を「学校の所在地（都市部/地方部）」、横軸を「専門コース（農業・水産業/工業）」として並べたのが以下の図である。これらの学校に共通する課題として、教員数及び技能の不足、施設設備の不足、中退率の高さが挙げられた。プロジェクトでは 2015/2016 学年度に SHS を実施する 6 校に対して競争的助成金を配賦し、これらの課題解決に取り組みこととした。

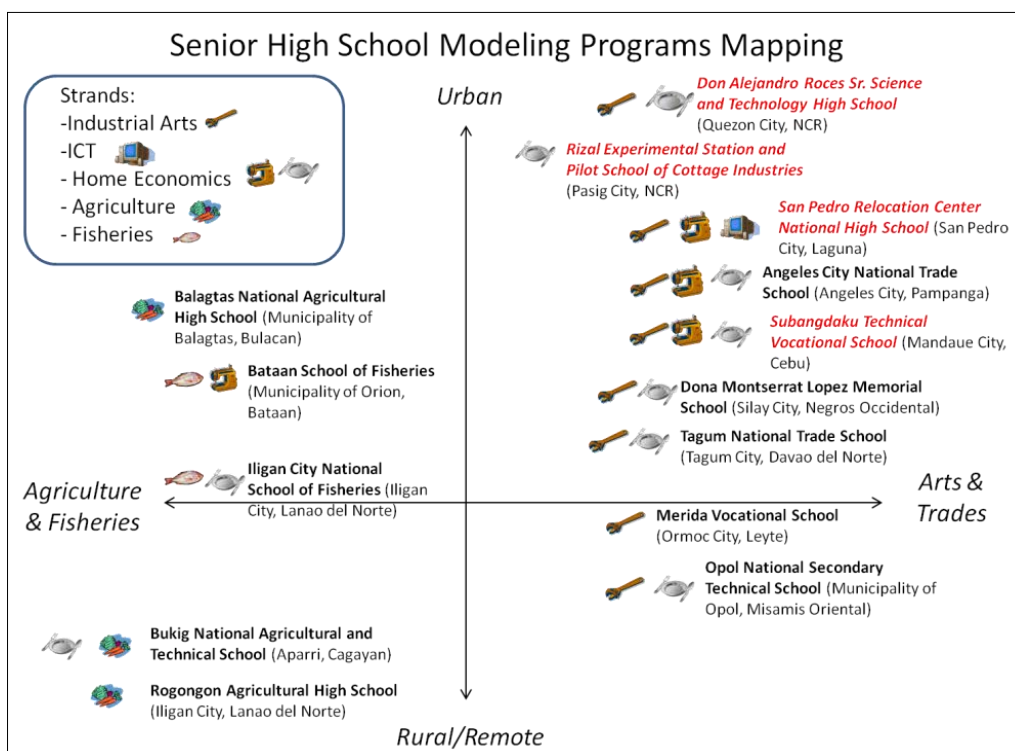


図 3 : パイロット校及びモデル校の概況

[3-2] 成功事例や実践経験を波及させるための会議の開催

パイロット校での成功事例や実践経験を波及させるため、パイロット校の取り組みをモデル校に紹介することを計画した。教育省の会合を活用したほか、パイロット校-モデル校間で経験交流が行われるよう積極的な働きかけも行った。各年次に実施した活動は以下のとおりである。

第一年次には、教育省年次ワークショップ会合が開催（2015年2月13日）され、パイロット校4校の校長/産業連携コーディネータが、モデル校を含む280技術職業学校校長に対し、経験を共有した。

第二年次には、パイロット校での実践経験等をモデル校に紹介し、再現/適応/採用を促すため、表19に示したとおり、モデル校によるパイロット校視察を計画・実施した。視察の概要を下表にまとめる。なお、農業、水産業に関してはパイロット校に専門コースが設置されていないため、モデル校同士の視察を実施した。

表 19 : モデル校によるパイロット校視察

視察先	モデル校	日付	視察の概要
DARSSTHS	TNTS の PFP 及び自動車整備担当教員	2016年2月29日	<ul style="list-style-type: none"> 当日の主なプログラムは、(1) 両校の紹介、(2) 授業・実習視察、(3) 生徒の企業実習先見学、(4) 意見交換。 TNTS は、来年度に予想される膨大な入学人数の解決策を探っていた。DARSSTHS で実施予定である生徒のスクリーニングは、同校にとってヒントとなったようである。 DARSSTHS の生徒の企業実習先を見学し、改めて企

			<p>業実習の意義を認識した様子であった。</p> <ul style="list-style-type: none"> 両校共通の課題は、企業実習先の発掘と時間の確保である。また生徒の保険についても意見交換がなされた。
RESPSCI	ONSTSのPFP及びFood and Beverage Services (FBS) 担当教員2名	2016年2月11日	<ul style="list-style-type: none"> 当日の主なプログラムは、(1) 授業視察、(2) 就職支援コーナーの紹介、(3) 生徒によるデモンストレーション、(4) 両校の紹介、(5) 意見交換。 RESPSCIでは企業実習時間数の制限(80時間)への対応として、Practical Research 1&2を充てている。 ONSTSはCOHARA (Cagayan de Oro Hotel And Restaurant Association)に加盟し企業実習先の紹介を受けている。RESPSCIもCOHARAのような団体を探したいとのこと。 RESPSCIはモデリング事業を通じて、様々な示唆を得ている様子。他方、ONSTSは2016/2017学年度以降発生し得る問題についてそれ程、認識していない様子であった。
SPRCNHS	ICNSFの調理・製菓・製パン担当及び溶接担当、TNTSの製図担当、電子担当、食品加工担当教員	2016年2月29日	<ul style="list-style-type: none"> 当日の主なプログラムは、(1) SPRCNHSの紹介、(2) SPRCNHSの産業連携の取り組みについて紹介、(3) 授業視察、(4) 就職支援コーナーの紹介、(5) ICNSF及びTNTSの紹介、(6) 意見交換。 SPRCNHSは75社とパートナーシップを構築している。PFPが産業連携構築により時間を費やせるよう授業時間数を調整している。School-based PESOとして認定を受けている他、Job Fairも開催し、生徒に対する就職支援も実施している。 SPCNHS、ICNSFは夏季休暇を活用し企業実習の時間を確保する。他方、TNTSは校内にて企業実習の機会を創出できるよう努めている。

表 20：モデル校同士の視察（農業、水産コース）

視察先	視察者	日付	専門コース
RAHS	BNATS	2016年2月4日	Horticulture
ICNSF	BSF	2016年2月12日	Fish Capture, Aquaculture
BSF	ICNSF	2016年2月19日	Fish / Food Processing, Aquaculture

第三年次には、パイロット校、モデル校での実践経験や成功事例を他の技術職業高校に紹介することを目的に、教育省による Industry Summit on Strengthening Partnership for Technical Vocational Education の開催を支援した。Industry Summit は、技術職業高校と産業界の連携を促進するために、教育省が2016年3月に開催を予定していた会合である。2015年前期から構想はあったものの、予算執行上の問題から実施が見送られてきたため、カリキュラム開発局局長がプロジェクトに対して支援を要請した。2016年6月から、カリキュラム開発局の Industry Summit 技術作業委員会と会合を行い、準備を進めてきた。開催費用の54%を教育省、46%をプロジェクトが負担した。内訳は下表のとおりである。

表 21：費用分担内訳

No.	教育省	支出額 ¹³
1	Transportation of field participants	
2	Transportation of BCD-CO, other DepEd Personnel	
3	Pre and Post Meeting (Meals)	
	合計	1,841,000PHP(3,978,953 円)
No.	JICA プロジェクト	支出額
1	Accommodation, venue and meals	1,485,000
2	Invitation letters	1,595
3	Stationeries	27,634
4	Token (Candle)	6,160
5	Token (Bag with printing)	62,985
	合計	1,583,374PHP(3,422,145 円)

Industry Summit は、2年ぶりにフィリピンの技術職業学校が一堂に会す機会となった。概要は以下のとおりである。

- 開催日：2016年11月7～9日
- 開催場所：メトロマニラ、Pasig City、ACE Hotel & Suites
- 参加者：11の地域事務所の教育支援サービス課担当官
技術職業高校255校の代表

- 1日目
- Ocampo 事務次官による基調演説。
 - Umali 次官補による産業連携に関する教育省のガイドライン説明。
 - JICA フィリピン国技術職業高校支援プロジェクトの紹介。
 - セッション1：パイロット校4校、モデル校6校が技術職業教育の質の向上、産業界との連携構築、進路指導の実践について発表。
- 2日目
- セッション2：パイロット校、モデル校との連携実績を有する電子、観光、自動車、金属関連企業が、高校生の就業体験を受け入れた経験、技術職業高校に期待すること、各企業で採用されるために求められる技能について紹介。
 - セッション3：金型、観光、建設・重機関連協会、ラグナ商工会議所代表者が、高校生の就業体験、各業界で求められる技能についてパネルディスカッションを実施。
 - セッション4及び5：これまでの発表を参考に、自校において実施し得る技術職業教育の改善、産業界との連携構築について計画を策定・発表。
- 3日目
- カリキュラム開発局局長による教育省の方針説明。
 - セッション6：労働雇用省、技術教育技能開発庁、PhilRice が技術職業高校に関連する方針やプログラムを紹介。Quezon 市の Local School Board が技術職業教育推進の取り組みを共有。

¹³ 日本円への換算は JICA 業務実施契約における外貨換算レート（2016年11月）を使用。

[3-3] 選考された TVHS への競争的助成金の配賦 [3-4] 助成金活用のモニタリングと評価の実施

第一年次、競争的助成金の配賦に先立ち、各モデル校から、実施したいプロジェクトのプロポーザルを提出してもらった。それらの提案に基づき、各校と協議を行い、表 22 に示したプロジェクトの支援を決定した（計 6 件、5,659,087PHP）。

第二年次開始後、活動内容の最終確認を行い、プロジェクト・チームと学校、教育省地域事務所の三者で協議議事録署名を行った。競争助成金に関する活動計画を策定した時点では、全ての学校において、2015/2016 学年度前期に機材供与が完了し、後期から同機材を活用した実習が開始されることを想定していた。しかし、K to 12 全面実施を控え、教育省や地方自治体により SHS プログラム用の教室、実習室建設が行われた影響等により、機材の調達・据え付け、教員に対するトレーニングには時間を要した。調達機材は 2015/2016 学年度後期には部分的に活用されたものの、本格的に活用されるのは、2016/2017 学年度以降となった。したがって、各校における競争的助成金を活用したプロジェクトのモニタリングは第三年次にも実施した。

各プロジェクトの概要、投入、プロジェクト目標の達成状況、インパクト、課題は下表のとおり（詳細は添付資料 8 を参照）。

表 22 : 助成金配賦の対象としたモデル校によるプロジェクト

	BNATS	BSF	ONSTS	ICNSF	RAHS	TNTS
プロジェクト名	SHS プログラムを強化するための農業プロジェクト	1: ミルク・フィッシュの養殖とセラピーの孵化 2: 食品/水産加工及び包装	1: State of the Art Building (SOTA) の器具の改善 2: ガスタンクハウスの設置	多種の魚の孵化プロジェクト	アグロフォレストリー手法を用いた持続的な農地の開発	Automotive Servicing NCII に関するカリキュラムの改善
プロジェクト目標	農業コースの生徒が、国家資格 (NC) に定められた技術を向上させ、農業に関する実地経験を得ることができる。	1: 水産コースの生徒が、NC に定められた技術を向上させ、養殖施設の管理や運営についての実地経験を得ることができる。 2: 食品加工コースの生徒が、新しい型の器具を扱い、技術を向上させ、加工食品の販売を通してビジネス感覚を身に付ける。	1: Commercial Cooking NC III を提供するために、SOTA の施設が整備され、生徒たちが実践的なスキル・知識を身に付ける。 2: SOTA を使用する生徒や教員が安全な環境で学べるようになる。	水産コースの生徒が、特に孵化に関する水産養殖業の実践的な知識と技術を身に付ける。	農業コースの生徒が、個々の土地にてアグロフォレストリー手法を用いた実験農場を整備するための実践的な知識と手法を身に付ける。	自動車コースの生徒が NC に定められた技術を向上させ、車両整備場を運営するための実地経験を得ることができる。
主な活動	購入したトラクターにより、キャッサバ畑を整備する。整備されたキャッサバ畑にて、生徒の実習を行う。	養殖用タンクを購入・設置し養殖施設を整備する。同養殖施設を用いた実習を行う。食品加工実習室の改善、加工品販売の実習をする。	1: SOTA の器具を改善し、それらを用いた実習を行う。 2: ガスタンクを設置し、管理プランを作成する。	孵化養殖場 (孵化のための水槽) を建設する (学校主導で入札を行う)。孵化養殖場を用いた実習を行う。	農業機材・設備を購入し、それらを用いて生徒の実習を行う。	車両整備に必要な機材を購入し、実習室に設置する。実習として、地域の人たちを対象に無料自動車整備サービスを提供する。
主な供与機材	トラクター	養殖用タンク、缶用封緘機 等	オープン等の調理器具 ガスタンクの部品 等	孵化養殖のための水槽の建設、付属設備など	ハンドトラクター、のこぎり、PH メーター等	カーリフト、ホイールアライナー等
調達金額総額	1,000,000PHP	973,162PHP	1,036,210PHP	1,027,409PHP	872,306PHP	750,000PHP
プロジェクト目標の達成状況	プロジェクト目標は 2015/2016 学年度に達成された。1 人が退学したことを除き、他の生徒は当該コースを修了した。	1: 全ての生徒が 2015/2016 学年度、2016/2017 学年度について、同コースの合格基準を満たした。 2: 2015/2016 学年度に中	1: 2015/2016 学年度及び 2016/2017 学年度、全ての生徒が Cookery NCII と FBS NCII に合格した。 2: SOTA で勉強する教員	養殖コースの生徒は、養殖にかかる実践的な技能と知識、特に孵化場の操業についての技能と知識を備え、100% の生徒が同コースの合	中退者を除き、2015/2016 学年度及び 2016/2017 学年度の Agricultural Crop Production コースの生徒全員が、同コースの合格	Automotive Servicing NCII コースの生徒は、必要なコンピテンシーを身に付けることができ、自動車整備場を運営するハンズオンの経験を

		退した 3 人、2016/2017 学年度に中退した 2 人を除き、全員が同コースの合格基準を満たした。	と生徒の安全を確保することができた。	格基準を満たした。	基準を満たした。	得られるようになった。
インパクト	<ul style="list-style-type: none"> 農業整備など、厳しい作業が機械化されたことで、より多くの生徒が農業に関心を示すようになった。 San Miguel Foods, Inc. や Saranay Multi-Purpose Cooperative との連携が開始した。 2015年6月～2017年3月、353校及び教育省の地方事務所、地域事務所等の視察を受け入れた。同校において研修も開催している。 	<ul style="list-style-type: none"> 整備された施設や機材により、地方自治体をパートナーとして養殖事業に取り組めるようになった。 同校において研修や NC のアセスメントを行う機会が増えた。 2015年6月～2017年3月、39校からの視察を受け入れた。 	<ul style="list-style-type: none"> 実習室が整備されたことにより、生徒の待つ時間は少なくなり、より長い時間、実習を受けられるようになった。 就業体験では高度な経験を得ることができるようになり、卒業と同時に職を得られる生徒もいる。 2015年6月～2017年3月、58校からの視察を受け入れた。 	<ul style="list-style-type: none"> ティラピア、コイの他に、何種類かの観賞魚が飼育されるようになった。 生徒がソーシャルネットワークを用いてマーケティング・稚魚の販売を行い、地域の稚魚に対する需要が満たされるようになった。 2015年6月以降、5校から視察を受け入れている。 技術職業部門の長が、2016年5月地域教員研修の講師として指名された。 	<ul style="list-style-type: none"> ハンドトラクターやその他の機械が用いられることによって、コミュニティの人々の農業に対する関心が高まった。 天然資源省や農業省等からの支援を受けやすくなった。 2015年6月～2017年3月、学校2校、その他の組織8組織から視察を受け入れた。 校長が教育省の国レベル、地域レベルの研修においてリソースパーソンを務めた。 	<ul style="list-style-type: none"> 自動車整備の機材使用料 350PHP(生徒1人あたり)を支払う必要がなくなった。 校内で就業体験を行えるようになった。 2015年6月から2017年3月、ミンダナオの公立学校112校、私立学校10校の校長、教員、教育省地方事務所、地域事務所が同校を視察した。
課題	<ul style="list-style-type: none"> 天候不順のため、2016年の収穫量は想定より少なかった。 キャッサバ以外にも Napier の生産やオーガニック農業、施設整備にも努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 水産コースを専攻した生徒は11年生全体の16%に留まっている。同校では、保護者に対するキャリア・ガイダンスを実施し、水産コースの魅力を伝えたいと考えている。 12年生の就業体験先確保には困難が伴うことが予想される。校内での就業体験機会創出に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> TESDA の Commercial Cooking NCII のアセスメント・センターとして承認を受けることを目指している。 生徒の増加により、クラスサイズが大きくなることが懸念される。 	<ul style="list-style-type: none"> 2014/2015 学年度の National Achievement Test (NAT) の5科目の結果は、全国平均を下回っていた。 2014/2015 学年度には SHS 生の 21.7%、78 人の生徒が中退した。 	<ul style="list-style-type: none"> SHS への入学者数が少ない。10年生修了者への働きかけを行っている。 JHS、SHS の両方で中退率が高い。学力不振がその原因の一つと考えられる。SIP には、基礎的な国語力、数学力の向上、栄養状態の改善が盛り込まれている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自動車整備場を運営するフルタイムのスタッフが必要となった。2017年4月現在、その採用プロセスにある。 車両修理にかかる時間を短縮していかなければならない。

2.2 活動成果

本章では終了時評価結果をもとに、成果の達成状況を記載する。

2.2.1 成果 1

パイロット校において、卒業生の能力と産業界のニーズのミスマッチ/ギャップが把握され、学校改善計画（SIP）により対策がとられる。

指標 1：SIP の改善が以下の基準によって評価される。

- (1) ミスマッチ/ギャップが適切に記載されている。
- (2) 産業界のニーズが適切に記載されている。
- (3) 産業界との連携を促進する戦略が記載されている。
- (4) 教育内容の改善が記載されている。

第一年次には各パイロット校の 2014/2015 学年度年次改善計画（Annual Improvement Plan, AIP）、第二年次には 2015/2016 学年度 AIP、第三年次には 2016/2017～2018/2019 学年度 SIP について、上記の指標に基づき分析を行った。比較結果は下表のとおりである。

表 23：3 年間の比較

学校名	(1) ミスマッチ/ギャップが適切に記載されている			(2) 産業界のニーズが適切に記載されている			(3) 産業界との連携を促進する戦略が記載されている			(4) 教育内容の改善の方向性が記載されている		
	1年目	2年目	3年目	1年目	2年目	3年目	1年目	2年目	3年目	1年目	2年目	3年目
DARSSTHS	2	2	1	2	4	2	2	3	4	2	2	4
RESPSCI	2	2	4	1	1	1	2	1	3	2	2	3
SPRCNHS	2	2	1	3	3	1	3	3	4	3	2	3
STVS	2	2	1	1	1	3	2	1	2	2	2	3

点数 1：記載がない。

3：具体的に記載されている。

2：課題が記載されているが根拠、具体性に乏しい。

4：具体的に記載されており対策も検討されている。

各パイロット校が、SHS 技術職業教育の充実、産業連携に注意を払って AIP、SIP を作成するようになったことが分かる。他方、2015 年 9 月 29 日に新しいガイドラインが発出され、SIP のフォーマットが改訂されたことに伴い、活動計画が具体的に記載されるようになった半面、産業界のニーズについてはほとんど記載されなくなるという変化が見られた。

2016 年 9 月にはエンドライン調査の一環として、学校側が SIP 改善をどのように認識しているか確認すべく、パイロット校にインタビューを行った。各学校の回答は以下のとおりである。

表 24：SIP 改善に対するパイロット校の認識（2016 年 9 月現在）

学校名	回答
DARSSTHS	形式的に作成しているのではなく、外部の関係者を作成プロセスに関与させるなど、よりプロセス重視となっている点で以前と大きな違いがある。
RESPSCI	教育省のガイドラインにより、目標設定やモニタリング方法がより明確になった。そのため、計画・目標管理面で以前とは違いがある。
SPRCNHS	以前と比較し、地方自治体を含む外部関係者がその作成に関与している。
STVS	現在では、School- Community Planning Team が構成され、外部の関係者が参加する計画作りがなされている。

教育省が発出したガイドラインや SIP のフォーマットが貢献要因ともなり、4 校とも実態に即し、活用可能な SIP を作成するようになったという認識であることが確認された。

指標 2：就職を支援する活動が増加する。

SHS モデリング事業が開始するまで、各パイロット校の卒業生は 16 歳であり、法的に就職が可能となる年齢を満たしていなかった。就職支援活動は各学校にとって新しい取り組みであったと言える。

第一年次、第二年次には、各学校の就職を支援する活動として以下の活動を確認した。

表 25：各学校による就職支援活動

	学校名	就職支援活動
第一年次	DARSSTHS	<ul style="list-style-type: none"> 履歴書の書き方指導や面接練習を実施 「キャリア・トーク」（産業界から招いたゲストスピーカーによる講演会）を開催 コミュニケーション能力向上のためのセミナーを開催 PESO への生徒の推薦 Facebook を通じ、卒業生へ人材募集情報を提供
	SPRCNHS	<ul style="list-style-type: none"> DOLE と覚書を取り交わし、School Based PESO として承認を受け、就職情報を学内に掲示 合同就職説明会（Job Fair）を開催 Toyota Motor Philippines Corp の訓練生制度を利用 PESO への生徒の推薦
	STVS	<ul style="list-style-type: none"> 溶接コースの生徒に関しては、実習先である Metaphil と雇用契約
第二年次	DARSSTHS	<ul style="list-style-type: none"> 校内に Career Advocacy Unit という部署を設け、卒業後の就職支援にあたることにした。 面接と履歴書作成について生徒に指導を行った。 “work-ready-now” という職場でのコミュニケーション、働き方に関するモジュールを活用して生徒に研修を行った。 Job Fair に生徒の参加を促した。
	RESPSCI	<ul style="list-style-type: none"> 生徒に対し、製菓・製パン、マッサージに関する研修を実施するとともに、スターター・キットを配布した。
	SPRCNHS	<ul style="list-style-type: none"> 生徒及び近隣住民の人々の就職を支援する目的で、関係機関を招き、Job Fair を毎年開催している。
	STVS	<ul style="list-style-type: none"> 卒業生が少ない（13 名）こともあり、特別の就職支援活動は実施していない。

出所：パイロット校からの聞き取りをもとに、JICA プロジェクト・チームが作成

プロジェクトでは、就職支援活動をさらに充実させるべく、以下の活動を実施した。

表 26：プロジェクトが実施した就職支援活動

年次	プロジェクトが実施した就職支援活動
第一年次	<ul style="list-style-type: none"> SHS モデリング事業第 1 期生（2013/2014 学年度の卒業生）の進路に関するデータを収集 各パイロット校でこれまで実施されてきた就職支援を確認 就職支援コーナーを設置
第二年次	<ul style="list-style-type: none"> SHS モデリング事業第 2 期生（2014/2015 学年度の卒業生）の進路に関するデータを収集 就職先決定への貢献要因を確認 キャリア・ガイダンス・カウンセラーの位置づけを確認 就職支援コーナーの活用状況モニタリング・活用促進 面接練習
第三年次	<ul style="list-style-type: none"> SHS モデリング事業第 3 期生（2015/2016 学年度の卒業生）、第 4 期生（2016/2017 学年度の卒業生）の進路に関するデータを収集

また、エンドライン調査の一環として、各学校における就職支援の現状を確認するため、「現在、生徒の就職をどのように支援しているか」「以前と比較し、就職支援を学校の責任と認識するようになったか」について聞き取りを行った。

表 27：就職支援の現状（2016 年 9 月現在）

学校名	現在、生徒の就職をどのように支援しているか	以前と比較し、就職支援を学校の責任と認識するようになったか
DARSSTHS	<ul style="list-style-type: none"> より広い企業とのネットワークづくり、地方自治体からの支援の要請、より効果的な就業体験の促進など幅広い取り組みを行っている。 また、市が各校に Career Advocacy Unit を設置するよう条例を制定したことも生徒の就職支援の強化につながっている。 	<ul style="list-style-type: none"> いづらか学校の責任として認識するようになった。 学校としても、多様なステイクホルダー（Career Advocacy Unit の設置に係る地方自治体との協力など）と連携し、卒業生の就職を支援する方向に向かっている。 但し、就職先を見つけるのは学校側の努力だけでは難しい。
RESPSCI	<ul style="list-style-type: none"> 卒業生を PESO に紹介。 ソーシャルメディアを活用し、卒業生を対象に Job Fair を紹介している。 学校としては、まず本人が職探しを行うことを奨励している。なぜなら、本人が意欲的に職を探すことで、その後の就職活動もより能動的に行えるようになり、経験も増えるからである。 	<ul style="list-style-type: none"> いづらか学校の責任として認識するようになった。 卒業生の進路の記録を定期的にアップデートしている。この点からも、学校が以前と比較し、就職支援を自分たちの責任として捉えるようになっていくことが分かる。 自営業に就く卒業生には関連の情報を提供するようになっている。
SPRCNHS	<ul style="list-style-type: none"> School-based PESO を設置している。 学校が独自に Job Fair を開催している。 	<ul style="list-style-type: none"> いづらか学校の責任として認識するようになった。 2014 年以前は、生徒の就職支援を学校の責任とは捉えていなかった。現在、生徒の一部は、卒業後すぐに就職することとなり、学校は生徒の就職に関して一部責任を担っていると感じている。 就職率が目標に掲げられ、より多くの教員が責任を感じるようになった。
STVS	<ul style="list-style-type: none"> Metaphil が多くの金属加工コース卒業生を雇用している一方、調理、縫製 	<ul style="list-style-type: none"> いづらか学校の責任として認識するようになった。

	<p>コースの卒業生は就職に苦労している。</p> <ul style="list-style-type: none"> STVS の高校生の中には STVS 中学部の卒業生でない生徒も含まれており、これらの生徒の中にはコミュニケーション能力に問題を抱える者も少なくない。就職面の課題となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校としても、卒業後、生徒がすぐに就職できるような技能を備えることを意識するようになった。これが、金属加工施設の充実などの取り組みに現れている。
--	--	--

「生徒の卒業後の進路にかかる調査は誰が担当しているか」「SHS 卒業生の就職について過去 2 年半で変化があったか」に対する各学校の回答は下表のとおりである。

表 28：卒業生の就職状況（2016 年 9 月現在）

学校名	生徒の就職後の進路にかかる調査は誰が担当しているか	SHS 卒業生の就職について過去 2 年半で変化があったか
DARSSTHS	<ul style="list-style-type: none"> 企業連携担当が主要部分を担うが、専門教員がそれを補っている。 	<ul style="list-style-type: none"> パートナー企業の数が増えたため、卒業生の就職先も増えているので、より就職し易い環境ができている。 本校の存在や SHS プログラムのことを知る企業が増えており、より就職し易い環境ができている。
RESPSCI	<ul style="list-style-type: none"> 企業連携担当、進路指導教員、その他の教員が協力して進路調査を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 以前と比較し、より就職し易いかどうかは判断が難しい。 パイロット期間中は他校と競争する必要がなかったが、SHS が全面実施によって、他校の卒業生も職を探すようになる。これまでのように就職先を見つけることができるかは判らない。
SPRCNHS	<ul style="list-style-type: none"> 企業連携担当が担当している。 	<ul style="list-style-type: none"> 就職の容易さは専門によって異なる。 第 3 バッチ（2016 年度卒業生）の就職率は第 1 バッチ（2014 年度卒業生）のそれより全体として上がった。 概して、調理コースの卒業生は就職が難しい。
STVS	<ul style="list-style-type: none"> 進路指導教員が主担当となり、専門教員も調査に協力している。 	<ul style="list-style-type: none"> 専門により就職率は異なる。現時点で就職が容易になったか判断は難しい。 金属加工コースの卒業生は一企業に就職できている。調理コースの卒業生は就職に苦労している。

全てのパイロット校において、学校はある程度、生徒の就職支援に責任を負っているという認識がなされるようになった。就職率が SHS プログラムの指標の一つとして取り上げられるようになったことから、今後、各学校が就職支援をますます充実されることが推測できる。他方、RESPSCI や STVS が指摘する通り、SHS 全面実施によって多くの SHS 生が一斉に就職活動を行うことになるため、競争環境は厳しくなることが予想される。この点には留意が必要である。

上記のとおり、2 つの指標は達成していることから成果 1 は達成された。

2.2.2 成果 2

パイロット校が学校活動を改善し、把握されたギャップを埋めるために、日本企業を含む産業界/企業と協働出来るようになる。

指標：学校活動を改善するような活動が増加する（例：教員の企業・工場訪問、パートナー開拓活動等）。

プロジェクト開始以前に実施された学校改善活動に資する活動¹⁴は以下に記す通りである。

表 29：プロジェクト開始以前に行われた産業界との連携による学校改善活動

【DARSSTHS】

Specialization	Name of Company	Type of partnership	Total No. of Students G-12 2013/14	No. of Students Deployed	Details	MOA Yes/No
Automotive	Honda Cars Quezon City Group	OJT	9	6		No
	Hyundai	OJT		2		No
Hospitality & Tourism	The Lounge	OJT	16	16		No
	Shakey's Tomas Morato	OJT		3		No
	Great Eastern Hotel	OJT		14	MOA with JABEZ	No
	Teachers' cooperative	OJT		1		No
	Wheatberry	OJT		9	PhP200/day	No
Overall SHS	Big Start Inc.	Lecture	N/A	N/A	Personality and Communication Dev't Workshop on Nov. 12 and 13	No

【RESPSCI】

Specialization	Name of Company	Type of partnership	Total No. of Students G-12 2013/14	No. of Students Deployed (OJT)	Details (e.g. allowance for OJT)	MOA Yes/No
Housekeeping FBS Bartending	Marikina Hotel (Café Flora)	OJT	21	21	MOA is signed with Marikina Hotel, which manages the rotation of OJT students in 4 different cafeterias. Each student engages in OJT for a total of 630 hours. PhP50/day plus free meal.	Yes
	Rikland Cafeteria	OJT				
	Café Floriania	OJT				
	Renaissance Cafeteria	OJT				

【SPRCHNS】

Specialization	Name of Company	Type of partnership	Total No. of Students G-12 2013/14	No. of Students Deployed	Details	MOA Yes/No
Automotive	Arciaga Motor Works	OJT	16	1	no allowance	Yes

¹⁴ 第一年次には、生徒の就業体験（Work Immersion）は OJT（On the Job Training）と呼ばれていた。

	Asbardelosa	OJT		4	no allowance	Yes
	Skeiron	OJT		1	PhP200/day + OT	Yes
	Revline	OJT		7	no allowance (first 300 hrs), PhP200/day (extend)	Yes
	KIA Motors	OJT		1	PhP150/day	Yes
	Langgam Auto	OJT		2	no allowance	Yes
Drafting	Rollmaster	OJT	23	1	PhP350/day + OT	Yes
	CLP	OJT		7	PhP150~390/day + OT	Yes
	Skeiron	OJT		1	PhP200/day + OT	Yes
	Designs Ligna	OJT		6	PhP150/day	Yes
	DCMS	OJT		3	PhP250~450/day	Yes
	VJF	OJT		5	PhP150/day + OT	Yes
Electronics	ROHM Electronics	OJT	20	8	PhP232/day + OT	Yes
Garments	CCSC	OJT	16	16	PhP100/day	Yes
Computer	Almendrala	OJT	50	2	PhP180/day	Yes
	BIR	OJT		7	no allowance	Yes
	CLP	OJT		5	PhP150~350 / day	Yes
	DMC	OJT		1	no allowance	Yes
	Hygienic Packaging	OJT		5	no allowance	Yes
	Landbank	OJT		5	no allowance	Yes
	PNB	OJT		6	no allowance	Yes
	REVLIN	OJT		2	PhP50/day	Yes
	Skeiron	OJT		2	PhP100/day	Yes
	SSS	OJT		11	no allowance	Yes
	Venture 5	OJT		4	no allowance	Yes
Foods	Century Park	OJT	45	1	no allowance	No
	SPRCNHS Canteen	OJT		1	free snack	Yes
	Chic-boy Pacita	OJT		36	Free meal	Yes
	Greenwich Pacita	OJT		1	free meal ~ PhP44/hr	Yes
	Max's Restaurant	OJT		6	free meal ~ PhP44/hr	Yes
Welding	Total Mechanics	OJT	21	7	PhP250/day + OT	Yes
	Rollmaster	OJT		1	PhP150/day	Yes
	RVM	OJT		5	PhP130/day	Yes
	Almendrala	OJT		1	PhP180/day	Yes
	Pinnacle Condo	OJT		1	No allowance	Yes
	CLP	OJT		6	PhP253/day + OT	Yes
	CLP	Training	N/A	N/A	Training of teachers in tig welding	No

【STVS】

Specialization	Name of Company	Type of partnership	Total No. of Students G-12 2013/14	No. of Students Deployed	Details	MOA Yes/No
Metal Works	Metaphil	OJT	18	18	Allowance 75% of minimum wage	Yes
	DSJP	OJT		8	G-11, PhP230/day	Yes

	MTITT (Metaphil)	Lecture	N/A	N/A	Jan. or Feb. 2012, demonstration on gas welding	
Garments	Metroware	OJT	3	3 (*1)	Meal Allowance PhP28/day	No
	Metroware	Lending	N/A	N/A	Lending of sewing machine	No
Culinary Arts	Sun Burst Fried Chicken	OJT	6	5	no allowance	No
	Grand Majestic Restaurant	OJT		1	no allowance	No
	Aboitiz Foundation	Donation	N/A	N/A	Kitchen Utensils (2011/12)	No
Overall SHS Program	Aboitiz Foundation	Donation	N/A	N/A	3-classroom school building (2012)	
	KIMWA	Donation	N/A	N/A	cementing of school ground (2012)	

プロジェクト開始以降、パイロット校が実施した活動は下表のとおりである

表 30 : プロジェクト開始後に行われた産業界との連携による学校改善活動

	学校名	学校改善活動
第一 年次	DARSSTHS	<ul style="list-style-type: none"> 飲食サービス担当教員がユニカセ・レストランを訪問し、若年従業員の育成方法について学んだ。 UCC Ueshima Coffee Philippines から 2 名の専門家を招き、生徒を対象にペーパーフィルターによるコーヒー抽出方法を学ぶコーヒー教室を開催した。 プロジェクトが自動車整備コース用に機材を供与した。
	RESPSCI	<ul style="list-style-type: none"> 飲食サービス担当教員がユニカセ・レストランを訪問し、若年従業員の育成方法について学んだ。 UCC Ueshima Coffee Philippines から 2 名の専門家を招き、生徒を対象にペーパーフィルターによるコーヒー抽出方法を学ぶコーヒー教室を開催した。 プロジェクトが飲食サービス及び家政コース用に機材を供与した。
	SPRCNHS	<ul style="list-style-type: none"> Toyota Motors Philippines Corp. (TMPC) と企業実習に関する覚書を締結した。 教員と産業連携コーディネータが、近隣の工業団地の人事担当者の連絡会議にて学校紹介を行った。 溶接コース担当教員、産業連携コーディネータがバブコック日立フィリピン（現：Mitsubishi Hitachi Power Systems Philippines Inc.）を訪問し、多岐にわたる溶接技術を視察した。 産業連携コーディネータが Proboard Tech 社を訪問し、8 名の生徒の企業実習の様子をモニタリングした。 新たなパートナー関係の開拓のために、Phil Metal、MM Steel、Career Power、Metal Industries Association of the Philippines、Delos Santos Foundation、Phili-German Chamber of Commerce と協議を行った。 Binan 市で行われた 合同就職説明会 (Job Fair) に出席、生徒の就職先を探した。 産業連携コーディネータが TMPC を訪問し、生徒の企業実習の様子をモニタリングした。 2014 年 11 月に教育省が主催して開催された Training Cum Workshop for School industry Linkage Coordinators にて、参加者向けの企業訪問・聞き取りを企画した。訪問したのは次の 8 社：VJF Precision Toolings Corp., El Cielito Hotel Sta Rosa, Toyota Motor Philippines Corporation, CLP Metal Industries & Precision Tooling's Company, NST Global Corp., Covenant Community Service Cooperative, Rollmaster Machinery & Industrial Services Corp., and Designs Ligna プロジェクトが製図、自動車整備、溶接、縫製コース用に機材を供与した。

	STVS	<ul style="list-style-type: none"> セブ日本人商工会議所を訪問し、学校紹介を行い、協力依頼を行った。 マクタン経済特区を訪問し、生徒の企業実習先及び就職先開拓のため、特区管理者から経済特区内の企業リストを入手した。 校長及び溶接コース担当教員が Tsuneishi Heavy Industries (Cebu), Inc.造船を訪問し、溶接技術について学んだ。 8月に学校公開日 (Trade Fair) を開催した。これまでのパートナー企業に加え、日系企業 Muramoto (カーステレオ)、Tamiya (模型)、NEC Telecom Software Philippines, Inc.が参加した。 溶接コース担当教員が Saver's Home Depot と Jan-Ar Construction を視察した。 プロジェクトの供与機材調達先である Bosch Belmonte (機械商社) が、教員と生徒を招き、機械な安全な使用に関する指導を行った。また溶接器具が設置された実習室に、換気設備を寄付した。 英語でのコミュニケーション能力向上を目的とし、千葉県立市川工業高等学校とスカイプ会議を行う交流プログラムを実施した。 プロジェクトが溶接コース用機材を供与した。
第二 年次	DARSSTHS	<ul style="list-style-type: none"> ケソン市内の公立学校運営要綱作成に参加した。 ケソン市の支援を得て生徒に英語研修を実施した。 Toyota Cubao, Mesa Filipino Moderne を含め 10 社と MOA を締結した。 職場で求められる IT 技術についての研修を実施した。 TESDA と協力して地域住民のための研修を校内で実施すべく協議中。 教育省ケソン市事務所と協力して SHS プログラムの実施促進に協力した。 教育省の国立教育アカデミーが主催した、第 5 回東南アジア学校長国際会議にて事例紹介を行った。
	RESPSCI	<ul style="list-style-type: none"> 観光コースの改善のために Magsaysay Center for Hospitality and Culinary Arts (MIHCA) を視察した。 産業界との連携構築の方法を学ぶために MFI Institute を視察した。 起業を志向する生徒を、起業のためのセミナーに参加させた。 学内の実習場所として Café Razzo を設置した。 SHS 担当教員が同校の位置するパング市の SHS 計画策定に協力した。 実習先を新規に開拓した。
	SPRCNHS	<ul style="list-style-type: none"> フィリピン鋳物協会 (Philippine Die & Mold Association, Inc., PDMA) および金属産業協会 (Metalworking Industries Association of the Philippines, Inc., MIAP) と協力合意書 (MOA) を結んだ。 フィリピン鋳物展にて学校のブースを設け、展示を行った。 金属産業企業に対し、企業実習の機会を提供してもらえるようプレゼンテーションを実施した。 飲食サービス・コースの生徒に対し、研修を実施した。 飲食サービス・コースの生徒向けに Café France Inc. と実習について合意した。 学校と教育省ラグナ地方事務所と毎月、SHS の計画策定について会合をもった。 サンペドロ市と SHS プログラム実施についての協議を行った。
	STVS	<ul style="list-style-type: none"> 第 12 地域の学校に対し、同校の経験を共有した。

出所：パイロット校からの聞き取りをもとに、JICA プロジェクト・チームが作成

下表は、SHS モデリング事業が開始した 2012/2013 学年度から 2015/2016 学年度について、各パイロット校のパートナー数をまとめたものである。表 28 と比較すると、パートナー数が増加、パートナーシップの形態も多様化していることが分かる。

表 31：パイロット校のパートナー数

	パートナーシップの形態	パートナー数		達成状況
		民間	公的機関	
DARSSTHS	就業体験	13	1	58 人中 58 人が就業体験に参加した。
	寄付	3	4	<ul style="list-style-type: none"> • 10,129,383PHP 相当の機材が供与された。 • 5 千万 PHP の校舎建設について協議中である。
	教員を対象とした研修	15	4	30 人の教員が研修を受けた。
	生徒を対象とした研修	21	4	58 人の生徒が研修を受けた。
RESPSCI	就業体験	33	0	61 人が就業体験に参加した。
	寄付	1	1	<ul style="list-style-type: none"> • 校舎建設のために 3 千 5 百 PHP の寄付を受けた。 • 806,780PHP 相当の機材が供与された。
	教員を対象とした研修	3	1	22 人の教員が研修、就業体験、セミナーに参加した。
	生徒を対象とした研修	3	2	122 人の生徒が研修、企業訪問、セミナーに参加した。
SPRCNHS	就業体験	90	6	378 人の生徒が就業体験に参加した。
	寄付	5	3	5 千万 PHP 相当以上の機材・設備が供与された。
	教員を対象とした研修	4	1	13 人の教員が研修を受けた。
	生徒を対象とした研修	2	-	53 人の生徒が研修を受けた。
STVS	就業体験	7	0	全生徒が就業体験に参加した。
	寄付	3	2	校舎建設と機材・設備のために 7 千万 PHP 相当の寄付を受けた。
	教員を対象とした研修	2	2	9 人の教員が研修を受けた。
	生徒を対象とした研修	6	3	全生徒が研修を受けた。

出所：Industry Summit（2016 年 11 月 7 日）における各学校の発表より

さらに、エンドライン調査では、産業界/企業との協働を通じた学校改善活動について確認するため、「企業とうまく連携できるようになったか」「新たな企業との連携はどのように構築しているか」について聞き取りを行った。各パイロット校の回答は以下のとおりである。

表 32：企業との連携状況（2016 年 9 月現在）

学校名	企業とうまく連携できるようになったか	新たな企業との連携はどのように構築しているか
DARSSTHS	<ul style="list-style-type: none"> • できるようになった。 • 企業からは「80 時間の就業体験では十分でない」という意見が聞かれており、今後の企業連携に影響を及ぼす可能性がある。 	<ul style="list-style-type: none"> • Brigada Eskwela（新学期開始時に学校施設の清掃等を行う行事）や卒業式などの学校行事にパートナー企業を招待している。 • テレビやその他のメディアで学校や SHS プログラムの紹介を行い、パートナー企業への感謝の気持ちも同時に伝えている。
RESPSCI	<ul style="list-style-type: none"> • できるようになった。 • 教育省による SHS の広報が実ったのが一因。 • 就業体験は 80 時間では十分でないとする企業が多く、今後の連携構築に不安を残す。 	<ul style="list-style-type: none"> • 新しいパートナー企業を見つけるために、学校関係者が積極的に企業訪問を行っている。また、ソーシャルメディアを活用し、新たなパートナーを探している。 • 就業体験の受け入れ先は生徒にも探させている。

SPRCNHS	<ul style="list-style-type: none"> • できるようになった。 • 教育省の SHS に係る啓発活動により、企業側も SHS に関心を持つようになっている。これが企業連携をより容易にさせている。 • 工業団地などへのアプローチが個別の企業訪問より効率的であることを学び、企業連携手法の幅が広がった。 	<ul style="list-style-type: none"> • 業界団体や工業団地で学校のプロモーションを行う手法を新たに取り入れた。 • Trade Fair や企業が開催するイベントに参加し、ネットワーク構築や SHS プログラムのプロモーションを行っている。
STVS	<ul style="list-style-type: none"> • できるようになった。しかし、現在でもパートナー企業数は限定的である。 • 現状では、調理コースの生徒に対し、学校は十分な技能を与えることができていない。そのため、就業体験や就職のために近寄りやすい飲食店などもある。 	<ul style="list-style-type: none"> • 専門課程のそれぞれの教員に企業とのパートナーシップ構築の仕事（責務）を分担するようになった。 • マクタン経済特区でのプロモーション活動により、新しいパートナー企業との連携が生まれた。

いずれの学校でも、企業との連携は促進されていることが確認された。他方、SHS 全面実施に伴い、生徒数は増加の一途をたどることが予想される。

合わせて、これらの活動を通じ、企業のニーズとのギャップは縮まったと考えられるか、どのようなギャップが残っているかについても聞き取りを行った。

表 33 : 「以前と比較し、まだ企業のニーズとのギャップは存在すると思うか」という質問に対する回答 (2016 年 9 月現在)

学校名	回答
DARSSTHS	<ul style="list-style-type: none"> • ギャップは存在するが、以前と比較し、少し縮まった。 • 理由として、地域で需要が高い Housekeeping コースを新しく設置したこと、またホテル・コースの生徒のコミュニケーション能力向上にかかる取り組みを始めたことが挙げられる。 • モデリング事業期間中に、就業体験受け入れ先企業からの聞き取りを行うなど、生徒が仕事場への順応力を高めるための取り組みを始めた。
RESPSCI	<ul style="list-style-type: none"> • ギャップは依然存在するも、以前と比較し、少し縮まった。 • 地域でコーヒー・バリスタの需要があることから、Bartending のカリキュラムにコーヒー・バリスタの技能習得を追加した。 • Café Razzo の設置により、生徒がより実践的な環境で学ぶことができるようになった。 • JICA プロジェクトで実施した教員の英語研修（コミュニケーション能力研修）も生徒の Workplace Communication 能力向上に貢献した。
SPRCNHS	<ul style="list-style-type: none"> • ギャップはあらゆる面に存在する。現在でも、企業より、卒業生の技術・技能の不十分さを指摘される。しかし、ところどころギャップは縮まった。 • 地域のニーズを踏まえ、金属加工コース (Metal Working Technology) を設置した。 • 企業より施設・機材の寄付を受け、生徒が以前より実習を受けることができるようになった。 • 観光コースの生徒は、とりわけコミュニケーション能力が必要となる。英語研修に参加した教員が生徒の英語能力を見極め、観光コースを選択する生徒のスクリーニングを実施することができた。
STVS	<ul style="list-style-type: none"> • ギャップはあるが、以前と比較し、縮まった。 • 特に金属加工コースでは、企業の要請を踏まえ、GMAW、FCAW などの技術を教えることができるようになった。

	<ul style="list-style-type: none"> 縫製コースは現在でも Dressmaking しか教えることができていない。注文を受け仕立てる技術 (Tailoring) を教えることができておらず、ギャップは以前と同様存在する。 調理コースも生徒の技能と企業ニーズの開きは大きい、少し狭まった。教員が企業 (レストラン) 訪問を重ね、企業のニーズを把握し、Cook-Chill-Freeze 製法をカリキュラムに加えたためである。
--	---

企業のニーズと生徒の技能のギャップは主に、3つの領域で議論されている。一つ目は、地域のニーズを踏まえたコースの設置、二つ目は生徒のソフトスキル、三つ目は個々の専門コースにおける新たな機材の取り扱いや技能の習得である。今回の聞き取りから、各学校では、それらギャップの把握に努め、その対応策を講じていることが明らかになった。

上記のとおりパイロット校での活動はプロジェクト開始前と比べ増加し、パートナーの数も増えている。成果2は達成された。

2.2.3 成果3

パイロット校以外のモデル校が、パイロット活動や成功事例の再現/適応/採用のために情報を得る。

指標1：共有ワークショップに参加したモデル校数

第一年次には、教育省年次ワークショップ会合が開催 (2015年2月13日) され、パイロット校4校の校長/産業連携コーディネータが、モデル校を含む280技術職業学校校長に対し、経験を共有した。

第三年次には、フィリピン国教育省と共同で Industry Summit を開催 (2016年11月7~9日)、全てのモデル校が参加した。

指標2：パイロット校を視察したモデル校数

2016年2月にパイロット-モデル校間で、実践経験共有のためのプログラムを実施した。概要は下表のとおり。

表34：モデル校による視察

モデル校	専門コース	パイロット校/訪問先	実施日
RAHS	Horticulture	BNATS	2016年2月4日
ONSTS	Food and Beverage Service	RESPSCI	2016年2月11日
ICNSF	Fish Capture, Aquaculture	BSF	2016年2月12日
BSF	Fish/Food Processing, Aquaculture	ICNSF	2016年2月19日
TNTS	Automotive Technology	DARSSTHS	2016年2月29日
	Technical Drafting	SPRCNHS	2016年2月29日

	Consumers Electronics		
	Food Trade		
ICNSF	Cookery/BPP		
	SMAW		

指標 3 : モデル校で開催された活動の数

モデル校 6 校では、競争的助成金を活用した活動が実施されてきた。(詳細は「2.1.4 成果 3[3-3]」を参照)。

上記のとおりモデル校は、パイロット校の実践について情報を得ていることから成果 3 は達成された。

3. プロジェクト実施運営上の課題・工夫・教訓

2014年から3年間、活動を進めていくうえで直面した課題、それに対してどのような工夫を行ったかを紹介する。また、その工夫が他の類似案件でも参考になると判断したものは教訓として紹介する。

【第一年次】

(1) SHS 校の立地と専門に配慮した活動計画の前倒し

課題

パイロット校4校が工業、家政を教える学校（日本の専門高校に例えるならば工業高校、家政高校）、かつ都市部に立地することがプロジェクト開始後に判明した。多様な技術職業学校にとって有効な教訓を得るにはパイロット校のみでの実践では不十分であると考えられた。

工夫

農業水産系の学校および農村部に立地する学校にとっても有益な教訓・実践を導き出すために、プロジェクトの第二年次を待たずにモデル校10校および所管する教育省地域事務所を訪問した。これにより、都市部に立地するモデル校は5校、農村部に立地するモデル校は5校であることがわかった。10校のうち、2015/2016学年度にSHSプログラムを実施する見込みの学校は6校であった。その6校は、農業高校が2校、水産高校が2校、工業・家政系の学校が2校であり、都市部に立地する学校は2校、残りの4校は農村部に立地していた。

第一年次にパイロット校4校にとどまらず、モデル校の現状を把握したことにより、フィリピンの技術職業学校の多様性を理解し、活動計画を前倒ししたことで効率的なプロジェクトの実施につながった。

(2) SHS プログラムに関連する幅広い情報収集・意見交換・分析

課題

フィリピン政府は12年間の基礎教育を実現させるための法律を制定させて、教育省を中心に2016年6月のSHSプログラムの実施にむけて各種の施策を実施してきた。

プロジェクト開始時に、産業界を訪問、新たに設置されるSHSプログラム、とくに技術・職業・生計トラックについて紹介をしたが、あまり理解されていないことが判明した。

工夫

K to 12 完全実施に向けた教育省の取り組みについて、情報収集を行うよう心掛けた。加えて、教育省内の Adopt-A-School Program の事務局から同プログラムの活用状況をヒヤリングしたり、SHSプログラムの早期実施校に含まれていない大規模校を訪問して2016年6月に向けた心構えや準備状況について把握するよう努めた。教育省以外では、ポスト・セカンダリーレベルの職業訓練を実施する教育機関の認証を行う Colombo Plan Staff College for Technical Education、外国人技能実習制度を活用しフィリピン人を技能実習生として日本へ

派遣している団体 Phil Nippon Technical College とも情報交換も行った。

幅広く情報収集を行うことにより、現状では 16～18 歳の若者の多くは、産業界にとって必要な知識・技能を身に付けていないので、追加の教育・訓練が求められていることが判明した。これらの情報をもとに、パイロット校、モデル校に対して、技術・職業・生計トラックでは産業界とコンタクトを増やし、産業界の声を聞くとともに SHS プログラムについて情報提供を行うことが重要であると助言した。

(3) プロジェクト開始直後からの積極的な情報発信

課題

上述のとおり、SHS プログラムは、フィリピンで新たに導入される制度である。従来、High School 卒業生は卒業時の年齢が 18 歳に満たないため、雇用の対象として見なされてこなかった。そのため、企業の中には、SHS 卒業生を即、雇用の対象として考えることに抵抗を感じる企業もあり、早期実施校にとって、企業との連携構築は容易ではなかった。

工夫

産業界に SHS プログラム、特に技術・職業・生計トラックの意義を広く理解してもらうことが必要と考えた。そこでまず、プロジェクト開始直後に、教育省のニューズレター "EducNEWS" に、JICA が技術職業高校への支援を開始することを紹介する記事を掲載した。さらに、フィリピン日本人商工会議所会報には 2 回にわたって記事を掲載した。1 回目の記事を読んだ商工会議所会員企業から、プロジェクト活動への協力の申し出を受けた。

プロジェクト・ニューズレター（日本語・英語）は合計 4 回発行、また、プロジェクトの概要を簡潔に説明するものとしてプロジェクト・ブローシュアを作成した。

教訓

プロジェクトの広報活動は、プロジェクトの活動実績を紹介するだけでなく、プロジェクトで支援する新たな制度を広報することにより、活動の効果発現につながる。

【第二年次】

(1) 地理的制約を克服するためパイロット校 - モデル校間の情報共有を促進

課題

プロジェクト開始時には、モデル校がパイロット校の優れた実践から学びを得ることが想定されていた。上述のとおり、パイロット校 4 校のうち 3 校はルソン島マニラ首都圏に位置するのに対し、モデル校はルソン島の北部と南部に 2 校、他の 4 校はミンダナオ島に位置していた。地理的制約により、学校間の経験共有は容易ではなかった。

工夫

パイロット校とモデル校との間の経験共有の実現を、学校のみでの努力に任せるのではなく、プロジェクトが積極的に経験交流の場を提供することにした。また、校長などの管理職が経験交流を行うのではなく、当該コースの担当教員同士が交流できるようにしたことから、より深い議論が可能となった。

- (2) モデル校の実践を紹介するニューズレター特別号を作成し、全国の SHS プログラム実施予定校に配布

課題

教育省は、2016年3月に全国の280の技術職業学校校長を招き、パイロット校とモデル校の実践事例を紹介するワークショップの開催を予定していた。しかし、教育省の都合により延期となったため、SHS 全面実施（2016年6月）までに、パイロット校とモデル校の実践事例を他の学校に紹介することができなくなった。

工夫

そこでプロジェクト・チームは、第二年次に助成金を配賦したモデル校の SHS プログラム実践事例を紹介する“NEWSLETTER MAGAZINE - Sharing Good Practices of SHS Early Implementation”を作成した。そして、2016年6月から SHS プログラムを実施する計画であった全国5,902の公立学校と教育省地方事務所にこれを配布した。同ニューズレターに対する反響は大きく、多くの学校から電子データの提供が求められた。また、教育省の広報担当からもデータの提供を求められ、6校のうち4校の取り組みに関する記事が教育省のウェブサイトに掲載された。

- (3) SHS 早期実施校の12年生に対し英語研修を実施：一般科目と専門科目の教員間の協力を促進

課題

フィリピンでは一般的に、英語が広く用いられている。しかしながら、SHS 生の就業体験を受け入れている企業等からは、「生徒は英語を聞き取る能力はある程度あるものの、正確に話す能力は不十分である」というフィードバックを得ていた。

工夫

そこで、パイロット校の生徒のうち、英語が最も必要となる飲食サービス・コース専攻の12年生28名を対象に、“English for Tourism, Hospitality and Food Industry”という研修を実施した。これまで、英語教員と飲食サービスなど専科の教員との間の情報共有は、あまり行われてこなかった。この研修をきっかけに、当該校において、コンテキストに合った英語教育を行うことにより生徒の英語学習意欲を高めることができるとの共通認識が生まれた。

- (4) 競争的助成金を活用したプロジェクト実施に際しては PDM と PO を活用

課題

競争的助成金の獲得を目指してモデル校から提出されたプロポーザルには、(1) 提案の背景、(2) プロジェクトの内容、(3) 必要とする投入、(4) 受益者などが記載されていたが、何をもってプロジェクトの目的が達成されたかを測定する指標、持続的にプロジェクトの効果を持続させるための取り組みについては記述がなかった。

工夫

プロジェクト・チームは、各モデル校と共に、競争的助成金を活用したプロジェクトの PDM と PO を作成し、プロジェクトの目標、活動スケジュール、モニタリングの方法につ

いて合意した。さらに、地域事務所、モデル校、プロジェクト・チームの三者で MOU を結んだことにより、地域事務所の関与も引き出すことができた。

【第三年次】

(1) 効果的な経験共有を行うための事前準備と発表校との共同作業

課題

パイロット校やモデル校が成功事例や教訓を他校に紹介する際に、機材や実習室などを中心に発表してしまうと、予算措置がなければ、技術・職業・生計トラックでは質の高い教育を提供できないと、他の技術職業学校に誤解される恐れがあった。

工夫

本プロジェクトでは、パイロット校やモデル校が成功事例や教訓を他校に共有することが成果の一つとして取り上げられている。2016年11月には、これらの学校の実践経験や成功事例を波及させるためワークショップ（Industry Summit）を開催したが、経験共有をより効果的なものとするため、事前にこれらの学校と発表内容につき協議し、プレゼンテーション資料のフレームワークを共同で作成した。この結果、成功事例、教訓、本プロジェクトから学んだ点などを系統立てて発表することができた。

(2) プロジェクトの成果や影響を確認するエンドライン調査の実施

課題

第三年次開始時には、プロジェクト目標および3つの成果の指標は既に、おおむね達成されていた。しかしながら、指標の達成度合いだけでなく、本プロジェクトを通じて学校関係者の意識や行動にどのような変化があったのか、学校とコミュニティとの関係にどのような変化が生じたのかなど、プロジェクトが及ぼした影響につき掘り下げた分析を行う必要があると考えた。

工夫

そこで、終了時評価に先駆けて、関係者に対するインタビュー調査を行った。その結果、形骸化していた SIP の作成が、プロセスを重視し参加型の計画作りへと発展していったこと、SHS 開始により学校とコミュニティの接点が増え、関係がより深まったことなど、プロジェクト開始時と終了時の変化について新たな気づきを得ることができた。

4. プロジェクト目標の達成度（終了時評価暫定結果の概要¹⁵等）

プロジェクト目標：技術職業学校（TVHS）の活動において、日本企業を含む産業界/企業との連携を改善/強化するための仕組みが構築される

4.1 プロジェクト目標の達成状況

終了時評価では、以下の指標に基づき、プロジェクト目標が達成されたことが確認された。

指標：技術教育に関する少なくとも1つの文書（ガイドライン、マニュアル、合意書）が作成される（例：就業体験の年齢に関する労働雇用省との覚書、TESDA、CHED との連携メカニズム、業界団体への依頼状、就業体験ガイドライン、初等教育におけるキャリア教育ガイドなど）。

2014年11月以来、プロジェクト専門家が助言、提案を行うとともにパイロット校教員が作成に携わってきた School Industry Linkage Officer's Handbook on Industry Immersion and Partnership が、最終的にガイドライン（Guidelines for Building Partnerships for the K to 12 Basic Education Program）として取りまとめられ、2015年8月28日に省令第40号（DepEd Order No. 40, 2015）として発出された。

同ガイドラインには、関連する用語の定義、パートナーシップの範囲、モニタリング、関連する法令等に加えて、パートナーのアセスメントツール、MOA の見本などが含まれる。なお、同ガイドラインは技術・職業・生計トラックを有する高校だけでなく、全ての SHS において利用されるものとなる。主な特徴は次のとおり。

- 新たに以下について用語が統一された：
 - これまで「産業連携コーディネータ Industry Linkage Coordinator (ILC)」や「産業連携担当 School-Industry Linkage Officer (SILO)」と呼ばれていたポジションは、「企業連携担当 Partnership Focal Person (PFP)」¹⁶とされた。
 - Internship や Industry Immersion と呼ばれていた就業体験は Work Immersion という名称に統一されている。
- 校長及び校長が任命する教員が PFP としての役割を担うことが想定されている。
- 教育省地方事務所の PFP としては Social Mobilization and Networking Coordinator またはその他のスタッフを適宜任命するとしている。
- 同ガイドラインでは、高校のカリキュラム（技術・職業・生計トラックを含む）におけ

¹⁵ 2017年4月17～28日に実施された現地調査における暫定結果。評価最終報告書は、本業務完了報告書作成時点で取りまとめ中。

¹⁶ Partnership Focal Person (PFP)という呼称は定着しておらず、現在も Industry Linkage Coordinator という呼称を用いている学校が多い。

る就業体験（Work Immersion）の割り当て時間を 80 時間と規定している。

- 就業体験では生徒の安全を確保すること、安価な労働力としてではなく学習の機会を確保することが明記された。これらは本プロジェクトのパイロット校が主張してきたことである。

プロジェクトでは、エンドライン調査として 2016 年 9 月、学校側から見たプロジェクト目標達成度を把握する目的でパイロット校 4 校に対しインタビューを実施した。「2014 年（プロジェクト開始時）と比較し、企業との連携構築は容易になったか」という質問に対する各学校の回答は以下のとおりである。

表 35 : 「2014 年（プロジェクト開始時）と比較し、企業との連携構築は容易になったか」という質問に対するパイロット校の回答（2016 年 9 月現在）

学校名	回答
DARSSTHS	<ul style="list-style-type: none"> • 容易になった。 • 教育省が配布した企業連携のためのガイドラインが役に立った。 • パイロット期間中の卒業生の評判が良く、地域（企業）における学校の評判が上がったため。 • 本年から本格的に実施された SHS の認知度が以前と比較して向上し、企業側もより協力的になったため。
RESPSCI	<ul style="list-style-type: none"> • 容易になった。 • 教育省が配布した企業連携のためのガイドラインが役に立った。 • 教育省によるキャンペーンもあり、SHS の認知度が高まったため。 • SHS のパイロットを実施したことにより、学校の知名度が向上したことで企業ため。
SPRCNHS	<ul style="list-style-type: none"> • 容易になった。 • 以前と比較し、学校関係者は企業へのアプローチにより積極的になった（より自信を持てるようになった）。 • パイロット期間を通じ、企業連携担当をはじめ学校関係者が多様かつより効果的なアプローチとテクニックを習得したため。
STVS	<ul style="list-style-type: none"> • 容易になった。 • 既に連携している企業が存在するため。

パイロット校は、プロジェクト開始前と比較し、企業との連携構築は容易になったと認識していることが明らかになった。ガイドラインの発出、SHS の認知度が上がったことが貢献要因として挙げられた。また、SPRCNHS は企業連携担当の企業に対するアプローチ技術の向上について言及しており、本プロジェクトの及ぼした好影響が伺われる。

4.2 終了時評価の概要

2017 年 4 月 17 日から 29 日まで終了時評価調査が実施された。終了時評価調査団はフィリピン側関係者と協議を行い、プロジェクトの成果、プロジェクト目標の達成度合いについてフィリピン側と合同で評価を実施するとともに、プロジェクトのアウトカムのさらなる普及に向けての意見交換を行った。

調査団の構成と調査日程

調査団の構成と調査日程は下表のとおり。

表 36 : フィリピン側メンバー

氏名	所属・役職
Mr. Rogelio O. Doñes	Supervising Education Program Specialist, Curriculum Standard Development Division, Bureau of Curriculum Development, DepEd
Ms. Maria Cecilia O. Nayve	Supervising Education Program Specialist, Special Curricular Programs Division, Bureau of Curriculum Development, DepEd
Mr. Clodualdo V. Paiton	Technical Specialist, Special Curricular Programs Division, Bureau of Curriculum Development, DepEd
Ms. Marites P. Romen	Supervising Education Program Specialist, Student Inclusion Division, Bureau of Learning Delivery, DepEd

表 37 : 日本側メンバー

氏名	調査団内役割	所属
宮城 兼輔	団長	独立行政法人 国際協力機構 人間開発部 高等教育・社会保障グループ 高等教育・ 技術教育チーム 企画役
十田 麻衣	協力企画	独立行政法人 国際協力機構 人間開発部 高等教育・社会保障グループ 高等教育・ 技術教育チーム 企画役
大前 正也	評価分析	サクセス・プロジェクト・マネジメントオフィス株式 会社 代表取締役社長

表 38 : 調査日程

日程	活動			宿泊先	
	団長 宮城 兼輔	協力企画 十田 麻衣	評価分析 大前 正也		
4/17	月	/	マニラ到着	マニラ	
4/18	火		09:00 JICA 事務所と面談 タグムへ移動	ダバオ	
4/19	水		09:00 タグム校訪問 11:00 タグム市地域事務所訪問 マニラへ移動	マニラ	
4/20	木		セブへ移動 11:00 スバンダク校訪問 14:00 マンダウエ市地域事務所訪問 マニラへ移動	マニラ	
4/21	金		10:00 パシグ市地域事務所訪問 13:00 プロジェクト専門家と面談 書類整理	マニラ	
4/22	土		書類整理 書類整理	マニラ	
4/23	日		マニラ到着	書類整理 書類整理	マニラ
4/24	月		09:00 JICA フィリピン事務所と面談		マニラ

日程	活動			宿泊先	
	団長 宮城 兼輔	協力企画 十田 麻衣	評価分析 大前 正也		
		11:00 RESPCI 校を訪問			
		14:30 プロジェクト専門家と打合せ			
4/25	火	10:00 教育省にて協議		マニラ	
		14:00 DARSSTHS 校訪問			
4/26	水	MM 案作成	10:00 Bataan School of Fisheries 校訪問	MM 案作成	マニラ
4/27	木	09:30 SPRCNHS 校と面談		マニラ	
		11:00 教育省と MM について協議			
		午後：JICA フィリピン事務所と協議			
4/28	金	東京へ出発		レポート作成	マニラ
4/29	土			東京へ出発	

終了時評価調査団の結論

プロジェクトは期待された成果を達成し、プロジェクト目標も達成された。評価 5 項目による評価も「持続性」を除き、高いと評価された。持続性については「やや高い」と評価された。終了時評価調査団は、パイロット校、モデル校、教育省地域事務所他関係機関によるプロジェクト活動の成果および関係校の好事例の全国普及を強く期待すると、結論づけた。

終了時評価調査の詳細については、別途作成されている「終了時評価調査報告書」を参照されたい。

5. 上位目標の達成に向けての提言

上位目標：モデル高校（Senior High School-SHS）で実施された計画・活動・好事例が、学校改善計画（SIP）の作成・改善の参考事例として、K to 12 モデル校を含む全国の技術職業学校（TVHS）と共有される。

5.1 上位目標の達成状況

終了時評価では、ワークショップや視察を通じ、パイロット校の経験が他の技術職業学校に広く紹介されていることが評価された。

指標 1：モデリング事業の成果を紹介された技術職業学校の数

第一年次には、教育省年次ワークショップ会合が開催（2015年2月13日）され、パイロット校4校の校長/産業連携コーディネータが、モデル校を含む280技術職業学校校長に対し、経験を共有した。

第三年次には、フィリピン国教育省と共同で Industry Summit を開催（2016年11月7～9日）、技術職業学校255校の代表者、11の教育省地域事務所職員に対し、パイロット校4校、モデル校6校が、モデリング事業の成果を紹介した。

指標 2：パイロット校を視察した学校数

パイロット校を視察した学校等は以下のとおりである。

表 39：パイロット校を視察した学校等

学校名		第一年次	第二年次	第三年次
DARSSTHS	回数	3回	12回	114回
	人数	—	344人	235人
RESPSCI	回数	1回	6回	19回
	人数	—	303人	25人
SPRCNHS	回数	21回	18回	27回
	人数	—	477人	964人
STVS	回数	4回	6回	2回
	人数	—	602人	2人

視察受け入れにあたり、各パイロット校が特に紹介したいと考えているのは以下の点である。

表 40：視察の受け入れで紹介したいと考えていること（2016年9月現在）

学校名	回答
DARSSTHS	<ul style="list-style-type: none"> • DARSSTHS では、卒業生の質について特に注意を払っている。そのため、施設やカリキュラムの改善に力を入れていること。 • Quezon 市 Local School Board が SHS の Technical Working Group 設置する際に手伝ったこと、具体的な SHS プログラムのプロモーション活動など。
RESPSCI	<ul style="list-style-type: none"> • Café Razzo を設置したことにより、生徒が校内で実習を行える環境が整ったこと。 • 就職支援の強化に取り組んでいること。 • 卒業後も就職機会や自営業開始のノウハウにかかる情報提供を常に行っていること。
SPRCNHS	<ul style="list-style-type: none"> • SHS のスムーズな実施には、校長をはじめとする学校関係者の強い意志が重要であること。 • 地域のニーズの把握、当該ニーズに沿ったカリキュラムや専門課程の変更の重要性。 • 地域ニーズの把握や企業連携のために担当教員の授業の負担を減らしていること。
STVS	<ul style="list-style-type: none"> • モデリング事業では、就業体験に 300 時間を割り当てたことで、生徒の就職がより容易になっていたこと。 • 教員が積極的に企業訪問を行い、企業のニーズや業界のトレンドを認識していること。 • MOOE 予算を消耗品購入に充て、生徒が十分な実習ができるよう配慮していること。 • 就業体験中の保険が重要であることから、保険料の支払いについて理解を得られるよう保護者を説得してきたこと。 • 就職支援コーナーを設置したこと。

パイロット校とモデル校の実践のうち、プロジェクト・チームが他校の参考となると考える実践を以下に紹介する。

表 41：他の学校の参考となり得るパイロット校、モデル校の実践（再現性の高いもの）
【パイロット校から得られたヒント】

学校名	実践	他の学校へのヒント
DARSSTHS	1) 就労体験実施に際しての工夫 <ul style="list-style-type: none"> • 教育省に先駆け、ケソン市議会議員と協力し、生徒の就労体験に関する制度作りに取り組んだ。 • 就労体験中の生徒の保険料負担について、ケソン市に支援を求めている。 • 就労体験先の選定に際しては、生徒が安価な労働力として扱われないよう、学校が十分、留意した（夜間、土曜の就労を避ける、就労中の安全の確保に努める等）。就労体験受け入れ先の開拓には苦労したが、生徒数が少なく、2 バッチ分のみであったため、何とか乗り切ることができた。 • ホテルで就労体験を行えるよう、学校がエージェントに対して費用を支払った。 	→ 地方自治体の協力（資源）を得て、生徒の技能向上に努める。 → 就労体験を学習の一環としてとらえる。
	2) コミュニケーション・スキル、英語スキルの向上 <ul style="list-style-type: none"> • 企業の協力を得て、生徒のコミュニケーション・スキルを向上させるトレーニングを実施した。 • ケソン市から配布されたバウチャーを活用して、外部の 	→ 企業や地方自治体の協力（資源）を得て、生徒の技能向上に努める。

	講師を招き、英語研修を実施した。	
RESPSCI	1) 就労体験先の開拓に関する工夫 <ul style="list-style-type: none"> 生徒の就労体験に対する意欲を高めるために、受け入れ企業の選定に生徒を関与させた。 SHS モデル事業 1 年目は、学校が就労体験先（市営のホテル）を手配したが、生徒は就労体験先に興味を示さなかった。 Café Razzo というカフェを開設し、校内でも就労体験を行える環境を整えつつある。 	<p>→就労体験先の開拓・選定に生徒自身を関与させる。</p> <p>→生徒数の増加に伴い、校内でも就労体験を行えるよう環境を整える。</p>
	2) SHS のコース設置にあたっての工夫 <ul style="list-style-type: none"> 同校の中等部には溶接、木工、手工芸コースなどもあるが、SHS では飲食サービスに特化した。観光分野に力を入れていることを学校内外に示している。 	→自校の設備、機材の状況にあったコースを設定することにより、学校の特徴を明らかにする。
	3) 就労体験の時間数の確保に関する工夫 <ul style="list-style-type: none"> 就労体験の時間数を確保するため、“Practical Research 1 & 2” という科目の時間も活用している。そのため、生徒は就労体験中も週に 1 回、学校に報告に訪れること、就労体験後にレポートを提出することが求められている。 	→就労体験を工夫して実施する。“Practical Research 1 & 2” と組み合わせることにより、企業側の求める時間数が確保できる。さらに、生徒に対して報告やレポートを課すことで、就労体験を教育活動として充実させることができる。
SPRCNHS	1) 産業連携担当教員の活動時間に関する工夫 <ul style="list-style-type: none"> 産業連携を担当する教員が、授業以外の活動により時間を割けるよう、授業を週 1 時間とした。 	→産業連携担当教員の授業時間数を減らす。
	2) 連携先の開拓・確保に関する工夫 <ul style="list-style-type: none"> パートナー企業、団体と密なコンタクトをとった。産業連携担当者が折にふれ、企業訪問を行った。 	→パートナー企業、団体に頻繁に連絡する。
	3) 就職支援に関する工夫 <ul style="list-style-type: none"> 校内 PESO（公共職業安定所）として認定され、求人情報を学内に掲示した。 業界団体などが開催したイベントに、学校としてブースを設け、生徒の実力をアピールした。 	<p>→企業の求人票を学内に掲示する。</p> <p>→学外で生徒の力量を示す機会を作り出す。</p>
	4) キャリア教育・就職支援に関する工夫 <ul style="list-style-type: none"> プロジェクトで支援した「就職支援コーナー」の活用方法を中等部の授業の中で説明している。 SHS 生徒の卒業式では、「取得した資格」「就労体験先」「進路（進学/就職先）」を発表しつつ、卒業証書を授与する。卒業式には、協力企業も招かれる。 	<p>→無料の求人情報、進路に関する情報の活用方法を指導する。</p> <p>→中等部の生徒が技術・職業・生計トラックに憧れを抱くよう演出する。</p>
STVS	1) 企業の人事担当者の集まりにおいて学校紹介 <ul style="list-style-type: none"> 近隣の工業団地（MEPZA）を教育省地域事務所とともに訪問し、SHS プログラムの説明を行った。 	→工業団地の人事担当者の集まりに参加させてもらい、SHS の生徒、

		教育内容について理解促進に努める。
	2) 学校公開日に将来、協力企業となり得る企業を招待	→企業関係者が学校を訪問する機会を増やす。

【モデル校から得られたヒント】

学校名	実践	学校名
BNATS	1) 生徒の就職先確保に関する工夫 ・同校卒業生が良い評価を得ている職場との関係を強化した。	→卒業生とのコンタクトを維持する。
	2) 就労体験実施に際しての工夫 ・学校の生計向上活動で得られた収入で、就労体験や就職活動にかかる交通費の補助を行った。 ・校内でも就労体験を行える圃場の整備に努めている。	→生徒数の増加に伴い、校内でも就労体験を行えるよう環境を整える。
BSF	SHS のコース設置にあたっての工夫 ・水産だけではなく、食品加工、縫製などのコースを設定した。	→地域のニーズに合わせて、コース設定をする。
ONSTS	1) 就労体験先の開拓に関する工夫 ・就労体験先探しの負担軽減のため、ホテル・レストラン協会の会員となった。	→個別に生徒の就労体験先を開拓するのではなく、業界団体の会員となることによって効率的に受入れ先を開拓する。
	2) 就労体験実施に際しての工夫 ・就労体験中の学生のモニタリングを積極的に実施している。	→産業連携担当の教員が、学校の公用車を使用し、就労体験中の生徒を訪ねモニタリングを行う。
	3) 専攻コース設定に関する工夫 ・就労体験受入れ先やホテル・レストラン協会から、「雇用したい人物像」について意見を聞き、それらのスキルを身に付けられる Commercial Cooking NC III コースを開設することとした。	→就労体験受入れ先の意見を反映させた教育内容とする。
ICNSF	SHS のコース設置にあたっての工夫 ・水産だけではなく、食品加工、縫製などのコースを設定した。	→地域のニーズに合わせて、コース設定をする。
RAHS	就労体験先の開拓に関する工夫 ・生徒が身近な環境で就労体験を行えるように、1人1haの実験農場を開設するよう努めている。 ・生徒が開拓した実験農場や実習場は生徒に帰属し、運営もすべて生徒に任されている。そこで上がる収益も生徒のものとなる。教員が各農場を訪問し、助言を与える活動を「校外実習」と位置付けている。	→生徒数の増加に伴い、身近な環境で就労体験を行えるよう環境を整える。 →生徒にオーナーシップを持たせることが生徒の成長に繋がる。
TNTS	就労体験先の開拓に関する工夫 ・校内で就労体験が行えるように環境の整備に努めている。	→生徒数の増加に伴い、校内でも就労体験を行えるよう環境を整える。

5.2 上位目標の達成に向けての提言

2016年6月、K to 12 教育プログラムは完全実施され、フィリピンの基礎教育はこれまでの10年間から新たに2年間のSHSが追加された。プロジェクトは、2014～2015年のSHSプログラム実施に向けた準備期間と完全実施後の1年間に実施された。

3年にわたり教育省内に席をおき、プロジェクト活動を実施しながら得られた知見をもとに、上位目標「モデル高校（SHS）で実施された計画・活動・好事例が、学校改善計画（SIP）の作成・改善の参考事例として、K to 12 モデル校を含む全国の技術職業学校（TVHS）と共有される。」に向けて、必要と考えられる施策を三点、提言する。

- (1) 既存の教育省長官令、マニュアル、ガイド、早期実施校の好事例、および関連する法律の周知

教育省ウェブサイト¹⁷によれば、2017年4月6日現在、5,965の公立学校、4,729の私立学校、大学、技術職業学校、海外校が第11学年を設けている。技術・職業・生計トラックを設置したのは公立学校4,264校、私立学校2,162校、大学112校の合計6,548校、これらの学校で603,413人（2016/2017学年度の入学者の約39.3%）が技術職業生計トラックで学んでいる¹⁸。

ここから言えるのは、従来、技術・職業・生計コースを提供してきた技術職業学校280校以外の学校でも、K to 12 全面実施に伴い、技術職業生計トラックを設置しているということである。STVEPとして分類されている280の技術職業学校には、これまで中学校において技術・職業・生計を指導してきた教員や実習室も存在している。しかし、それ以外の約4,000校の公立学校には、技術・職業・生計トラックが設置されたものの、当該分野の経験には乏しい。今後、これらの学校が、就業体験先の確保や調整といった課題に直面することに備える必要がある。

SHS 第1期生が12年生を迎える2017/2018学年度には、各学校のAssistant Partnership Focal Personsは、既存の教育省長官令、ガイド、マニュアル、早期実施校の実践、関連するAdopt-A-School法について十分な理解をしておく必要がある。例えば産業界との協議の場において、学校への支援に対する税制面の優遇措置について定めたAdopt-A-School法について教育省地域事務所の支援を得ずとも十分な説明ができることが望ましい。

教育省本省として、SHS 早期実施校の好事例および以下に挙げる参考長官令、ガイド、マニュアル、法律等を、新たにSHSプログラムを開始した4,000校に伝えることを推奨する。共有の方法としては、2016年11月に教育省とJICAプロジェクトで共催したIndustry Summitをルソン、ビサヤ、ミンダナオにて開催することが望ましい。

- Adopt-A-School Act of 1998 (RA8525)

¹⁷ <http://www.deped.gov.ph/k-to-12/shs>

¹⁸ Education Management Information System Division から入手した資料に基づく

- DepEd Order No. 24 of 2016 “Guidelines on Accepting donations and on Processing Applications for the Availment of Tax of Tax Incentives by Private Donor-Partners Supporting the K to 12 Program”: Guideline to utilize Adopt-A-School program to attract private sector as a schools’ partner.
- DepEd Order No. 40 of 2015 “Guidelines for Building Partnerships for the K to 12 Basic Education Program”
- Senior High School Manual of Operations Volume 1: Preparing for the Opening of SHS Classes

(2) 地方事務所と地域事務所による支援・調整

教育省は、全ての生徒に質の高い教育を提供する責任を負っている。地方事務所および地域事務所は管内の SHS 校のリストを作成し、トラック別、ストランド別の生徒数、取得できる国家資格について情報収集を行う必要がある。産業界の求めに応じて、いつでも、管内の SHS 校生を紹介できるように準備をしておくことが望ましい。

産業界との連携の構築はあくまで各学校の責務である。しかしながら、各学校の置かれた環境はさまざまである。近隣にパートナーとなってくれる可能性がある産業が多数ある学校もあれば、生徒が長時間移動しなければ就業体験の機会を得られない学校もある。小規模 SHS 校にとっては、産業界との連携構築を進めていくことには困難が伴うことも予想される。地域事務所は、小規模 SHS 校に対して近隣に立地する大規模な SHS 校と協力して産業界との連携構築が図れるよう調整すべきである。

(3) より良い SHS プログラム実現のための調査

教育省は予定通り 2016 年 6 月より SHS プログラムを実施することによって、K to12 教育改革を成し遂げた。2012 年から SHS モデリング事業の実施、教員の採用、研修、教室の建設、カリキュラムの開発、バウチャーシステムの導入など、精力的かつ計画的に準備を進めてきたことに対して敬意を表したい。SHS への進学者は約 130 万人である。2016 年までと比べ、約 60 万人多くの若者が 10 年間以上の基礎教育を享受することが出来るようになった。

SHS モデリング事業及び早期実施校では、さまざまな経験をつみ、SHS プログラム実施のノウハウを身に付けた。しかしながら、早期実施期間中は生徒数が少なかったこともあり、就業体験先や就職先の確保も比較的容易であった。2017/2018 学年度からは、全ての 12 年生が就業体験を経験することになっている。また、2018 年 3 月には SHS 第 1 バッチ生が卒業する。

Kto12 教育改革を完成させるためには SHS プログラムのさらなる改善が必要である。そのために、SHS プログラムの現況に関する詳細な調査の実施を提案する。全国において、以下の項目について調査を行うことが望ましい。なお、調査に際しては、地方事務所、地域事務所が関与するだけでなく、公正性を担保するためにも外部の調査者の活用も必要であ

ると考える。

- 1) 各校の立地状況（産業の立地、高等教育機関の立地）と SHS 校のトラックの妥当性
- 2) 生徒のトラック選好の理由（本人の希望、あるいは他の選択肢がなかったためか）
- 3) 2016 年 6 月に SHS 校に入学した生徒で中退者数、とその理由
- 4) ALS 修了者の SHS への進学への意欲（2016 年 9 月現在、ALS の A&E 修了者のうち SHS 校に進学したのは、3,300 名余り）
- 5) SPED センターへの SHS の設置もしくは SPED センターから SHS への進学者数
- 6) 2018 年 3 月に卒業する SHS 生の進路
- 7) バウチャープログラムを活用して私立 SHS 校に進学した生徒の現況（公立校への転学者数、中退者数）

以上

添付資料1

PDM((1) Ver.0 & Jul. 2014, (2) Dec. 2014, Mar. 2015,
Oct. 2015, Mar. 2016 & Nov. 2016)

Attachement 3: Project Monitoring Sheet I (Revision of Project Design Matrix)

Project Title:

Project for Supporting Senior High School Modeling in Selected
Technical Vocational High Schools in the Republic of the
Philippines

Version 0

Implementing Agency:

Department of Education (Dep.ED)

Dated July 4, 2014

Target Group:

Overall goal: 280 TVHS, Project Purpose: 14 TVHS participating in SHS modeling,
Output 1 & 2 : 4 Selected Technical Vocational Schools participating in the SHS
modeling by Dep.ED, Output 3: 10 TVHS participating in SHS modeling other than 4
selected TVHSs.

Period of Project:

February 2014 to June 2017

Project Site: Metro Manila, Laguna, Cebu

Narrative Summary	Objectively Verifiable Indicators	Means of Verification	Important Assumption	Achievement	Remarks
Overall Goal					Suggested means of verification
Activities, strategies and promising practices implemented in the SHS modeling will be shared to other TVHSs including the K to 12 modeling TVHS nationwide as a resource reference to develop/enhance their School Improvement Plans (SIP).	1. Numbers of TVHS that are informed of the outcomes of the SHS modeling program 2. Numbers of TVHS that are subsidized to replicate the practice piloted in the SHS modeling program	K to 12 monitoring record → SHS Program National Task Force SHS modeling record → SHS Program National Task Force			1. The number of schools attended the good practices sharing workshop (Workshop attendance record) 2. The number of school which experienced benchmarking.
Project Purpose					Suggested Indicators
A mechanism is developed for TVHS activities to ensure its effective implementation through collaboration with industries/firms (including those from Japan).	Number of activities conducted involving (Japanese) industries/firms by TVHS participating SHS modeling	SHS modeling record → Document from Tech-Voc Unit	K to 12 SHS is fully implemented in 2016 as scheduled.	Academic year 2014/2015 just started. No mechanism to mention is developed at this moment.	At least 1 document (Guideline, Manual, MoA) related to Tech-Voc Education (eg. Agreement with DOLE on OJT age, Coordination mechanism with TESDA, CHED request letters to industry associations, OJT guideline, and Career education guide for Elementary school)
Outputs					
1. Mismatches/gaps between capacities/competencies of graduates and industry needs are identified at the pilot TVHSs and addressed in their SIPs.	SIP improved/modified	School visit log SIP document → Tech-Voc Unit/Project Team records → Industry Interview Sheet to be kept in school	No policy change to proactively utilize industry-school collaboration. (Japanese) industries/firms maintain the momentum to collaborate with TVHS.	Industrial Linkage Coordinators are designated in SPRCNHS. In 3 pilot schools, there are teachers working on industrial linkage development. *Communication skill and attitude towards work are pointed as important. * Consciousnes on safety including proper attire and hygiene are pointed as important. →More appropriate or comprehensive orientation before sending studnets to OJT is required.	Improvement in SIP can be evaluated using the following criteria. 1) Mismatches/gaps are described properly, 2) Industry needs are described properly, 3) Partner development strategy is described, and 4) Education improvement plan is described.

				<p>* More practical lesson delivery is requested by welding company.</p> <p>→Teachers' visit to industry may be useful in improving their knowledge and skill.</p> <p>No significant improvement observed in the SIPs.</p>	<p>Additional indicator suggested</p> <p><i>The number of employment support activity conduted in the schools. (graduates tracer study)</i></p>
2. Pilot Schools become able to collaborate with industry/firms (including Japanese firms) to improve school activities and to fill the identified gaps.	Minimum of one activity per school	SHS modeling record		<p>Visits were made to the 15 firms (including 4 Japanese firms) and 2 Chamber of Commerce and Industry, and AAHHRMRI (Industry association).</p> <p>Received a list of metal works and garments firms in Cebu.</p>	<p>Suggested modification in indicator</p> <p>→ <i>Number of activities to improve school activities. Activities include, OJT, Industrial immersion, factory visit, and lecture.</i></p>
3. SHS modeling TVHSs, other than the four (4) Pilot Schools, are informed of piloted activities/best practices for possible replication/adaptation/adoption.	Number of TVHS that are informed of the activities piloted by the modeling schools	SHS modeling record		<p>Out of 10 model schools, 5 accepted G11 students in 2014.</p> <p>Visited 4 model schools in Luzon. All of them are ready to offer SHS because there are teachers with NCs, equipmenet/workshops, and demand for SHS.</p>	<p>Suggested modification in indicator</p> <p><i>1. The number of schools attended the good practices sharing workshop</i> <i>2. The number of school which experienced benchmarking.</i> <i>3. Number of activities conducted in pilot schools and model schools.</i></p>

Activities	Inputs		Pre-Conditions
	The Japanese Side	The Philippine Side	
<p>[1-1] Designate a person(s) in charge for identifying gaps between school activities/curriculum and industry needs.</p> <p>[1-2] Interview industry with regard to job/skills requirements.</p> <p>[1-3] Address the identified gaps by incorporating adjusted strategies/activities in SIPs.</p> <p>[1-4] Promote recruitment of graduates to potential employers.</p> <p>[2-1] Designate an Industry Linkage Coordinator (ILC) to work out collaboration arrangements with industry (including Japanese firms).</p> <p>[2-2] Develop an effective school-industry collaboration mechanism through facilitating the Memorandum of Agreement (MOA) between the schools and industry (including Japanese firms).</p> <p>[2-3] Conduct capacity building activities for school heads, teachers, ILCs and career guidance counsellors, etc.</p> <p>[2-4] Examine the adequacy of the existing equipment at the Pilot Schools.</p> <p>[2-5] Implement the activities agreed upon in MOAs.</p> <p>[2-6] Monitor and evaluate the implementation of MOAs.</p> <p>[3-1] Develop a strategic plan for adoption/implementation of the learning experiences and best practices of the Pilot Schools by other TVHSs.</p> <p>[3-2] Hold a workshop to disseminate learning experiences/best practices of the Pilot Schools.</p> <p>[3-3] Provide competitive grants to the selected TVHSs.</p> <p>[3-4] Monitor the execution of competitive grants.</p>	<p>1. Experts Chief Advisor, Industrial Linkage Experts</p> <p>2. Competitive Grants The grants are for the TVHS participating in SHS</p> <p>3. Necessary expenses</p>	<p>1. Counterpart Personnel</p> <p>2. Office space and necessary office facilities for the experts</p> <p>3. Information and/or data necessary for the implementation of the Project</p> <p>4. Operating and accommodation expenses necessary for the implementation and monitoring of the Project</p>	<p>The Yen-Loan Project is implemented as planned.</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="background-color: yellow; text-align: center;"><Issues and countermeasures></p>

Project Monitoring Sheet I (Revision of Project Design Matrix)Version 5

Project Title: Project for Supporting Senior High School Program in Technical Vocational High Schools

Implementing Agency: Department of Education (DepEd) Dated November 25, 2016

Target Group: Overall goal: 280 TVHS, Project Purpose: 14 TVHS participating in SHS modeling, Output 1 & 2 : 4 Selected Technical Vocational Schools participating in the SHS modeling by DepEd, Output 3: 10 TVHS participating in SHS modeling other than 4 selected TVHSs.

Period of Project: February 2014 to June 2017

Project Site: Metro Manila, Laguna, Cebu

Narrative Summary	Objectively Verifiable Indicators	Means of Verification	Important Assumpti	Achievement (Dec.2014)	Achievement (Mar. 2015)	Achievement (Oct. 2015)	Achievement (Mar. 2016)	Achievement (Nov. 2016)
Overall Goal								
Activities, strategies and promising practices implemented in the SHS modeling will be shared to other TVHSs including the K to 12 modeling TVHS nationwide as a resource reference to develop/enhance their School Improvement Plans (SIP).	1. The number of TVHSs that are informed of the outcome of the SHS modeling program.				DARSSTHS, RESPSCI, SPRCNHS, and STVS presented their modeling experience in Annual Workshop Conference attended by 280 STVEP schools' principals in Feb. 13.			DepEd and the JICA Project Team organized "Industry Summit" on Nov. 7-9, 2016. Representatives of 255 STVEP schools and 11 DepEd Regional Offices attended and were informed of the experience and lesson learnt of the 4 Pilot and 6 Model Schools.
	2. The number of school which benchmarked the pilot schools				<p>Many schools and DepEd Regional and Division Offices visited the pilot schools:</p> <p>DARSSTHS: Visited by Malabon National High Schools, NCR, Divisions of Sorsogon, Science City of Nuno, Nueva Ecija, Region III, Superintendent Conference was held twice (Oct. 2014 and March 2015) attended by 84 SDS, ASDS, OIC SDS and DLSU.</p> <p>SPRCNHS: Visited by Tayabas School, Quezon Province, Isabela Province (Superintendent/ Supervisors/ Principals/ School Administrators), St. Maichael's College of Laguna (Principal and Dep. Head), Labrador Pangasinan (Superintendent/ Supervisors/ Principals/ School Administrators), Batac Ilocos Norte (Superintendent/ Supervisors/ Principals/ School Administrators), North Cotabato (Superintendent/ Supervisors/ Principals/ School Administrators), San Lorenzo School and Casa ddel Nino (Private schools in San Pedro, Laguna), DepEd Region 7 (Superintendent/ Supervisors/ Principals/ School Administrators), Cabadbaran City Division Officials Region XIII, Private Schools of San Pedro, Laguna, Bislig (region XIII), DepEd officials (Superintendent/ Supervisors/ Principals/ School Administrators), Quirino Provincial DepEd Officials (Superintendent/ Supervisors/ Principals/ School Administrators), Tanza Trade School, Cavite, SHS Coordinators and Principals from San Pedro Laguna (Cluster 10), Amazing Grace School (Private school in San Pedro, Laguna), Augustine School of Cabuyao (Private School in Laguna), Pangasinan Division (Superintendent/ Supervisors/ Principals/ School Administrators), Grace Christian Community School Calauan Inc. Division of Pangasinan II (Principals/ Head Teachers/ TLE teachers), Central Luzon State University (Professors and Staff), Canossa School of Sta. Rosa.</p> <p>STVS: Visited by Lazi NHS, Siquijor, ASDS & EPS of Sibugay Division, Tabogon, NHS, Cebu, Deans, Principal, Marketing Officer of UC Cebu.</p>		<p>42 benchmarking activities were conducted by the pilot schools, with 1726 participants from DepEd regional offices, division offices, and secondary schools; private schools; and other institutions.</p> <p>DARSSTHS: Had 12 benchmarking activities, attended by 344 participants from Regional Office of Cordillera Administrative Region, Division Offices of Marikina City, Marinduque Province, Zamboanga del Sur Province, Davao del Sur Province, Tacurong City, Davao del Norte Province, Sorsogon Province, Legaspi City, Navotas City, Tagum National Trade School, and Fiore Del Carmelo School of Quezon City.</p> <p>RESPSCI: Conducted 6 benchmarking activities, attended by 303 participants from DepEd Division of Albay and Legaspi City, and Opol National Secondary Technical School.</p> <p>SPRCNHS: Conducted 18 benchmarking activities, attended by 477 participants from DepEd Region IVB MIMAROPA; DepEd Divisions of Pangasinan, Nueva Ecija, Albay, Legaspi City, and Marinduque; 8 DepEd secondary schools: ERDA Technical and Vocational Secondary School, Sampaguita National High School (NHS), Cabuyao NHS, Famy NHS, Siniloan NHS, Tanauan School of Fisheries, Tagum National Trade School and Iligan City National School of Fisheries; and private schools like Sta. Catalina College. The Sri Lanka Ministry of Education also benchmarked SPRCNHS.</p> <p>STVS: Conducted 6 benchmarking activities, attended by 602 participants from DepEd Region VII schools and Panabo City Division from Davao region.</p>	

Narrative Summary	Objectively Verifiable Indicators	Means of Verification	Important Assumpti	Achievement (Dec.2014)	Achievement (Mar. 2015)	Achievement (Oct. 2015)	Achievement (Mar. 2016)	Achievement (Nov. 2016)
Project Purpose A mechanism is developed for TVHS activities to ensure its effective implementation through collaboration with industries/firms (including those from Japan).	Number of activities conducted involving (Japanese) industries/firms by TVHS participating SHS modeling	At least 1 document (Guideline, Manual, MoA) related to Tech-Voc Education (e.g.. Agreement with DOLE on OJT age, Coordination mechanism with TESDA, CHED request letters to industry associations, OJT guideline, and Career education guide for Elementary school) is developed.	K to 12 SHS is fully implemented in 2016 as scheduled.	The first draft of " School Industry Linkage Program Handbook " was prepared in "Training Cum Workshop for School Industry Linkage Coordinators" in November, 2014. 20 schools including 4 pilot schools and 9 model schools participated. Practices of DARSSTHS, RESPSCI and SPRCNHS were included in the draft handbook: weekly attendance and progress report (during internship), endorsement letter, memorandum of agreement, and graduates tracking forms.	The draft handbook is now called " School Industry Linkage Officer's Handbook on Industry Immersion and Partnership ". In March 4-6, the Mini Workshop was once again conducted . The handbook was improved in the Mini Workshop organized by Tech-Voc Unit and attended by 3 ILCs of DARSSTHS, RESPSCI and SPRCNHS in Jan. 2015. Then it was shared with the participants of Annual Workshop Conference attended by 80 Educational Program Supervisors and 280 STVEP schools principals in Jan. and in Feb. The handbook will be incorporated in "Guideline for DepEd - Industry Immersion Partnership for SHS".	" Guidelines for Building Partnerships for the K to 12 Basic Education Program ". It was issued as DepEd Order No. 40, 2015 on August 28.		4 Pilot Schools stated that it became easier to develop partnership with industry, compared to 2014. It is because (1) " Guidelines for Building Partnerships for the K to 12 Basic education Program " was issued by DepEd Central Office . (2) SHS program is now well known to industries, and (3) skills of PFP were enhanced.
Outputs 1. Mismatches/gaps between capacities/competencies of graduates and industry needs are identified at the pilot TVHSs and addressed in their SIPs.	1-1. SIP addressing mismatches/gaps (Improvement in SIP is evaluated using the following criteria. 1) Mismatches/gaps are described properly, 2) Industry needs are described properly, 3) Partner development strategy is described, and 4) Education improvement plan is described.	School visit log SIP document	No policy change to proactively utilize industry-school collaboration. (Japanese) industries/firms maintain the momentum to collaborate with TVHS.	1-0. Current situations of the pilot schools: DARSSTHS (commercial area of Quezon City): Many JHS students opt for higher education. DARSSTHS' SHS program offers Automotive Servicing and Hospitality and Tourism. They do not have G12 students this year. RESPSCI (Pasig City): SHS program offers Housekeeping, Bartending, and Food & Beverage Services. Teacher training and expansion of SHS programs are considered necessary by the school. SPRCNHS (San Pedro City, Laguna): SHS program offers 7 specializations. The specializations they offer are based on the school's analysis. STVS (Mandue City, Cebu): SHS program offers Metal Works, Garment and Cookery.	1-1. (1) 6 companies commented that the following skills and knowledge are effective for manufacturing sectors: 1) how to read drawings/sketches, 2) how to use instruments and knowledge on materials. → Procured computers for CAD (SPRCNHS) (2) Most companies emphasized that importance of communication skill and attitude. → Suggested that the skill would be improved when the interest and confidence of students towards the specialized subjects is improved. A HR Agency mentioned that communication skill in English is important for entry level workers. (3) Encouraged the teachers of the 4 pilot schools to visit companies to learn their various needs/ expectations.	1) All four schools fail to provide detailed analysis in relation to the mismatches/gaps with industry needs in their SIPs. All four schools listed up challenges they need to tackle with in general terms. 2) One school identifies the specializations which are in high demand in the surrounding communities and another school presents in its SIP the importance of computer skills based on the analysis of industry needs and its intention to strengthen the ICT training. The remaining two schools did not present their analysis of industry needs. 3) As for the partnership development strategies, one school presents that it will strengthen monitoring activities for students under work immersion for stronger trust relationship with industry. Another school describes as its priority strategy inviting prospective partners to the open-school event. The remaining two schools do not provide any detailed strategy in their SIPs. 4) Three schools manage to describe the challenges and targets, but they fail to provide details as to how they deal with them.		SIP 2016/2017-2018/2019: 1) DARSSTHS, SPRCNHS and STVS didn't describe the root causes and analysis based on mismatches / gaps between students' ability and industry needs. From SIP of RESPSCI, we can assure that this school identifies the mismatches / gaps as lack of student's interest and practical experiences. SIP 2016/2017-2018/2019: 2) STVS described the priority areas such as cookery / food & pastry production, garments and metal works in accordance with the feature of community and DARSSTH also described the social economic condition of the vicinity. There is no description on surrounding industries in the SIPs of RESPSCI and SPRCNHS. SIP 2016/2017-2018/2019: 3) All schools paid attention to partnership development with industries, when they developed SIP. SIP 2016/2017-2018/2019: 4) All schools planned concrete activities to improve tech-voce education in SHS.
	1-2. The number of employment support activity conducted.			1-2. Tracer study of the SHS program graduates was made following the format the Project Team provided.	1-2. (1) Pilot schools referred the students to PESO, Job Fairs , provided the students with referrals and letter of recommendations. (2) The Tracer study was conducted. As of June 2014, the average rate of employed and self-employed of the 1st. Batch of SHS program (4 pilot schools) was 66.3% .	No support activity observed during this period. (2) Tracer studies were conducted for 2nd. Batch of SHS graduates in SPRCNHS, RESPSCI and STVS. The average rate of employed and self-employed was 44.8% .	DARSSTHS: Set-up <i>Career Advocacy Unit</i> to help students secure jobs after graduation; Orientation on use of Job Support Corner; Conduct of students' training to improve skills for job interviews and resume preparation; Integrated WorkReadyNow modules on work ethics, customer service, and employers rights and responsibilities in English and Trades subjects; referred students to Job Fairs. RESPSCI: Implementation of TESDA's Special Training for Employment Program, and Job Support Corner orientation. SPRCNHS: Integrated proper use of Job Support Corner in Empowerment Technologies (E-tech) subject together with Job Support Corner orientation, and annual Job Fair. Also continued referring students to companies. STVS: Job Support Corner orientation for students.	Employment support activity: Four schools consider that school is also responsible for students' employment. They provided (1) advice on potential employers utilizing "Job support corner", (2) advice based on their work immersion experience, (3) referral to potential employer upon request, (4) Organizing meeting with guardian and students, and so on. Tracer studies: Persons working as PFP, career guidance counselors and teachers are in charge of tracer studies.

Narrative Summary	Objectively Verifiable Indicators	Means of Verification	Important Assumpti	Achievement (Dec.2014)	Achievement (Mar. 2015)	Achievement (Oct. 2015)	Achievement (Mar. 2016)	Achievement (Nov. 2016)
<p>2. Pilot Schools become able to collaborate with industry/firms (including Japanese firms) to improve school activities and to fill the identified gaps.</p>	<p>Number of activities to improve school activities. Activities include, new partnership development, teachers' training in industry and other initiatives.</p>	<p>SHS modeling record (Report from schools)</p>		<p>DARSSTHS: (1) Teachers' immersion for UNIQUESE restaurant was conducted in July, 2014. (2) Coffee brewing seminar by UCC was conducted for SHS students in August, 2014. (3) Equipment for providing lessons enabling students to obtain NCII in Automotive Servicing worth 1,317,440PHP was procured.</p>	<p>DARSSTHS:</p>	<p>DARSSTHS: The principal and teachers in charge of industry partnership development of the school, along with the JPT, visited the office of Councilor Medalla of Quezon City to discuss the draft ordinance for establishing the public SHS internship policy in Quezon City. Based on the experiences of SHS early implementation during the last 3 school years, the school provided suggestions and insights as to how the partner companies should be reciprocated for their cooperation with work immersion.</p>	<p>DARSSTHS: (1)Implementing Rules and Regulations for Quezon City Public Senior High School Internship Policy issued, providing tax benefits to companies supporting SHS. (2)English Proficiency Training for SHS Students sponsored by LGU. (3)Signed MOAs with 10 companies including Toyota Cubao and Mesa Filipino Moderne for industry immersion. (4)Enrichment training for students on FBS and Housekeeping. (5)Implemented Office Work Immersion program to improve students' IT skills needed in the workplace. (6)Partnered with TESDA for establishing training center for community at DARSSTHS. (7)Joined SHS promotion activities of the Quezon City Division Office. (8)Principal shared best practices through NEAP training and paper presentation at 5th South East Asia Principal Forum (SEASPF) International Conference on Best Practices.</p>	<p>Four schools feel that it becomes easier for them to establish partnership with industries. Teachers started to visit companies to find new partners. Schools also utilized occasions such as Brigada Eskwela, graduation ceremony, and Job Fair, and conduct promotion activities for SHS through media and industry parks.</p>
				<p>RESPSCI: (1) Teachers' immersion for UNIQUESE restaurant was conducted in July, 2014. (2) Coffee brewing seminar by UCC was conducted for SHS students in August, 2014. (3) Equipment for Food and Beverage Services, Bartending and Housekeeping lessons worth 806,780 PHP were procured.</p>	<p>RESPSCI:</p>	<p>RESPSCI: Plans to set up Café RESPSCI. Encouraged the students to identify their preferred OJT opportunities so that they will be more motivated and be more responsible for the opportunity given. Signed the MOA with BOSO-BOSO Highland Resort, and Femar Hotel and Convention Center Convention Center.</p>	<p>RESPSCI: (1)Teachers visited Magsaysay Center for Hospitality and Culinary Arts (MIHCA), and MFI Institute. (2)Provision of additional training and equipment to some graduates through TESDA's Special Training for Employment Program. (3)Opening of Café RESPSCI. (4)8th Go Negosyo Filipina Entrepreneurship Summit (5) SHS Focal Person assisted in Pasig City DO SHS Planning.</p>	
				<p>SPRCNHS: (1) Memorandum of Agreement of students' OJT placement with Toyota Motors Philippines Corp. was signed in April, 2014. (2) Principals and Industrial Linkage Coordinator made the presentation in the HR managers' meeting in People's Technology Complex in Cavite which led to employment of the graduates. (3) Teachers' industrial immersion (Babcock-Hitachi Philippines, Bauan, Batangas) for welding teachers was organized in July, 2014. (4) Monitoring of 8 OJT students in Proboard Tech was conducted in Sep. 2014.</p>	<p>SPRCNHS: (1) Meetings conducted for partnership development with *Phil Metal, *MM Steel, *Career Power, *Metal Industries Association of the Philippines, *Delos Santos Foundation, * Phil-German Chamber of Commerce.(2) Attended Job Fair in Binan City (3) Monitoring of OJT students was done in TMPC in Dec. 2014. (4) SPRCNHS arranged the company visits for the participants of "Training Cum Workshop for School industry Linkage Coordinators" in Nov. 2014. The visits were made to the following 8 companies: VJF Precision Toolings Corp., El Cielito Hotel Sta Rosa, Toyota Motor Philippines Corporation, CLP Metal Industries & Precision Tooling's Company, NST Global Corp., Covenant Community Service Cooperative, Rollmaster Machinery & Industrial Services Corp., and Designs Ligna.</p>	<p>SPRCNHS: Collaborated with "K to 12 Plus" of PCCI and GPCCI. Together with Laguna Provincial Division Office, trying to organize e an Awareness Raising Campaign for the SHS Program targeting the locators of Laguna Techno Park. Organized logo design contest showing appreciation for industry support (Drafting specialization students).</p>	<p>SPRCNHS: (1)Signed MOA with Philippine Die and Mold Association, Inc. (PDMA); and Metalworking Industries Association of the Philippines (MIAP), for students' industry immersion, teachers training, and equipment donation. (2)Exhibited a booth at the PDMEX 2015, showcasing work of Technical Drafting students to entice more industry partners in SHS Program. Also conducted immersion of Metalworking students at PDMEX. (3)Inauguration of School Building, Food Laboratory and Stage donated by Delos Santos Foundation (4)Official launch of SHS Supporter Logo through memorandum from DepEd Laguna SDS. (5)Conduct of Immersion Fair under K to 12 Plus. (6)Conduct of English Skills Training for Food Trades students (7)Senior High School Monitoring for Division of Laguna (8) Coordination with San Pedro City LGU for SHS Implementation</p>	
				<p>STVS: Principal and teachers visited Japan Chamber of Commerce and Industry in Cebu, met with the Zone Administrator of Mactan Economic Zone, gained support from Izakaya Goku, a Japanese Restaurant who offered training for students specializing in Food. Visited Tsuneishi Heavy Industries in March 2014. Trade fair was organized in August 2014 which was attended by school's industry partners and invited guests from Japanese firms in Cebu such as Muramoto, Tamiya and NEC.</p>	<p>STVS: (1) Teachers' industry immersion was made to Saver's Home Depot and Jan-Ar Construction. (2) Bosch Company conducted seminar on Safety and proper use of power tools. (3) Belmont Hardware (JICA Project's one of the supplier) donated air duct. (4) Conducted teleconferencing with Ichikawa Technical High School NEC Telecom Software Philippines Inc. provided technical advice on communication between the two parties.</p>	<p>STVS: (1) Organized the Awareness Raising Campaign for the locators of MEZ in June 26. (2) Conducted the teleconferences with Ichikawa Technical High School twice (June 25 and October 7) with technical support from NEC Telecom Software Philippines. Inc. (3) Ichikawa Technical High School students visited STVS during their study tour to Cebu (4) Metaphil conducted a 15-day training for the teachers so that they could obtain FCAW qualification, they could understand the needs of Metaphil. The training was conducted at the local TESDA Training Center.</p>	<p>STVS: (1) Inauguration of Aboitiz-funded 3-story building. (2) Shared SHS best practices at Region VII SHS Workshops.</p>	

Narrative Summary	Objectively Verifiable Indicators	Means of Verification	Important Assumpti	Achievement (Dec.2014)	Achievement (Mar. 2015)	Achievement (Oct. 2015)	Achievement (Mar. 2016)	Achievement (Nov. 2016)
3. SHS modeling TVHSS, other than the four (4) Pilot Schools, are informed of piloted activities/best practices for possible replication/adaptation/adoption.	3-1.The number of schools attended the good practices sharing workshop			3-1. Tech-Voc Unit presented the findings from "Training in Japan in "Training Cum Workshop for School industry Linkage Coordinators" in Nov. 2014 attended by representatives of 20 schools including 9 model schools.	3-1. DARSSTHS, RESPSCI, SPRCNHS, and STVS presented their modeling experience in Annual Workshop Conference attended by 280 STVEP schools' principals in Feb. 13. 10 SHS model schools are included in 280 STVEP schools.	3-1. The Pilot Schools have not obtained the opportunity to share their learning and experiences to the Model Schools.	3-1. Benchmarking by Model Schools at Pilot Schools allowed for sharing of SHS best practices.	DepEd and the JICA Project Team organized " Industry Summit " on Nov. 7-9, 2016. All Model Schools attended and recipients of Competitive Grants shared their experience with representatives of 255 STVEP schools and 11 DepEd Regional Offices together with Pilot Schools.
	3-2. The number of model school which benchmarked the pilot schools			3-2. DARSSTHS and SPRCNHS had visitors for benchmarking.	Though many schools and DepEd Regional and Division Offices visited the pilot schools as described in "Overall Goal", benchmarking by the model schools is not recorded.	3-2 The Model Schools have not visited any Pilot School so far to see and learn the piloting endeavors in regard with SHS program.	3-2 Model Schools (3) benchmarked best practices of Pilot Schools in Luzon, while 2 agriculture and 2 fisheries Model Schools benchmarked each other's SHS Program.	
	3-3. Number of activities conducted in pilot schools and model schools.						3-3 The Project awarded competitive grants to 6 Model Schools. A total sum of about 6 million pesos was awarded on projects proposed by the said 6 schools	3-3 The facilities and equipment procured under the Project are all installed as planned. Since the CGP activities of 6 Model Schools are still at their inception phase, the Project needs to continue with monitoring of their development.

添付資料2

業務フローチャート

年	2014年										2015年				
契約年次	第1年次														
学期	2学期			1学期						2学期					
月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4
作業フロー	国内作業	0-1 業務計画書	0-2 ワーク・プラン案												
	プロジェクト全体に関する活動	0-3 ワーク・プランの作成・協					0-4 ベースライン指標の設定	0-4 ベースライン指標のモニタ		0-8 本邦研修				0-4 ベースライン指標のモニタ	
		0-5 広報活動													
							0-6 JCC開催支援	0-7 進捗報告書		0-9 JICA運営指導					0-7 進捗報告書
成果1	1-1 産業界とのギャップ把握人	1-2 産業界の関係者への聞き取り調査実施													
	1-3 SIPの計画策定	1-4 雇用企業候補への卒業生の就職支援													
成果2	2-1 ILCの任命	2-2 産業界/企業と学校間の覚書(MOA)締結促進による連携の仕組み構築 2-3 校長、教員、ILC等の能力向上にかかる活動 2-4 産業界と学校間で合意した活動の実施 2-5 MOA実施のモニタリングと評価の実施												2-6 供与機材の調達	
成果3		3-1 パイロット校での実践経験や成功事例を他のTVHSに適用/実施するための計画策定						3-1 パイロット校での実践経験や成功事例を他のTVHSに適用/実施するための計画策定							
JCC/JICA調査など						JCC			JICA運営指導調査						

年	2015年						2016年					
契約年次	第2年次											
学期	1学期						2学期					
月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4
国内作業	0-1 業務計画書の作成・提出	0-2 ワークプラン案作成										
プロジェクト全体に関する活動	0-3 ワークプラン作成・協議					0-8 本邦研修の実施	0-5 広報活動					
	0-6 JCC開催					0-4 ベースライン指標のモニタリング	0-7 業務進捗報告書			0-4 ベースライン指標のモニタリング	0-7 業務進捗	
成果1	1-1 産業界とのギャップを把握するための人員の任命	1-2 産業界の関係者への聞き取り調査実施										
	1-3 SIPの計画策定	1-4 雇用企業候補への卒業生の就職支援										
成果2	2-1 ILCの任命	2-2 産業界/企業と学校間の覚書(MOA)締結促進による連携の仕組み構築 2-3 校長、教員、ILC等の能力向上にかかる活動 2-4 産業界と学校間で合意した活動の実施 2-5 MOA実施のモニタリングと評価の実施										
成果3	3-3 選考されたTVHSへの競争的助成金の配賦								3-2 成功事例や実践経験を波及させるための会議の開催			
									3-4 助成金活用のモニタリングと評価			
JCC/JICA調査など	JCC											

年	2016年						2017年										
契約年次	第3年次																
学期	1学期						2学期										
月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6			
作業フロー	国内作業	0-1 業務計画書の作成・提出		0-2 ワーク・プラン案													
	プロジェクト全体に	0-3 ワーク・プランの協議・提出		0-10 エンドライン調査の実施		0-5 広報活動						0-11 終了時評価への協力		0-13 完了報告書			
	成果1	3-1 産業界とのギャップ把握人員の任		1-2 産業界の関係者への聞き取り調査実施						1-3 SIPの計画策定		1-4 雇用企業候補への卒業生の就職支援					
	成果2	2-1 ILCの任命		2-2 産業界/企業と学校間の覚書(MOA)締結促進による連携の仕組み構築 2-3 校長、教員、ILC等の能力向上にかかる活動 2-4 産業界と学校間で合意した活動の実施 2-5 MOA実施のモニタリングと評価の実施													
	成果3	3-1 パイロット校での実践経験や成功事例を他のTVHSに適用/実施するための計画策定				3-2 成功事例や実践経験を波及させるための		3-4 助成金活用のモニタリングと評価									
JCC/JICA調査など	JCC		JICA終了時評														

添付資料3

詳細活動計画

		プロジェクト年次 年 月 フィリピンの学期		第1年次															
				2014								2015							
				2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	
				2013/14				2014/15前期				2014/15年後期							
国内作業	[0-1]	計画	業務計画書の作成・提出	■															
	実績	業務計画書の作成・提出	■																
	[0-2]	計画	ワークプラン案作成	■															
	実績	ワークプラン案作成	■																
プロジェクト全体	[0-3]	計画	ワークプラン作成・協議		■	■	■												
	実績	ワークプラン作成・協議		■	■														
	[0-4]	計画	ベースライン指標の設定とモニタリング実施		■	■	■												
	実績	ベースライン指標の設定とモニタリング実施		■	■		■											■	
	[0-5]	計画	広報活動																
	実績	広報活動		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
	[0-6]	計画	合同調整委員会(JCC)開催																
	実績	合同調整委員会(JCC)開催																■	
	[0-7]	計画	業務進捗報告書の作成																
	実績	業務進捗報告書の作成																■	
	[0-8]	計画	本邦研修の実施																
	実績	本邦研修の実施																■	
	[0-9]	計画	運営指導調査への協力																
実績	運営指導調査への協力																■		
[0-10]	計画	エンドライン調査の実施																	
実績	エンドライン調査の実施																■		
[0-11]	計画	終了時評価調査への協力																	
実績	終了時評価調査への協力																■		
[0-12]	計画	教育省への政策・制度改善への提言																	
実績	教育省への政策・制度改善への提言																■		
[0-13]	計画	プロジェクト業務完了報告書の作成																	
実績	プロジェクト業務完了報告書の作成																■		
第1年次	成果1	[1-1]	計画	産業界とのギャップを把握するための人員の任命															
		実績	産業界とのギャップを把握するための人員の任命		■														
		[1-2]	計画	産業界の関係者への聞き取り調査実施															
		実績	産業界の関係者への聞き取り調査実施		■	■													
	[1-3]	計画	学校改善計画(SIP)の計画・活動によるギャップへの対応																
	実績	学校改善計画(SIP)の計画・活動によるギャップへの対応		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
	[1-4]	計画	企業への卒業生の就職支援																
	実績	企業への卒業生の就職支援																■	
	成果2	[1-5]	計画	産業連携コーディネーター(ILC)の任命															
		実績	産業連携コーディネーター(ILC)の任命		■														
		[1-6]	計画	産業界/企業と学校間の連携の仕組み構築															
		実績	産業界/企業と学校間の連携の仕組み構築		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
		[1-7]	計画	校長、教員、ILC等の能力向上にかかる活動															
実績		校長、教員、ILC等の能力向上にかかる活動																	
[1-8]	計画	パイロット校が所有する機材の適切さを調査																	
実績	パイロット校が所有する機材の適切さを調査		■	■															
[1-9]	計画	産業界と学校間で合意した活動の実施																	
実績	産業界と学校間で合意した活動の実施																		
[1-10]	計画	MOA実施のモニタリングと評価の実施																	
実績	MOA実施のモニタリングと評価の実施																■		
成果3	[1-11]	計画	パイロット校での実践経験等を他校で実施するための計画策定																
	実績	パイロット校での実践経験等を他校で実施するための計画策定																	
	[1-12]	計画	パイロット校での実践経験等を波及させるためのWS開催																
実績	パイロット校での実践経験等を波及させるための(教育省)WS出席																■		
[1-13]	計画	競争的助成金事業の準備																	
実績	競争的助成金事業の準備																■		

			プロジェクト年次 年 月 フィリピンの学期	第2年次																			
				2015						2016													
				5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4								
				2015/16前期						2015/16年後期													
国内作業	[0-1]	計画 実績	業務計画書の作成・提出 業務計画書の作成・提出	■ ■																			
	[0-2]	計画 実績	ワークプラン案作成 ワークプラン案作成	■ ■																			
プロジェクト 全体	[0-3]	計画 実績	ワークプラン作成・協議 ワークプラン作成・協議	■ ■																			
	[0-4]	計画 実績	ベースライン指標の設定とモニタリング実施 ベースライン指標の設定とモニタリング実施								■ ■										■ ■		
	[0-5]	計画 実績	広報活動 広報活動																				
	[0-6]	計画 実績	合同調整委員会(JCC)開催 合同調整委員会(JCC)開催																			■ ■	
	[0-7]	計画 実績	業務進捗報告書の作成 業務進捗報告書の作成																			■ ■	
	[0-8]	計画 実績	本邦研修の実施 本邦研修の実施																				■ ■
	[0-9]	計画 実績	運営指導調査への協力 運営指導調査への協力																				
	[0-10]	計画 実績	エンドライン調査の実施 エンドライン調査の実施																				
	[0-11]	計画 実績	終了時評価調査への協力 終了時評価調査への協力																				
	[0-12]	計画 実績	教育省への政策・制度改善への提言 教育省への政策・制度改善への提言																				■ ■
	[0-13]	計画 実績	プロジェクト業務完了報告書の作成 プロジェクト業務完了報告書の作成																				
	第2 年次	成果 1	[2-1]	計画 実績	産業界とのギャップを把握するための人員の任命 産業界とのギャップを把握するための人員の任命	■ ■																	
			[2-2]	計画 実績	産業界の関係者への聞き取り調査実施 産業界の関係者への聞き取り調査実施																		
[2-3]			計画 実績	学校改善計画(SIP)の計画・活動によるギャップへの対応 学校改善計画(SIP)の計画・活動によるギャップへの対応																			
[2-4]			計画 実績	企業への卒業生の就職支援 企業への卒業生の就職支援																			
成果 2		[2-5]	計画 実績	産業連携コーディネーター(ILC)の任命 産業連携コーディネーター(ILC)の任命	■ ■																		
		[2-6]	計画 実績	産業界/企業と学校間のMOA締結促進による連携の仕組み構築 産業界/企業と学校間のMOA締結促進による連携の仕組み構築																			
		[2-7]	計画 実績	校長、教員、ILC等の能力向上にかかる活動 校長、教員、ILC等の能力向上にかかる活動																			
		[2-8]	計画 実績	産業界と学校間で合意した活動の実施 産業界と学校間で合意した活動の実施																			
		[2-9]	計画 実績	MOA実施のモニタリングと評価の実施 MOA実施のモニタリングと評価の実施																			■ ■
成果 3		[2-10]	計画 実績	競争的助成金事業の提供先の確定 競争的助成金事業の提供先の確定	■ ■																		
		[2-11]	計画 実績	助成金活用のモニタリングと評価の実施 助成金活用のモニタリングと評価の実施																			■ ■
		[2-12]	計画 実績	パイロット校での実践経験等を他校で実施するための計画策定 パイロット校での実践経験等を他校で実施するための計画策定																			■ ■
		[2-13]	計画 実績	成功事例や実践経験を波及させるための会議(教育省)に参加 成功事例や実践経験を波及させるための会議(教育省)に参加																			■ ■

			プロジェクト年次 年 月 フィリピンの学期	第3年次																			
				2016						2017													
				5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6						
				2016/17前期						2016/17年後期													
国内作業	[0-1]	計画 実績	業務計画書の作成・提出 業務計画書の作成・提出																				
	[0-2]	計画 実績	ワークプラン案作成 ワークプラン案作成																				
プロジェクト全体	[0-3]	計画 実績	ワークプラン作成・協議 ワークプラン作成・協議																				
	[0-4]	計画 実績	ベースライン指標の設定とモニタリング実施 ベースライン指標の設定とモニタリング実施																				
	[0-5]	計画 実績	広報活動 広報活動																				
	[0-6]	計画 実績	合同調整委員会 (JCC) 開催 合同調整委員会 (JCC) 開催																				
	[0-7]	計画 実績	業務進捗報告書の作成 業務進捗報告書の作成																				
	[0-8]	計画 実績	本邦研修の実施 本邦研修の実施																				
	[0-9]	計画 実績	運営指導調査への協力 運営指導調査への協力																				
	[0-10]	計画 実績	エンドライン調査の実施 エンドライン調査の実施																				
	[0-11]	計画 実績	終了時評価調査への協力 終了時評価調査への協力																				
	[0-12]	計画 実績	教育省への政策・制度改善への提言 教育省への政策・制度改善への提言																				
	[0-13]	計画 実績	プロジェクト業務完了報告書の作成 プロジェクト業務完了報告書の作成																				
	第3年次	成果1	[3-1]	計画 実績	産業界とのギャップを把握するための人員の任命 産業界とのギャップを把握するための人員の任命																		
			[3-2]	計画 実績	産業界の関係者への聞き取り調査実施 産業界の関係者への聞き取り調査実施																		
[3-3]			計画 実績	学校改善計画 (SIP) の計画・活動によるギャップへの対応 学校改善計画 (SIP) の計画・活動によるギャップへの対応																			
[3-4]			計画 実績	企業への卒業生の就職支援 企業への卒業生の就職支援																			
成果2		[3-5]	計画 実績	産業連携コーディネーター (ILC) の任命 産業連携コーディネーター (ILC) の任命																			
		[3-6]	計画 実績	産業界/企業と学校間のMOA締結促進による連携の仕組み構築 産業界/企業と学校間のMOA締結促進による連携の仕組み構築																			
		[3-7]	計画 実績	校長、教員、ILC等の能力向上にかかる活動 校長、教員、ILC等の能力向上にかかる活動																			
		[3-8]	計画 実績	産業界と学校間で合意した活動の実施 産業界と学校間で合意した活動の実施																			
		[3-9]	計画 実績	MOA実施のモニタリングと評価の実施 MOA実施のモニタリングと評価の実施																			
成果3		[3-10]	計画 実績	競争的助成金事業の提供先の確定 競争的助成金事業の提供先の確定																			
		[3-11]	計画 実績	助成金活用のモニタリングと評価の実施 助成金活用のモニタリングと評価の実施																			
		[3-12]	計画 実績	パイロット校での実践経験等を他校で実施するための計画策定 パイロット校での実践経験等を他校で実施するための計画策定																			
		[3-13]	計画 実績	成功事例や実践経験を波及させるためのワークショップを開催 成功事例や実践経験を波及させるためのワークショップを開催																			

添付資料4

専門家派遣実績（要員計画）

1. 現地業務

氏名 (担当業務)	格付		渡航 回数	2014年												2015年				日数 合計	人月 合計
				2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4			
石井徹弥 (総括/技術職業訓練)	2	計画	5 (1回は渡航自社負担)	■ (41)		■ (45)		■ (19)		■ (13)		■ (40)		■ (46)				204	6.80		
		実績	5	24 (41)	5	5/26-6/25, 6/27-7/10 (45)	8/19-9/6 (19)	9/29-10/14 (13)	4	(40)	13	23 (46)				9	204	6.80			
石田宗俊 (産学連携1)	3	計画	4 (1回は渡航自社負担)	■ (41)		■ (39)		■ (24)		■ (24)		■ (25)				153	5.10				
		実績	4	24 (41)	5	7/1-8/8 (39)	8/27-9/19 (24)	19 (24)	12	19	(25)	12					153	5.10			
鈴木サヤカ (産学連携2)	3	計画	4	■ (40)		■ (45)		■ (21)		■ (26)				132	4.40						
		実績	3	24 (40)	4	22 (45)	5	23	(21)	13	自社3/3-14 契約内3/15-4/9(26)				132	4.40					
現地業務小計												計画	489	16.30							
												実績	489	16.30							

2. 国内業務

石井徹弥 (総括/技術職業訓練)	2	計画	1	□															4	0.20
		実績	1	■															4	0.20
国内業務小計																	計画	4	0.2	
																	実績	4	0.2	

凡例: ■ 業務従事实績 ■ 業務従事計画 ▭ 自社負担

合計	計画	16.50
	実績	16.50

報告書等	△ 業務計画書	△ ワークプラン	△ 進捗報告書(中間)	△ 進捗報告書
------	------------	-------------	----------------	------------

1. 現地業務

氏名 (担当業務)	格付	渡航 回数	2015年										2016年				日数 合計	人月 合計
			5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4				
石井徹弥 (総括/技術職業訓練)	2	計画			(30)	(20)	(15)	(30)					(25)	(30)	150	5.00		
		実績	8	28 (4) 1	7(29)4	24 (7)	29	1(10)10	15(28)12			2/2-3/2 (30), 3/5-18, 22-31(24)	4/1-15 (15)	147	4.90			
石田宗俊 (産学連携1)	3	計画		(36)			(20)					(19)	(15)	90	3.00			
		実績	3	31 (36) 5			1(26)26					7 (29) 4	3(11)13	102	3.40			
鈴木サヤカ (産学連携2)	3	計画			(14)				(30)				(28)	72	2.40			
		実績	2						10(30)9			2(12)13	28(4+14)14	60	2.00			
米田勇太 (学校助成金監理)	4	計画		(36)					(18)				(18)	72	2.40			
		実績	3	31 (36) 5					8(18)25				24(21)15	75	2.50			
現地業務小計												計画 実績	384 384	12.80 12.80				

2. 国内業務

石井徹弥 (総括/技術職業訓練)	2	計画															
		実績															
国内業務小計												計画 実績					

凡例: 業務従事实績 自社負担

合計	計画	12.80
	実績	12.80

1. 現地業務

氏名 (担当業務)	格付	渡航 回数	2016年												2017年						日数 合計	人月 合計
			6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6							
石井徹弥 (総括/技術職業訓練)	2	計画	6 *1回は 自社負担	(30)	(30)			(30)					(15)		(30)			135	4.50			
		実績	7 *2回は 自社負担	2 (29) 30	21(30)19		27(16)12	5 (14) 18						8 (21)28	9 (21)	29	1 (9+1) 10	140	4.67			
石田宗俊 (産学連携1)	3	計画	4		(30)		(15)	(30)							(15)	6/10は自社負担	90	3.00				
		実績	4		7(29)4		12(18)29	10(32)10							19 (11)	29		90	3.00			
鈴木サヤカ (産学連携2)	3	計画	4	(30)					(15)		(15)		(30)				90	3.00				
		実績	4	13 (26) 8						1 (26) 26		22 (13) 3		10 (20)	29		85	2.83				
												現地業務小計			計画	315	10.50					
															実績	315	10.50					

2. 国内業務

石井徹弥 (総括/技術職業訓練)	2	計画															6	0.30
		実績												4/4-7	5/2	5/30		6
鈴木サヤカ (産学連携2)	3	計画															20	1.00
		実績														11/29, 30	20	1.00
												国内業務小計			計画	26	1.30	
															実績	26	1.30	

凡例:  業務従事实績  計画  自社負担

合計	計画	11.80
	実績	11.80

報告書等		△				△						△
		ワークプラン				進捗報告書(中間)						完了報告書

添付資料5

研修員受け入れ実績

添付資料 5 研修員受け入れ実績

1. 本邦研修（第 1 年次）

研修タイトル：高等学校における技術教育

研修期間：2016 年 10 月 20 日～31 日

No	Name	Post
1	Ms. Cristeta Maritana ARCOS	Education Program Specialist II, Curriculum Division, Bureau of Secondary Education, DepEd
2	Ms. Maria Cecilia Obligar NAYVE	Senior Education Program Specialist, Technical Vocational Unit, Bureau of Secondary Education, DepEd
3	Ms. Edna Madayag BULAN	Education Program Specialist II, Technical Vocational Unit, Bureau of Secondary Education, DepEd
4	Mr. Eladio Hermida ESCOLANO	Principal IV, Don Alejandro Roces Sr. Science-Technology High School (Quezon City, Manila)
5	Ms. Gina Labor-OBIERNA	Head Teacher III/Industry Linkage Coordinator, Don Alejandro Roces Sr. Science-Technology High School (Quezon City, Manila)
6	Mr. Victorio Navarro MEDRANO	Principal IV, San Pedro Relocation Center National High School (San Pedro City, Laguna)
7	Ms. Alenie Baja DUALAN	Teacher I/Industry Linkage Coordinator, San Pedro Relocation Center National High School (San Pedro City, Laguna)
8	Ms. Marites Paiton ROMEN	Head Teacher 1 Rizal Experimental Station and Pilot School of Cottage Industries (Pasig City, Metro Manila)
9	Mr. Michael Vallesterro ALIMARIO	Teacher I/Industry Linkage Coordinator, Rizal Experimental Station and Pilot School of Cottage Industries (Pasig City, Metro Manila)
10	Mr. Raymond Ceniza ESPINA	Teacher III/Industry Linkage Coordinator, Subangdaku Technical Vocational School (Mandaue City, Cebu)
11	Mr. Randy Carubio MANGUBAT	Teacher I, Subangdaku Technical Vocational School (Mandaue City, Cebu)

2. 本邦研修（第2年次）

研修タイトル：高等学校における技術教育

研修期間：2015年10月12日～24日

No	Name	Post
1	Mr. James Julius Matias LIQUIGAN	Education Program Specialist II, Bureau of Secondary Education/Curriculum Development Division, DepEd
2	Ms. Christie Legada ALVAREZ	Education Program Supervisor, Curriculum and Learning Management Division, DepEd Region V
3	Mr. William Miguel CALABAZARON	Principal II, Bukig National Agricultural and Technical School
4	Mr. Renato Pelotin LOZADA	Teacher III, Bukig National Agricultural and Technical School
5	Mr. Gerardo Coloma BATALLA	Vocational School Administrator II, Bataan School of Fisheries
6	Mr. Joel Apan CAYABYAB	Teacher III, Bataan School of Fisheries
7	Mr. Dante Bana-ay SUMAGANG	Principal II, Iligan City National School of Fisheries
8	Mr. Valentino Manolong NAVARRETE	Master Teacher II, Iligan City National School of Fisheries
9	Mr. Anthony Yurong PACAMALAN	Principal II, Opol National Secondary Technical School
10	Ms. Robelyn Robles MAQUIDATO	Teacher 1 Opol National Secondary Technical School
11	Mr. Richard Semblante TALAID	School Head Rogongon Agricultural High School
12	Ms. Lilani Nalus CASAS	Teacher 1 Rogongon Agricultural High School
13	Mr. Mario Sorote GREGORIO	Principal II Tagum National Trade School
14	Mr. Felipe Delusa EPE	Head Teacher III, Tagum National Trade School

3. 本邦研修（第3年次）

研修タイトル：技術職業高校の質向上のための人材育成研修

研修期間：2016年10月16日～29日

No	Name	Post
1	Ms. Jocelyn Dela Rosa ANDAYA	Director IV, Bureau of Curriculum Development, DepEd
2	Mr. Rogelio Odollo DOÑES	Supervising Education Program Specialist, Curriculum Standard Development Division, Bureau of Curriculum Development, DepEd
3	Mr. Renato Jr. Anonuevo SAN JUAN	Supervising Education Program Specialist, Teaching and Learning Division, Bureau of Learning Delivery, DepEd
4	Mr. Enrico Reyes MENDOZA	Project Development Officer III, External Partnership Service, Strategic Management, DepEd
5	Dr. Eusibio Gludove AGUANTA	Education Program Supervisor, Education Support Services Division, Regional Office X
6	Mr. Alim Munjilul Jawani MAGUINDANAO	Project Development Officer IV, Education Support Services Division, Regional Office XI
7	Dr. Ligaya Alvarina REGIS	Chief Education Supervisor, School Governance & Operations Division, Division of Quezon City
8	Ms. Ligaya Gutierrez INSIGNE	Chief Education Supervisor, Curriculum Implementation Division / Officer-in-Charge, School Governance & Operations Division
9	Ms. Emelynne Udarbe AGCAOILI	Education Program Supervisor, Division of Cagayan
10	Dr. Darwin Santos TALAMBAYAN	Officer-in-Charge, Chief Education Supervisor, School Governance & Operations Division, Division of Laguna
11	Dr. Adeline Curro LUAREZ	Chief Education Supervisor, School Governance & Operation Division, Division of Mandaue City
12	Dr. Juliet Sebuja TIMBANG	Education Program Supervisor I / Senior High School Division Coordinator, Curriculum Implementation Division, Division of Iligan City
13	Mr. Rudy Oguis MAGDUGO	Chief Education Supervisor, School Governance & Operations Division, Division of Misamis Oriental
14	Dr. Josefina Bagares PALACA	Chief Education Supervisor, School Governance & Operations Division, Division of Tagum City

添付資料6

供与機材・携行機材実績

Handed over to: DepEd

Item No.	Item/Description	Qty.	Unit	Unit Price PHP	Total Amount PHP	Date of Purchase
1.	Lenovo LED Monitor 19.5 W Model: LI2031 ewC	1	unit	39,450.00	39,450.00	Mar. 31, 2014
2.	Lenovo CPU H530s	1	unit			
3.	Konica Minolta Photocopier Black Konica Minolta bizhub 363 A1UEO41105578	1	unit	326,100.00	326,100.00	Mar. 26, 2014
4.	Infocus Projector Infocus IN122	1	unit	20,500.00	20,500.00	Mar. 7, 2014
TOTAL					386,050.00	

Handed over to: DARSSTSHS

1. To improve tech-voc education

Item No.	Item/Description	Qty.	Unit	Unit Price PHP	Total Amount PHP	Delivery Date	Date of Purchase
1.	Gasoline Engine, Honda B20B Inline 4 cylinder, Complete Set, with radiator and pump	1	unit	61,800.00	61,800.00	13-Nov-2014	13-Nov-2014
2.	Diesel Engine, Mitsubishi 4D56 Inline 4 cylinder, with steering system, brake system, wiring harness, propeller and accessories (radiator, filter, aircon, stereo)	1	unit	97,000.00	97,000.00	13-Nov-2014	13-Nov-2014
3.	Differential and front axle Rear wheel drive, Toyota HiAce and Toyota LiteAce	2	sets	16,500.00	33,000.00	13-Nov-2014	13-Nov-2014
4.	Differential and front axle Four wheel drive, Mitsubishi Spacegear and Mitsubishi Pajero	2	sets	18,000.00	36,000.00	13-Nov-2014	13-Nov-2014
5.	Diesel fuel injector assembly Common rail type Toyota HiAce	2	pcs	10,200.00	20,400.00	13-Nov-2014	13-Nov-2014
6.	Diesel fuel injector assembly Mechanical type Mitsubishi Pajero	2	pcs	1,500.00	3,000.00	13-Nov-2014	13-Nov-2014
7.	Motorcycle, Automatic transmission, Four-stroke Suzuki Raider J Pro, FJ110 CMD, with tools and accessories	1	unit	60,900.00	60,900.00	21-Nov-2014	21-Nov-2014
8.	Motorcycle, Manual transmission, Four-stroke Kawasaki CT150, with tools and accessories	1	unit	51,500.00	51,500.00	21-Nov-2014	21-Nov-2014
9.	Hydraulic motorcycle jack, Kayaba 1700 lb rated capacity	1	unit	39,800.00	39,800.00	12-Nov-2014	12-Dec-2014
10.	Hydraulic floor jack, Kayaba 3.5T rated capacity	1	unit	8,890.00	8,890.00	11-Nov-2014	12-Dec-2014
11.	Electric arc welding machine Single phase, 300 Amps rated capacity Yamato	1	unit	7,800.00	7,800.00	11-Nov-2014	12-Dec-2014
12.	Oxy-acetylene welding and cutting kit, Harris	1	set	12,500.00	12,500.00	11-Nov-2014	12-Dec-2014
13.	Hydraulic press, Kayaba Footpress, 20T rated capacity	1	unit	49,800.00	49,800.00	12-Nov-2014	12-Dec-2014
14.	Engine stand, Kayaba 2000 lb. rated capacity	2	units	9,980.00	19,960.00	12-Nov-2014	12-Dec-2014
15.	Air Compressor, Vespa 10 HP, 230 VAC	1	unit	116,000.00	116,000.00	11-Nov-2014	12-Dec-2014
16.	Electric Pressure Washer, Kawasaki Cold water, 1500 PSI	1	unit	6,850.00	6,850.00	11-Nov-2014	12-Dec-2014
17.	Industrial Vacuum Cleaner, Ridgid 16 gallon tank, wet and dry	1	unit	12,900.00	12,900.00	11-Nov-2014	12-Dec-2014
18.	Wheel Balancer, Bright Dynamic, Brake Type: Automatic (electronic), Max. rim width 10 in.– 24 in., Max. tire diameter: 47" / 1,194 mm, Max tire weight: 145 pounds (65 kg), Inclusive of air impact wrench, wheel weight pliers, 15 m polyurethane hose.	1	unit	65,000.00	65,000.00	28-Nov-2014	28-Nov-2014
19.	Wheel Aligner, 3Excel CCD technology, Windows based software, Measuring cabinet: 115/230V, 50/60 Hz, 1-phase, 24" wheel clamping range. Inclusive of computer and printer, turntable, and tool caddy	1	set	198,000.00	198,000.00	28-Nov-2014	28-Nov-2014

20.	2 Post Car Lift, Tojust Lifting Capacity: 10,000 lbs. / 4546 kg., Style: Clear Floor Motor: 220 VAC 60Hz. 1Ph, Inclusive of installation, 4 sets steel table, filter cap wrench, mechanical creeper and manual waste oil drain	1	unit	110,000.00	110,000.00	28-Nov-2014	28-Nov-2014
21.	Wheel balancer for motorcycle Floor Type, Manual	1	set	8,830.00	8,830.00	21-Nov-2014	28-Nov-2014
22.	Shop Apron, Denim	25	pcs	120.00	3,000.00	21-Nov-2014	26-Nov-2014
23.	Safety Goggles, Blue Eagle NP105 Anti-fog, complies with ANSI Z87.1 standard	25	pcs	160.00	4,000.00	21-Nov-2014	26-Nov-2014
24.	Work Gloves	25	pairs	75.00	1,875.00	21-Nov-2014	26-Nov-2014
25.	Box wrench set, 6-22mm, SK Tool	4	sets	1,450.00	5,800.00	8-Nov-2014	12-Dec-2014
26.	Socket wrench set, SK Tool 1/2" drive, 10-32mm	4	sets	4,850.00	19,400.00	8-Nov-2014	12-Dec-2014
27.	Pliers set, Stanley, 6" and 8" Slip Joint Pliers, 6" Diagonal Cutting Pliers, 8" Linesman Pliers, 8" Long Nose Pliers, 10" Groove Joint Pliers	4	sets	1,655.00	6,620.00	8-Nov-2014	12-Dec-2014
28.	Screw driver, Stanley, 8pcs/set	4	sets	605.00	2,420.00	8-Nov-2014	12-Dec-2014
29.	Wire stripper, 1-1/10", Stanley	4	pcs	280.00	1,120.00	8-Nov-2014	12-Dec-2014
30.	Stanley mechanic's hammer, 16 oz., Stanley	4	pcs	280.00	1,120.00	8-Nov-2014	12-Dec-2014
31.	Torque wrench, 10-150 ft/lb, SK Tool	4	pcs	4,850.00	19,400.00	8-Nov-2014	12-Dec-2014
32.	Open end wrench, 6mm-32mm, SK Tool	2	pcs	2,650.00	5,300.00	8-Nov-2014	12-Dec-2014
33.	Carburetor nozzle cleaner, Kinki	2	sets	350.00	700.00	8-Nov-2014	12-Dec-2014
34.	Air Impact wrench, Ingersoll-Rand 250-Feet lb torque, 1/2" drive	2	pcs	8,850.00	17,700.00	8-Nov-2014	12-Dec-2014
35.	Impact sockets, 10-27mm, 1/2" drive, SK Tool	2	sets	4,980.00	9,960.00	8-Nov-2014	12-Dec-2014
36.	Industrial soldering gun, Weller Power output: 140/100 watts	4	units	2,850.00	11,400.00	8-Nov-2014	12-Dec-2014
37.	Feeler gauge, Kastar	4	sets	280.00	1,120.00	8-Nov-2014	12-Dec-2014
38.	Battery tester, Digital, 100A, Milton	4	units	3,850.00	15,400.00	8-Nov-2014	12-Dec-2014
39.	Hydrometer, 150mm, Asahi	4	units	480.00	1,920.00	17-Nov-2014	12-Dec-2014
40.	Dial gauge, Mitutoyo 1" stroke dial indicator, with magnetic stand	4	sets	5,600.00	22,400.00	8-Nov-2014	12-Dec-2014
41.	Dial bore gauge, Mitutoyo Range: 2-6"	2	sets	12,050.00	24,100.00	8-Nov-2014	12-Dec-2014
42.	Micrometer caliper Range: 0-25mm, Graduation: .01mm	4	pcs	2,200.00	8,800.00	8-Nov-2014	12-Dec-2014
43.	Digital vernier caliper, Mitutoyo Range: 0-150mm	4	sets	7,770.00	31,080.00	8-Nov-2014	12-Dec-2014
44.	Multimeter Digital	4	units	2,650.00	10,600.00	8-Nov-2014	12-Dec-2014
45.	Tachometer, contact and non-contact, Lutron	4	units	9,980.00	39,920.00	8-Nov-2014	12-Dec-2014
46.	Oil Pressure Tester for Transmission/Engine, Acron	2	units	4,880.00	9,760.00	8-Nov-2014	12-Dec-2014
47.	Injection nozzle tester, Kinki Pressure gauge test range: 0-60 Mpa, Diesel	1	units	11,880.00	11,880.00	8-Nov-2014	12-Dec-2014
48.	Ignition timing light Heavy duty, for diesel	4	units	7,880.00	31,520.00	17-Nov-2014	12-Dec-2014
TOTAL					1,338,245.00		

2. For the "Job Support Corner"

Item No.	Item/Description	Qty.	Unit	Unit Price PHP	Total Amount PHP	Delivery Date	Date of Purchase
1.	Desktop PC	1	set	48,500.00	48,500.00	6-Apr-2015	16-Apr-2015
2.	PC Desk	1	unit	1,800.00	1,800.00	6-Apr-2015	16-Apr-2015
3.	Bookshelf	1	unit	4,000.00	4,000.00	6-Apr-2015	16-Apr-2015

Handed over to: RESPSCI

1. To improve tech-voc education

Item No.	Item/Description	Qty.	Unit	Unit Price PHP	Total Amount PHP	Delivery Date	Date of Purchase
1.	Projector, Acer P1173 3000 lumens Inclusive of projection screen	2	sets	18,495.00	36,990.00	24-Nov-2014	10-Dec-2014
2.	Blender, Osterizer 4172 1L container size Variable speed control & pulse	3	units	3,690.00	11,070.00	20-Nov-2014	28-Nov-2014
3.	Juicer, Moulinex JU45 Jar capacity: 1L	2	units	4,820.00	9,640.00	20-Nov-2014	28-Nov-2014
4.	Gas Range with gas oven and range hood Elba EK 58X820 range and 2706AP-90 XFM range hood	2	sets	54,770.00	109,540.00	20-Nov-2014	28-Nov-2014
5.	Induction Cooker Imarflex, IDX1000	2	units	2,050.00	4,100.00	20-Nov-2014	28-Nov-2014
6.	Ice Bin 112L capacity, Wanke, CPWK112-6	1	unit	33,000.00	33,000.00	9-Dec-2014	8-Dec-2014
7.	Ice Crusher 120 kg/hr, with adjustable blade, Kato, YN-168	2	units	22,000.00	44,000.00	9-Dec-2014	8-Dec-2014
8.	Refrigerated Cake Showcase, RBT, JLC-90Ne 900mmL x 730mmW x 1240mmH +2 to +10 degrees centigrade	1	unit	105,000.00	105,000.00	9-Dec-2014	8-Dec-2014
9.	Gas Fryer, Kaji, MGF3 Stainless Steel, 21 Liters, 2 Baskets	1	unit	56,000.00	56,000.00	9-Dec-2014	8-Dec-2014
10.	Planetary Mixer, Promix B15 Bowl Capacity: 15 liters	2	units	37,000.00	74,000.00	9-Dec-2014	8-Dec-2014
11.	Food Processor, Minerva QS505A Bowl Capacity: 5 liters	2	units	49,000.00	98,000.00	9-Dec-2014	8-Dec-2014
12.	Work Table, Real WTM-72 Stainless steel 72"x27.5", with bottom shelf	6	units	21,000.00	126,000.00	9-Dec-2014	8-Dec-2014
13.	Housekeeping Cart, Cleenmate AF08159 Mobile	2	units	16,000.00	32,000.00	9-Dec-2014	8-Dec-2014
14.	Bartender Bar Equipment Set, Jiwins brand Includes: Boston Tin, Boston Glass, Cocktail Strainer, Bar Spoon, Corkscrew and bottle opener w/ curved blade, Store N' Pour (1L and 0.5L), Freeflow Pourer, Rubber bar mat	10	sets	2,100.00	21,000.00	9-Dec-2014	8-Dec-2014
15.	Cutlery Set, Athena brand Includes: Table / dinner knife, Table / dinner fork, Table / dinner spoon, Dessert knife, Dessert fork, Soup spoon, Demi tasse spoon, Butter/bread knife, Cake fork	12	sets	1,485.00	17,820.00	9-Dec-2014	8-Dec-2014
16.	Glassware Set, Fortis brand Includes: Water goblet, Red wine glass, Bistro margarita, Brandy glass, Magnesium martini, Champagne flute, Beer mug, Globo goblet, Whiskey rock glass, Mixing glass, High ball, Tall glass, Imperial glass, Tumbler royal, Viva footed glass, Tiara footed glass, Irish coffee glass, Espresso cup, Espresso cup saucer, Cordial goblet, Whiskey shot glass	12	sets	2,385.00	28,620.00	12/9/2014 and Feb. 11, 2015	8-Dec-2014
TOTAL					806,780.00		

2. For the "Job Support Corner"

Item No.	Item/Description	Qty.	Unit	Unit Price PHP	Total Amount PHP	Delivery Date	Date of Purchase
1.	Desktop PC	1	sets	48,500.00	48,500.00	6-Apr-2015	16-Apr-2015
2.	PC Desk	1	unit	1,800.00	1,800.00	6-Apr-2015	16-Apr-2015
3.	Bookshelf	1	unit	4,000.00	4,000.00	6-Apr-2015	16-Apr-2015

Handed over to: SPRCNHS

1. To improve tech-voc education

Item No.	Item/Description	Qty.	Unit	Unit Price PHP	Total Amount PHP	Delivery Date	Date of Purchase
1.	Desktop Computer Intel Core i7 4790 processor, Emaxx 4G memory, Western Digital 1TB hard drive, Palit 2GB video card, Samsung DVD Writer, Acer 18.5" LED monitor, Rapoo N1820 mouse & keyboard, Enviro 500Watts AVR	18	sets	29,500.00	531,000.00	24-Nov-2014	10-Dec-2014
2.	55" LED TV, TCL-55B3700 with Wall Bracket	1	unit	42,000.00	42,000.00	24-Nov-2014	10-Dec-2014
3.	External Hard Drive, Seagate 1 Terabyte capacity 2.5" drive, Notebook-class (portable)	2	pcs	3,685.00	7,370.00	24-Nov-2014	10-Dec-2014
4.	Laptop Computer, Dell Inspiron 3442, Intel Core-i3 4005U, 14" HD LCD, 500GB, NVIDIA 2GB video card, Windows 8.1, McAfee Card, Topload Carry Case	2	units	27,500.00	55,000.00	24-Nov-2014	10-Dec-2014
5.	Wide format printer, HP Designjet T120 Complete set: HP Designjet T120 ePrinter, printhead, introductory ink cartridges, quick reference guide, setup poster, startup software, power cord	1	unit	70,000.00	70,000.00	28-Nov-2014	10-Dec-2014
6.	Projector, Acer P1173 3000 lumens, Inclusive of projection screen	3	sets	18,495.00	55,485.00	24-Nov-2014	10-Dec-2014
7.	Motorcycle, Automatic transmission, Four-stroke Suzuki Raider J Pro, FJ110 CMD	3	units	60,900.00	182,700.00	21-Nov-2014	21-Nov-2014
8.	Motorcycle, Manual transmission, Four-stroke Kawasaki CT150	3	units	51,500.00	154,500.00	21-Nov-2014	21-Nov-2014
9.	Scooter, Single cylinder arrangement Dry, centrifugal automatic clutch type Yamaha Mio Soul i	1	unit	78,900.00	78,900.00	21-Nov-2014	21-Nov-2014
10.	T.I.G (Tungsten Inert Gas) Welding Machine, Asea 200TIG 1-Phase, 230 VAC, 200A rated capacity	2	units	70,180.00	140,360.00	18-Nov-2014	28-Nov-2014
11.	M.I.G (Metal Inert Gas) Welding Machine Korweld KC GMAW-KW250M 1-Phase, 230 VAC, 30 - 250 Amps	2	units	113,410.00	226,820.00	18-Nov-2014	28-Nov-2014
12.	Power Hacksaw, King Rex 14" Blade	4	units	33,000.00	132,000.00	8-Nov-2014	12-Dec-2014
13.	Anvil, Eron 100 lb. (40kg)	6	units	9,980.00	59,880.00	8-Nov-2014	12-Dec-2014
14.	Cut-Off Saw, Makita 2414NB 14" Disc Diameter	4	units	9,350.00	37,400.00	8-Nov-2014	12-Dec-2014
15.	Ballpeen Hammer, Stanley 4 oz (.25 lb) head	22	units	220.00	4,840.00	8-Nov-2014	12-Dec-2014
16.	Angle grinder, Makita 9553B 4" Disc Diameter	10	units	2,875.00	28,750.00	8-Nov-2014	12-Dec-2014
17.	Shop Apron, Denim	33	pcs	120.00	3,960.00	18-Nov-2014	28-Nov-2014
18.	Safety Goggles, Blue Eagle NP105, Anti-fog, complies with ANSI Z87.1 high velocity impact standards	72	pcs	160.00	11,520.00	18-Nov-2014	28-Nov-2014
19.	Welding Gloves, Leather, 16"	39	pair	140.00	5,460.00	18-Nov-2014	28-Nov-2014
20.	Work Gloves, Leather	33	pair	75.00	2,475.00	18-Nov-2014	28-Nov-2014
21.	Welding Helmet, Opaque, Shade Number 14	39	pcs	620.00	24,180.00	18-Nov-2014	28-Nov-2014
22.	Apron, Sleeves and Leggings for welding, denim	39	pcs	465.00	18,135.00	18-Nov-2014	28-Nov-2014
23.	Earmuffs, Blue Eagle EM62, multiple position headband	39	sets	270.00	10,530.00	18-Nov-2014	28-Nov-2014
24.	Aircondition Unit, Carrier XPower Silver FP-53CSD0018308 Split type, 2 HP, Installation included	1	unit	51,320.00	51,320.00	24-Nov-2014	28-Nov-2014
25.	High speed sewing machine, Juki DDL-8100e 1-needle Lockstitch, 5,500 sti/min, 5mm max. stitch length With table, stand and motor	12	units	18,800.00	225,600.00	19-Dec-2014	26-Dec-2014
26.	Edging machine, Juki MO-6514 Overlock serger, 3 Thread, With table and motor	3	units	35,800.00	107,400.00	19-Dec-2014	26-Dec-2014
27.	Computerized sewing machine, Juki HZL-K85 Programmable, 150 stitch patterns	3	units	28,000.00	84,000.00	19-Dec-2014	26-Dec-2014
TOTAL					2,351,585.00		

2. For the "Job Support Corner"

Item No.	Item/Description	Qty.	Unit	Unit Price PHP	Total Amount PHP	Delivery Date	Date of Purchase
1.	Desktop PC	3	sets	48,500.00	145,500.00	7-Apr-2015	16-Apr-2015
2.	PC Desk	3	units	1,800.00	5,400.00	7-Apr-2015	16-Apr-2015
3.	Bookshelf	1	unit	4,000.00	4,000.00	7-Apr-2015	16-Apr-2015

Handed over to: STVS

1. To improve tech-voc education

Item No.	Item/Description	Qty.	Unit	Unit Price PHP	Total Amount PHP	Delivery Date	Date of Purchase
1.	Arc Welding Machine Powercraft PWM 315 Cu 1-Phase, 220 VAC, 60 Hz, 35% Duty cycle, 86 kg 60 - 315 Amps	14	units	25,000.00	350,000.00	1-Dec-2014	9-Dec-2014
2.	Angle Grinder 4" Disc Diameter Metabo W8100 (Germany)	14	units	5,362.50	75,075.00	1-Dec-2014	9-Dec-2014
3.	Angle Grinder 9" Disc Diameter Bosch GWS 20-230	14	units	6,780.00	94,920.00	1-Dec-2014	9-Dec-2014
4.	Bench Grinder 6" Disc Diameter Bosch GBG 6"	14	units	6,215.00	87,010.00	1-Dec-2014	9-Dec-2014
5.	Gas Cutting Machine 100mm cutting capacity JE (Double cutter) JGC-24DC	1	unit	49,808.00	49,808.00	1-Dec-2014	9-Dec-2014
6.	Welding Helmet, Blue Eagle 633-P Opaque Shade Number 12 (Suitable for SMAW)	28	pcs	480.00	13,440.00	17-Nov-2014	28-Nov-2014
7.	Safety Goggles, Blue Eagle NP105 Anti-fog lenses Exceeds ANSI Z87.1 high velocity impact standards	28	pcs	175.00	4,900.00	17-Nov-2014	28-Nov-2014
8.	Apron, Sleeves and Leggings for welding Denim	28	sets	495.00	13,860.00	17-Nov-2014	28-Nov-2014
9.	Welding Gloves, Leather Size 16"	28	pairs	150.00	4,200.00	17-Nov-2014	28-Nov-2014
10.	Ear Plugs, Blue Eagle NP-36 Washable and reusable	28	pairs	45.00	1,260.00	17-Nov-2014	28-Nov-2014
11.	Safety shoes, Schild Protek Steel toe, High cut, Size 8	20	pairs	1,375.00	27,500.00	17-Nov-2014	28-Nov-2014
12.	Safety shoes, Schild Protek Steel toe, High cut, Size 9	8	pairs	1,435.00	11,480.00	17-Nov-2014	28-Nov-2014
TOTAL					733,453.00		

2. For the "Job Support Corner"

Item No.	Item/Description	Qty.	Unit	Unit Price PHP	Total Amount PHP	Delivery Date	Date of Purchase
1.	Desktop PC	1	sets	48,500.00	48,500.00	6-Apr-2015	6-Apr-2015
2.	PC Desk	1	unit	1,800.00	1,800.00	6-Apr-2015	6-Apr-2015
3.	Bookshelf	1	unit	4,000.00	4,000.00	6-Apr-2015	6-Apr-2015

Item Number	School	Specialization	Lot #	Item / Description	Qty.	Unit	Reference Make / Model	Specifications	Schools' Estimate, Unit Cost PHP	Schools' Estimate, Total Cost PHP	Unit Cost PHP	Total Cost PHP	Make / Model	Specifications
1	Bataan Schoool of Fisheries	Food/Fish Processing NC II and Fish Packaging NC II	10	Diatetic digital scale, 1 kg capacity	1	pc		Digital Weighing Scale, Glass or Stainless Stell Material, max load capacity of 5 kg. and minimum of 1 gram. Large LCD Display with backlight feature, Operates on 220 VAC	5,000.00	5,000.00	10,710.00	10,710.00	Tanita KW211	Digital weighing scale: cap 5kg x 0.5g/ 10kg x 1g; display: large LCD display
2	Bataan Schoool of Fisheries	Food/Fish Processing NC II and Fish Packaging NC II	10	Refractometer, brix, 0-20 degrees	1	pc		Brix Refractometer, Hand-held, 0-32 percent with calibration dial, with 0.2% minimum division and with Automatic Temp Compensation System	10,000.00	10,000.00	8,880.00	8,880.00	ExTech RF15	Brix refractometer handheld (0 to 32%); 0.2% resolution; Automatic temp. compensation system
3	Bataan Schoool of Fisheries	Aquaculture NC II	10	Dissolved Oxygen Meter, pocket-size, LCD/Digital, range 0-20mg/L, size: 131x70x25mm	2	pcs		Dissolved Oxygen Meter, pocket-size, LCD/Digital, range 0-20mg/L, size: 131x70x25mm	45,000.00	90,000.00	18,935.00	37,870.00	ExTech DO600	Dissolved Oxygen meter: pocket size; LCD digital ; 0-20mg/l; size 173x41x36mm
4	Bataan Schoool of Fisheries	Aquaculture NC II	10	Salinity Refractometer, scale range: 0-100 salinity, automatic temperature compensation/waterproof, size:3.2x3.4x20.7cm, 110g	2	pcs		Salinity Refractometer, scale range: 0-100 salinity, automatic temperature compensation/waterproof, size:3.2x3.4x20.7cm, 110g	35,000.00	70,000.00	7,057.00	14,114.00	Extech RF20	Salinity Refractometer, scale range: 0-100 salinity, automatic temperature compensation/waterproof, size:3.8x3.8x8x19.4cm, 227g
5	Bataan Schoool of Fisheries	Aquaculture NC II	10	Soil pH meter, measuring range of -2.00 to 19.99 pH, accuracy: meter +/-0.01 pH connect meter w/ electrode, LCD display	1	pc		Soil pH meter, measuring range of -2.00 to 19.99 pH, accuracy: meter +/-0.01 pH connect meter w/ electrode, LCD display	15,000.00	15,000.00	19,727.00	19,727.00	Extech PH300	Soil pH meter: measuring range of -2.00 to 19.99 pH, accuracy: meter +/-0.01 pH connect meter w/ electrode, LCD display
6	Bataan Schoool of Fisheries	Aquaculture NC II	10	Turbidity meter, LCD display w/ backlight, manual/autoswitch of measuring range, AC/DC power supply	1	pc		Turbidity meter, LCD display w/ backlight, manual/autoswitch of measuring range, AC/DC power supply	20,000.00	20,000.00	44,375.00	44,375.00	Extech TB400	Turbidity meter: Large big digit LCD with backlight; 2 point calibration; Auto power off
7	Bataan Schoool of Fisheries	Aquaculture NC II	10	Welding machine, heavy duty, AC 380 arc current, 30-50 DA	1	set		Welding machine, heavy duty, AC 380 arc current, 30-50 DA	25,000.00	25,000.00	68,110.00	68,110.00	WIP TD 400	Welding machine: heavy duty, AC 400 adjustable to 380 arc current
8	Bataan Schoool of Fisheries	Aquaculture NC II	10	Microscope, binocular head, inclined 45° and 360° rotating built in LED w/ illumination, 12V/20w with intensity control	2	sets		Microscope, binocular head, inclined 45° and 360° rotating built in LED w/ illumination, 12V/20w with intensity control	20,000.00	40,000.00	34,143.00	68,286.00	Howell WM0004ed0a	Microscope, binocular head, inclined 45° and 360° rotating built in LED w/ illumination
9	Bataan Schoool of Fisheries	Aquaculture NC II	10	pH meter, portable, measuring range of 0-14 pH, calibration manual/auto, size: 195x68x30mm	2	pcs		pH meter, portable, measuring range of 0-14 pH, calibration manual/auto, size: 195x68x30mm	15,000.00	30,000.00	7,905.00	15,810.00	ExTech PH100	pH meter: 1,2 or 3 point calibration; size 172x40.6x35.6mm
10	Bataan Schoool of Fisheries	Aquaculture NC II	11	Marine engine, gross horsepower: 16, Engine Cooling: Air, Number of Cylinders: 1, Engine Fuel: Gas, Cast Iron, L head	1	unit		Marine engine, gross horsepower: 16, Engine Cooling: Air, Number of Cylinders: 1, Engine Fuel: Gas, Cast Iron, L head	15,000.00	15,000.00	35,000.00	35,000.00	Briggs and Stratton, Engine Model 326431-3637-08	Marine engine, gross horsepower: 16, Engine Cooling: Air, Number of Cylinders: 1, Engine Fuel: Gas, Cast Iron, L head
11	Bataan Schoool of Fisheries	Aquaculture NC II	11	Paddle wheel aerator (double impeller), 1HP/1 phase/220V/60Hz copper motor, bevel gear 1:14 iron, material for frame and 2 shafts: AISI 304 stainless steel, material for floats: HDPE or fiberglass, impellers: one-piece and blow-molded, with pillow block, magnetic switch, and submersible cable wire, inclusive of installation and orientation on proper use and basic maintenance	3	sets		Paddle wheel aerator (double impeller), 1HP/1 phase/220V/60Hz copper motor, bevel gear 1:14 iron, material for frame and 2 shafts: AISI 304 stainless steel, material for floats: HDPE or fiberglass, impellers: one-piece and blow-molded, with pillow block, magnetic switch, and submersible cable wire, inclusive of installation and orientation on proper use and basic maintenance	25,000.00	75,000.00	32,000.00	96,000.00	Local	Paddle wheel aerator (double impeller), 1HP/1 phase/220V/60Hz copper motor, bevel gear 1:14 iron, material for frame and 2 shafts: AISI 304 stainless steel, material for floats: HDPE or fiberglass, impellers: one-piece and blow-molded, with pillow block, magnetic switch, and submersible cable wire, inclusive of installation and orientation on proper use and basic maintenance

Item Number	School	Specialization	Lot #	Item / Description	Qty.	Unit	Reference Make / Model	Specifications	Schools' Estimate, Unit Cost PHP	Schools' Estimate, Total Cost PHP	Unit Cost PHP	Total Cost PHP	Make / Model	Specifications
12	Bataan Schoool of Fisheries	Aquaculture NC II	11	Fry hatching barrel, fiberglass, diameter: 450mm, height: 700mm, inlet: 40mm	2	pcs		Fry hatching barrel, fiberglass, diameter: 450mm, height: 700mm, inlet: 40mm	13,000.00	26,000.00	8,500.00	17,000.00	Fabricated	Fry hatching barrel, fiberglass, diameter: 450mm, height: 700mm, inlet: 40mm
13	Bataan Schoool of Fisheries	Aquaculture NC II	11	Aquarium fish tank, material: glass, dimensions: 48 X 18 X 24 inches, glass thickness: 10mm	3	sets		Aquarium fish tank, material: glass, dimensions: 48 X 18 X 24 inches, glass thickness: 10mm	8,000.00	24,000.00	12,500.00	37,500.00	Fabricated	Aquarium fish tank, material: glass, dimensions: 48 X 18 X 24 inches, glass thickness: 10mm
14	Bataan Schoool of Fisheries	Aquaculture NC II	11	Delivery charge	1	unit		Delivery charge	0.00	0.00	5,000.00	5,000.00	Delivery charge	Delivery charge
15	Bataan Schoool of Fisheries	Food/Fish Processing NC II and Fish Packaging NC II	12	Refrigerator, 2 door 9 cu. Ft.	1	unit		Refrigerator with freezer, 12 cubic feet capacity, stainless steel body, two-door design, no frost design and operates on 220 VAC 50-60Hz	25,000.00	25,000.00	26,600.00	26,600.00	Fujidenzo RDD120s	Refrigerator with freezer : 12 cubic feet capacity; stainless steel body; two door design no frost design & operates on 220 VAC 50-60Hz
16	Bataan Schoool of Fisheries	Food/Fish Processing NC II and Fish Packaging NC II	12	Oven, gas/electric, heavy duty	1	unit		Gas Range Oven, with 4 stove top burners, single door 5.8 cubic feet capacity with oven temp control	40,000.00	40,000.00	23,965.00	23,965.00	Whirlpool AGG 540IX	Gas Range Oven, with 4 stove top burners, single door 52L large oven capacity; control in degrees F or C
17	Bataan Schoool of Fisheries	Food/Fish Processing NC II and Fish Packaging NC II	12	Osterizer, glass, 5 cups capacity or 8 cups capacity	1	set		Osterizer, glass, 5 cups capacity or 8 cups capacity	20,000.00	20,000.00	14,155.00	14,155.00	JTC Omniblender TM-767	Osterizer, glass material for jar, 8 cups capacity / 2L
18	Bataan Schoool of Fisheries	Food/Fish Processing NC II and Fish Packaging NC II	12	Pressure cooker, 15 quarts	1	set		Industrial Pressure Cooker, (preferably "All-American" brand) with capacity of 15 quarts, or diameter of 32 cm with attached pressure gauge and variable pressure valve (5, 10, 15 psi), made of high-quality die cast aluminum.	15,000.00	15,000.00	26,900.00	26,900.00	All American 921	Industrial Pressure Cooker: 21 1/2 quart capacity w/ attached pressure gauge and variable ; valve (5, 10, 15 psi) made of high quality die-cast aluminum
19	Bataan Schoool of Fisheries	Food/Fish Processing NC II and Fish Packaging NC II	12	Food processor, heavy duty	1	unit		Electric Food Processor, with accessories for used in blending, grinding, slicing, mixing, doughing, chopping, cutting and grating. 1.5 Liter Capacity, uses 220-240 VAC 50-60Hz	30,000.00	30,000.00	7,844.00	7,844.00	Philips HR7627	Electric Food Processor, with accessories for used in blending, grinding, slicing, mixing, doughing, chopping, cutting and grating. 2.1 Liter bowl, 1.5 L liquid/dry
20	Bataan Schoool of Fisheries	Food/Fish Processing NC II and Fish Packaging NC II	13	Can sealer, manual/electric, with different chucks	1	unit		Automatic Can Sealer, Hand-cranked, made of die-cast aluminum metal, with chucks for can sizes #1, #2, #2 flat, #2 tall, #2½ and #3.	140,000.00	140,000.00	49,750.00	49,750.00	All American 225	Manual Can Sealer, made of die cast aluminum metal with chucks for can sizes No. 2 or No. 3 can
21	Bataan Schoool of Fisheries	Food/Fish Processing NC II and Fish Packaging NC II	13	Heat sealer, plastic impulse sealer	1	unit		Foot Operated Impulse Sealer, Heavy-Duty, with seal dimension of 300mm x 3mm x2 (2 strips of seal) with variable heat control, operates on 220-240 VAC, 50-60Hz, approximately 800 Watts consumption	5,000.00	5,000.00	12,225.00	12,225.00	Local brand, model 305FIU	Foot Operated Impulse sealer, heavy duty w/ seal dimension 300x5x2mm, operates on 200-240 VAC 50-60Hz 900 watts
22	Bataan Schoool of Fisheries	Food/Fish Processing NC II and Fish Packaging NC II	13	Shrink wrapping machine	1	unit		Heat Shrink Wrap Tunnel Packaging Machine, Heavy-Duty, with maximum sealing size of 300mm x 200mm, operates on 220-240 VAC, 50-60Hz, approximately 800 Watts consumption	25,000.00	25,000.00	52,693.00	52,693.00	China model: BS 400	Heat Shrink Wrap Tunnel Packaging Machine; Heavy with maximum sealing size of 400x200mm/220-240VAC 50-60Hz

Item Number	School	Specialization	Lot #	Item / Description	Qty.	Unit	Reference Make / Model	Specifications	Schools' Estimate, Unit Cost PHP	Schools' Estimate, Total Cost PHP	Unit Cost PHP	Total Cost PHP	Make / Model	Specifications
23	Bataan Schoool of Fisheries	Food/Fish Processing NC II and Fish Packaging NC II	13	Vacuum Pack Sealing machine	1	unit		Vacuum Sealing Machine, floor type (stand-alone), double chamber model, chamber dimension – 670mm x 540mm x 110mm x2, sealing dimension – 600mm x 10 mm x 2, capacity of 1-4 PEC/minute, Operates on 220VAC 50-60Hz	150,000.00	150,000.00	120,358.00	120,358.00	China ; model DZ400/2SB	Vacuum Sealing Machine, floor type (stand-alone), double chamber model, chamber dimension – 500mm x 450mm x 115mm x2, 220VAC/60Hz
24	Bataan Schoool of Fisheries	Food/Fish Processing NC II and Fish Packaging NC II	13	Labeling machine	1	unit		Labeling machine	10,000.00	10,000.00	52,102.00	52,102.00	Model MT-50	Labeling machine: Speed: 25-50 pcs/ min; Label: W: 8 -150mm; Label: L 15-315mm; dimension: 65x45x45cm; Wt: 25 kg
25	Bataan Schoool of Fisheries	Food/Fish Processing NC II and Fish Packaging NC II	13	Sausage stuffer/linker, stainless/plastic	1	unit		Manual Sausage Stuffer, made of food grade stainless steel, 5 liter capacity with multi-size sausage funnels	10,000.00	10,000.00	9,288.00	9,288.00	China	Manual Sausage Stuffer made of food grade stainless steel; 5 Liter capacity w/ multi size sausage funnels
26	Bataan Schoool of Fisheries	Aquaculture NC II	16	Regenerative blower or Ring blower, stainless steel pump, output power: 0.2 to .29 kw, 100% oil-free air provided w/inlet and outlet silencer/filter	1	pcs		Regenerative blower or Ring blower, stainless steel pump, output power: 0.2 to .29 kw, 100% oil-free air provided w/inlet and outlet silencer/filter	19,000.00	19,000.00	7,610.00	7,610.00	Sunsun HG-180	Regenerative blower or Ring blower, stainless steel pump, output power: 0.2 to .29 kw, 100% oil-free air provided w/inlet and outlet silencer/filter
27	Bataan Schoool of Fisheries	Aquaculture NC II	16	Generator, gasoline, output type AC, single-phase, 230V, 5 KVA rated power	1	set		Generator, gasoline, output type AC, single-phase, 230V, 5 KVA rated power	35,000.00	35,000.00	76,520.00	76,520.00	Wacker Neuson M5 (WN13 Engine)	Generator, gasoline, output type AC, single-phase, 230V, 5 KVA rated power
28	Bataan Schoool of Fisheries	Aquaculture NC II	16	Canister filter with pump, horizontal-type, aquarium capacity: 400 L, pump output: 1450 L / hour, filtration volume: 8.5L, maximum water column height: 2.25 meters, 220-240 V/50 HZ, 20 W	1	set		Canister filter with pump, horizontal-type, aquarium capacity: 400 L, pump output: 1450 L / hour, filtration volume: 8.5L, maximum water column height: 2.25 meters, 220-240 V/50 HZ, 20 W	15,000.00	15,000.00	14,770.00	14,770.00	Sunsun CPF-280 canister with WP-5000 pump	Canister filter with pump, horizontal-type, aquarium capacity: 400 L, pump output: 1450 L / hour, filtration volume: 8.5L, maximum water column height: 2.25 meters, 220-240 V/50 HZ, 20 W
29	Bukig National Agricultural and Technical School	Agricultural Crop Production NC II	1	4WD Farm Tractor	1	set	Kubota second Hand Tractor	Minimum requirements: 45 HP engine power, 2500 cc displacement, direct injection, water cooled, 4-cycle diesel engine, dry type single stage clutch, gear shift 8-forward/4-reverse, 360 mm ground clearance, 1700 kg lifting capacity, with trailing harrow and rotavator, AMTEC -Tested	800,000.00	800,000.00	1,000,000.00	1,000,000.00	YTO-X454	Required equipment for Agricultural Crops Production NC II

Item Number	School	Specialization	Lot #	Item / Description	Qty.	Unit	Reference Make / Model	Specifications	Schools' Estimate, Unit Cost PHP	Schools' Estimate, Total Cost PHP	Unit Cost PHP	Total Cost PHP	Make / Model	Specifications
30	Iligan City National School of Fisheries	Aquaculture NC II	3	Laptop Computer	1	unit	ASUS UX30	Laptop Computer Microsoft Windows 7 Home Basic OS and MS Office Chipset Mobile Intel® GS45 Express Chipset Main Memory 4GB DDR2 Memory Display 13.3" WXGA/ Resolution 1366x768 Video Graphics & Memory Intel® GMA 4500MHD Hard Drive 2.5" 9.5mm SATA 320GB, Card Reader 2 in 1 card reader, SD,MMC Battery Pack & Life Polymer 3 cells: 3250 mAh AC Adapter Output: 19 V DC, 3.42 A, 40W Input: 100~240 V AC, 50/60 Hz universal 3/2 pin compact power supply system	37,094.70	37,094.70	26,990.00	26,990.00	Lenovo G4070 (5944-1219)	Lap Top Computer with MS Office 2013 Home & Student; Processor: Intel Core i3 4030 (1.9Ghz); Memory 2GB DDR3; HDD 500GB SATA; Card Reader 4 in 1 , One Express Card slot; VGA: 2GB VGA ATI JET LER5M230; Display: 14" WSVGA (1366 x 768); DVD Writer: Super Multi DVD Writer; O.S: 8.1 Windows; Network: Modem/Integrated LAN/ Intel PRO/RJ-11/RJ45; Others: Bluetooth, 3 Mega Pixel Camera, Audio, Mic/Bluetooth; USB Ports: 1USB 3.0, 2 USB 2.0, with retractable optical mouse and bag pack
31	Iligan City National School of Fisheries	Aquaculture NC II	3	Projector	1	unit	ACER P1173 3000	Projector, 3000 lumens, SVGA (800 x 600), 13,000:1, 4:3 (Native), 16:9 (Compatible), 1.86 ~ 2.04:1, 5000 Hour (Normal Mode) and 6000 Hour (Economy Mode)	20,900.00	20,900.00	18,995.00	18,995.00	Epson EB-S18	Projector, Projection System: 3LCD Technology, LCD Panel: 0.55 inch, Colour Light and White Light Output: 3,000 Lumen in accordance with ISO 21118:2012, Resolution: SVGA, 800 x 600, Aspect Ratio: 4:3, Contrast Ratio: 10,000 : 1, Lamp: 200 W and 5,000 h durability, Keystone Correction Auto vertical: ± 30 ° and Manual horizontal ± 30 °, Colour Processing: 10 Bits, 2D Vertical Refresh Rate: 50 Hz - 85 Hz, Projection Ratio :1.45 - 1.96:1, Digital Zoom Factor: 1.35, Lens: Optical, Projection Size: 30 inches - 350 inches, Projection Distance Wide/Tele 1.77 m - 2.4 m (60 inch screen), Projection Lens F Number: 1.44, Focal Distance: 16.7 mm, Focus: Manual, Offset: 8 : 1, USB Display Function: 3 in 1 (Image / Mouse / Sound); Interfaces: Cinch audio in, VGA in, RGB in, S-Video in, Component in, Composite in, HDMI in, Wireless LAN IEEE 802.11b/g/n (optional), USB 2.0 Type B, USB 2.0 Type A; Energy Use: 270 Watt, 201 Watt (economy), 0.28 Watt (standby); Supply Voltage: AC 100 V - 240 V, 50 Hz - 60 Hz; Noise Level: Normal: 37 dB (A) - Economy: 29 dB (A); Temperature Operation 5° C - 35° C, Storage -10° C - 60° C, Humidity Operation 20% - 80%, Storage 10% - 90%; Loudspeaker: 2 Watt; Inclusive of Carrying bag, Computer cable, Main unit, Power cable, Remote control incl. batteries, USB cable, User's Manual Set, and Warranty Documents, with projection screen
32	Iligan City National School of Fisheries	Aquaculture NC II	18	Pressure tank set	1	set		Pressure tank, 40 psi; capacity 160 liters or 42.2675 gal; GI galvanized iron 16; super tank ; inclusive set of 20 pcs PVC adapter 1 inch diameter; 20 pcs PVC Elbow blue 1 inch diameter ; 20 pcs PVC Elbow blue 1/2 inch diameter; 20 length PVC pipe blue 1/2 inch diameter; 10 pcs PVC coupling blue 1 inch diameter; 7pcs. PVC Tee 1/2 inch diameter; 5pcs PVC 1 inch blue diameter; 4pcs PVC female coupling 1/2 inch diameter , 4pcs PVC male coupling 1/2 inch diameter, 2pcs. PVC TEE 1 inch, 2 pcs big PVC solvent; 1pc PVC ball valve 1 inch diameter; 2pcs 1ft valve (brass 1 inch diameter); 2pcs 1 inch P.E elbow SDR; 2pcs P.E SDR male coupling 1inch diameter; 10 pcs Plastic faucet; 1 pc Liquid level switch; 2 pcs Teflon 1inch diameter; 1 roll SDR 11 iron pipe 1 inch diameter; 2 drum plastic with capacity 50 gal.	15,700.00	15,405.00	15,405.00	15,405.00	First Pressure Tank	Pressure tank set, 40 psi, capacity 160 liters, material: galvanized iron, with 1 roll SDR 11 black plastic 1" diameter, with free pressure switch and gauge

Item Number	School	Specialization	Lot #	Item / Description	Qty.	Unit	Reference Make / Model	Specifications	Schools' Estimate, Unit Cost PHP	Schools' Estimate, Total Cost PHP	Unit Cost PHP	Total Cost PHP	Make / Model	Specifications
33	Iligan City National School of Fisheries	Aquaculture NC II	18	Electric Motor Pump	1	unit		Electric motor pump, Specifications: 1HP; Self Priming Q.max: 60 liters/min H.max 45m Suct.L.Max: 9m Voltage: 230 KW: 0.75 HP: 1 Hz: 60 Size: 1"x1" 1 Mot RPM: 3450 Thermally protected motor European design	3,500.00	3,500.00	14,850.00	14,850.00	Lucky Pro MJSW3BH	MJSW3BH Electric pump, Power: 2HP, Max head: 76 meters, Max flow: 160 liters/minute, Suction lift: up to 9 meters, Fluid Temperature: up to 40° C, Pump body: cast iron, Pump impeller: brass, Motor coil: copper, with thermal overload protector
34	Iligan City National School of Fisheries	Aquaculture NC II	18	Submersible Pump with Air blower	1	set	Rio 12HF	Submersible pump 12HF;750 gallons per hour;40 watts. Maximum head - 9.5 foot; Output tubing size - 3/4 inch with diaphragm type air blower ;200 watts	15,000.00	15,000.00	8,100.00	8,100.00	Rio 26HF and Resun LP-20	Rio 26HF Submersible pump (Flow Rate @ 1 foot Head pressure 6040 L/H (1590 GPH), Maximum head 13 feet, Inlet 1" NPT, Outlet 3/4" NPT, 100 watts) with Resun LP20 air pump (1320 L/hr max air output, Energy consumption: 17 watts, Pressure 0.028 mpa, 6 Outlets, Airstones max depth 2.2m)
35	Iligan City National School of Fisheries	Aquaculture NC II	18	Generator set	1	unit	Sumo brand	Gasoline generator ;6.5HP OHV engine ; continous wattage 3000; peak wattage 3500; fuel tank capacity 4 gallons; 2-AC ,1-12V DC output120 volts; runs 8 -9 hrs at 1/2 load; recoil start; with muffler	15,000.00	33,600.00	33,600.00	33,600.00	Lutian LT 7000 EC	Lutian LT 7000 EC Gasoline Generator, single-phase, Max AC Output 5.5 kW
36	Iligan City National School of Fisheries	Aquaculture NC II	Bidding	Hatchery Facilities (5 brood stock tanks, 2 hatchery tanks, 1 store room, 1 packing area, 1 motor house, with perimeter fence)	1	set	Ahma	Hatchery Facilities (5 brood stock tanks, 2 hatchery tanks, 1 store room, 1 packing area, 1 motor house, with perimeter fence)	689,580.80	909,857.38	909,469.82	909,469.82		
37	Opol National Secondary Technical School	Construction of Gas Tank House for Safety of Students/Trainees during Practicum	2	Angle bar, 3/16" x 1"	6	pcs.	NA	Angle bar, 3/16" x 1"	390.00	2,340.00	430.00	2,580.00	NA	
38	Opol National Secondary Technical School	Construction of Gas Tank House for Safety of Students/Trainees during Practicum	2	Angle bar, 3/16" x 2"	2	pcs.	NA	Angle bar, 3/16" x 2"	591.50	1,183.00	770.00	1,540.00		
39	Opol National Secondary Technical School	Construction of Gas Tank House for Safety of Students/Trainees during Practicum	2	Square Bar, 8 mm.	15	pcs.	NA	Square Bar, 8 mm.	130.00	1,950.00	145.00	2,175.00		
40	Opol National Secondary Technical School	Construction of Gas Tank House for Safety of Students/Trainees during Practicum	2	Corrugated Bar, 8mm	10	pcs.	NA	Corrugated Bar, 8mm	60.00	600.00	48.00	480.00		
41	Opol National Secondary Technical School	Construction of Gas Tank House for Safety of Students/Trainees during Practicum	2	Corrugated G.I.Sheet, Gauge 26 12 f3		pcs.	15500	Corrugated G.I.Sheet, Gauge 26 12 ft.	398.00	1,194.00	270.00	810.00		
42	Opol National Secondary Technical School	Construction of Gas Tank House for Safety of Students/Trainees during Practicum	2	Plain G.I. Sheet, Gauge 26	1	pc.	NA	Plain G.I. Sheet, Gauge 26	275.00	275.00	186.00	186.00		

Item Number	School	Specialization	Lot #	Item / Description	Qty.	Unit	Reference Make / Model	Specifications	Schools' Estimate, Unit Cost PHP	Schools' Estimate, Total Cost PHP	Unit Cost PHP	Total Cost PHP	Make / Model	Specifications
43	Opol National Secondary Technical School	Construction of Gas Tank House for Safety of Students/Trainees during Practicum	2	Welding Rod, 60/12	4	kg.	NA	Welding Rod, 60/12	60.00	240.00	165.00	660.00		
44	Opol National Secondary Technical School	Construction of Gas Tank House for Safety of Students/Trainees during Practicum	2	Tek Screw, 2"	296	pcs.	NA	Tek Screw, 2"	2.50	740.00	2.50	740.00		
45	Opol National Secondary Technical School	Construction of Gas Tank House for Safety of Students/Trainees during Practicum	2	Tie Wire	3	kg.	NA	Tie Wire	62.00	186.00	66.00	198.00		
46	Opol National Secondary Technical School	Construction of Gas Tank House for Safety of Students/Trainees during Practicum	2	Concrete Hollow Block, #4	100	pcs.	NA	Concrete Hollow Block, #4	8.50	850.00	9.00	900.00		
47	Opol National Secondary Technical School	Construction of Gas Tank House for Safety of Students/Trainees during Practicum	2	Cement Portland	6	bags	NA	Cement Portland	258.00	1,548.00	270.00	1,620.00		
48	Opol National Secondary Technical School	Construction of Gas Tank House for Safety of Students/Trainees during Practicum	2	Mixed Sand	3	cu.m.	NA	Mixed Sand	1,000.00	3,000.00	610.00	1,830.00		
49	Opol National Secondary Technical School	Construction of Gas Tank House for Safety of Students/Trainees during Practicum	2	Hinges, 2"x3"	1	pair	NA	Hinges, 2"x3"	83.00	83.00	35.00	35.00		
50	Opol National Secondary Technical School	Construction of Gas Tank House for Safety of Students/Trainees during Practicum	2	Red Lead, Triton	1	gallon	NA	Red Lead, Triton	572.50	572.50	666.00	666.00		
51	Opol National Secondary Technical School	Construction of Gas Tank House for Safety of Students/Trainees during Practicum	2	Roofing Paint, Green	1	gallon	NA	Roofing Paint, Green	613.00	613.00	680.00	680.00		
52	Opol National Secondary Technical School	Construction of Gas Tank House for Safety of Students/Trainees during Practicum	2	Enamel, Royal Blue	1	gallon	NA	Enamel, Royal Blue	520.00	520.00	610.00	610.00		
53	Opol National Secondary Technical School	Construction of Gas Tank House for Safety of Students/Trainees during Practicum	2	Paint Thinner, Mayon	1	gallon	NA	Paint Thinner, Mayon	413.50	413.50	320.00	320.00		
54	Opol National Secondary Technical School	Construction of Gas Tank House for Safety of Students/Trainees during Practicum	2	Paint Brush, 2"	2	pcs.	NA	Paint Brush	69.00	138.00	35.00	70.00		

Item Number	School	Specialization	Lot #	Item / Description	Qty.	Unit	Reference Make / Model	Specifications	Schools' Estimate, Unit Cost PHP	Schools' Estimate, Total Cost PHP	Unit Cost PHP	Total Cost PHP	Make / Model	Specifications
55	Opol National Secondary Technical School	Construction of Gas Tank House for Safety of Students/Trainees during Practicum	2	G.I. Gutter, #26	1	length	NA	G.I. Gutter, #26	1,200.00	1,200.00	420.00	420.00		
56	Opol National Secondary Technical School	Commercial Cooking NC III	4	Glass Cabinet with Lock	2	units	Ikea Hemnes Glass Cabinet 900 X 370 X 1970 mm.	Width: 90 cm, Depth: 37 cm, Height: 197 cm, Max load/shelf: 30 kg, Top panel: Solid pine/Stain/Clear acrylic lacquer, Glass panels: Tempered/safety glass, Back panel: Printed fiberboard, 1 stationary shelf and 4 adjustable shelves, unit needs to be secured to the wall with the enclosed wall anchoring device, product requires assembly	10,000.00	20,000.00	10,000.00	20,000.00		Glass Cabinet: Width: 90 cm, Depth: 37 cm, Height: 197 cm, Max load/shelf: 30 kg, Top panel: Solid pine/Stain/Clear acrylic lacquer, Glass panels: Tempered/safety glass, Back panel: fibreboard
57	Opol National Secondary Technical School	Food and Beverage Services NC II	4	6-seater Dining Set	2	sets	Mandaue Foam New York 6 Seater: Item Code 31507, Wooden and Glass	6-seater Dining Set (1 Table with 6 Chairs), Rectangular Table : 90 x 180 x 75 cm, Chairs : 44.8 x 53 x 103 cm, material: wood	20,000.00	40,000.00	18,500.00	37,000.00		6-seater Dining Set (1 Table with 6 Chairs), Rectangular Table : 90 x 180 x 75 cm, Chairs : 44.8 x 53 x 103 cm, material: wood
58	Opol National Secondary Technical School	Food and Beverage Services NC II	4	2-seater Dining Set	2	sets	2-seater Dining Se	2-seater Dining Set (1 Table with 2 Chairs), Square Table : 28 x 28 x 30 inches, Chairs : 44.8 x 53 x 103 cm, material: wood	15,000.00	30,000.00	8,500.00	17,000.00		2-seater Dining Set (1 Table with 2 Chairs), Square Table : 28 x 28 x 30 inches, Chairs : 44.8 x 53 x 103 cm, material: wood
59	Opol National Secondary Technical School	Commercial Cooking NC III	5	Air Condition Unit	2	unit	Koppel: Standard Floor Mounted KFM-36E0A	Indoor Floor mounted airconditioning unit, power consumption: 3400W, cooling: 36000 BTU/h or 37980 kJ/hr, running current: 16.6 A, applicable area: 35-60 sq.m., refrigerant: R22, 220V-230V, 50-60Hz, single phase, indoor air flow: 1500 CMH, indoor noise level: 50 dBA, EER: 10.2 BTU/h-W / 11.2 kJ/hr-W, operating temperature: 17-30C, ambient temperature: 18-43C, 12-Hr Timer, heavy duty	80,000.00	160,000.00	72,800.00	145,600.00	Koppel KV36FM-ARF21	Indoor floor mounted airconditioning unit, power consumption: 3100W, cooling: 38000 BTU/h or 40900 kJ/hr, rated current: 18 A, 220V-240V/60Hz/1Phase, indoor air flow: 1500 CMH, indoor noise level: 51-56 dBA, EER: 12.3 BTU/h-W / 12.9 kJ/hr-W, R410A Refrigerant, compressor type: rotary DC inverter, Timer, Remote Control, Air Filter, LCD Display
60	Opol National Secondary Technical School	Commercial Cooking NC III	5	Double Door Refrigerator	1	unit	Whirlpool WIE 105 USS6	2 door refrigerator, 11 cu.ft. volume capacity, top mount type, inverter compressor, 3 adjustable shelves	32,000.00	32,000.00	27,500.00	27,500.00	Whirlpool WIE 105 USS6	2 door refrigerator, 11 cu.ft. volume capacity, top mount type, inverter compressor, 3 adjustable shelves
61	Opol National Secondary Technical School	Commercial Cooking NC III	5	Chest Freezer	1	unit	Fujidenzo FC-13ADF	Chest type freezer, 13 cu. ft. capacity, with wire basket, key lock, roller feet	20,000.00	20,000.00	19,500.00	19,500.00	Fujidenzo FC-13ADF	Chest type freezer, 13 cu. ft. capacity, with wire basket, key lock, roller feet
62	Opol National Secondary Technical School	Food and Beverage Services NC II	5	Upright Chiller	1	unit	Fujidenzo SU-140A	Upright showcase chiller, Net Volume: 14 cu. ft., Temperature Range: 0°C to 12°C, Single Phase, 220 V, 3 adjustable wire shelves	25,000.00	25,000.00	22,800.00	23,300.00	Kolin KSF415B1L	Upright showcase chiller , rated voltage: 230v 60hz gross capacity: 415 liter net capacity: 360 liter rated input power: 300 watts dimension: 278mm x 605mm x 1978mm (w x d x h)
63	Opol National Secondary Technical School	Food and Beverage Services NC II	5	Installation charge for AC	2	units	Installation charge for AC, 10 ft.	Installation charge for AC, 10 ft.	8,500.00	17,000.00	8,500.00	17,000.00	Installation charge for AC, 10 ft. by Cagayan Freeze Refrigeration and Aircon Services	Installation charge for AC, 10 ft. by Cagayan Freeze Refrigeration and Aircon Services

Item Number	School	Specialization	Lot #	Item / Description	Qty.	Unit	Reference Make / Model	Specifications	Schools' Estimate, Unit Cost PHP	Schools' Estimate, Total Cost PHP	Unit Cost PHP	Total Cost PHP	Make / Model	Specifications
64	Opol National Secondary Technical School	Commercial Cooking NC III	6	3-burner Gas Range w/ Oven	2	unit	Tecnogas TFG6031DRX	Single-oven cooker with 3 Gas Burners +1 Electric Plate, 64L oven capacity, stainless-steel single-piece worktop with 3 gas burners, worktop 60cm, automatic oven thermostat, rotisserie, oven safety timer, mirror glass oven door	25,000.00	50,000.00	33,550.00	67,100.00	Tecnogas TFG6031DRX	Single-oven cooker with 3 Gas Burners +1 Electric Plate, 64L oven capacity, stainless-steel single-piece worktop with 3 gas burners, worktop 60cm, automatic oven thermostat, rotisserie, oven safety timer, mirror glass oven door
65	Opol National Secondary Technical School	Commercial Cooking NC III	6	Blender	4	unit	Braun Multiquick 3-Speed Jug Blender MX 2000	Blender, 2L jar capacity, detachable stainless steel knife, 3 speeds plus pulse button, 525W, additional lid opening with integrated measuring cup, plastic mixing container	5,000.00	20,000.00	10,140.00	40,560.00	Philips HR2095	Blender 750 W, 2 L glass jar with filter variable speed and detachable stainless steel knife suitable for for blending fruits, cutting vegetables and crushing ice, glass jar, non-slip feet, 1 m cord length, with spatula
66	Opol National Secondary Technical School	Commercial Cooking NC III	6	Heat Gun	1	unit	Bosch GHG G30 DCE	Heat Gun, Rated power input: 2,000 W, Weight without cable: 0.9 kg, Working temperature: 50 - 630 °C, Airflow:150 - 500 l/min, Finish: brushed anti touch, Ergonomic design/softgrip	7,000.00	7,000.00	7,450.00	7,450.00	Bosch GHG G30 DCE	Heat Gun, Rated power input: 2,000 W, Weight without cable: 0.9 kg, Working temperature: 50 - 630 °C, Airflow:150 - 500 l/min, Finish: brushed anti touch, Ergonomic design/softgrip
67	Opol National Secondary Technical School	Commercial Cooking NC III	6	Griller	2	units	Philips HD6320	Griller, Electric, thermostatic control, temperature range: 70°C to 230°C, 1500W, non stick plates, with drip tray, flat grill and grill mark plate	6,000.00	12,000.00	5,500.00	11,000.00	Thomson THGR05675	Griller, Electric, 90 x 30 cm griddle, cast aluminum Teflon plate, adjustable thermostat, 2300W, removable fat container, with spatula and tongs suitable for non stick Teflon plate
68	Opol National Secondary Technical School	Commercial Cooking NC III	6	Oven Toaster	1	unit	Imarflex IT-300CRS Oven	Oven Toaster, Stainless Steel body, handle and doorframe, 30 L capacity, 100 to 250 °C temperature control, 1600 W, 60 minutes timer, with accessories (bake tray, wire rack, crumb tray, and rotisserie)	6,354.00	6,354.00	5,150.00	5,150.00	Imarflex IT-300CRS Oven	Oven Toaster, Stainless Steel body, handle and doorframe, 30 L capacity, 100 to 250 °C temperature control, 1600 W, 60 minutes timer, with accessories (bake tray, wire rack, crumb tray, and rotisserie)
69	Opol National Secondary Technical School	Commercial Cooking NC III	6	Rice Cooker	1	unit	Imarflex IRC-780N	Rice cooker, 7.8 L capacity (45 cups capacity), Non Stick, 220V, Pilot Light Indicator	5,000.00	5,000.00	5,650.00	5,650.00	Imarflex IRC-780N	Rice cooker, 7.8 L capacity (45 cups capacity), Non Stick, 220V, Pilot Light Indicator
70	Opol National Secondary Technical School	Commercial Cooking NC III	6	Juicer	1	unit	Breville BJE410	Juicer, Centrifugal, stainless steel design, 2 speed settings, 700 watts motor, 18000 RPM, 3" circular feed tube	5,000.00	5,000.00	11,200.00	11,200.00	Breville BJE410	Centrifugal juicer, stainless steel design, 2 speed settings, 700 watts motor, 18000 RPM, 3" circular feed tube
71	Opol National Secondary Technical School	Commercial Cooking NC III	6	Pressure Cooker	1	unit	Tramontina Pressure Cooker 80130	Stovetop pressure cooker, 5L capacity, stainless steel body, Tri-Ply base induction-ready, 18/10 stainless steel construction, Measures 17-1/4 by 10 by 8-1/2 inches	5,000.00	5,000.00	24,500.00	24,500.00	All American 921 21-1/2-Quart Pressure Cooker/ Canner	Industrial Pressure Cooker, Stove Top, with capacity of 21 quarts, with geared pressure gauge and variable pressure valve (5, 10, 15 psi), made of high-quality die cast aluminum
72	Opol National Secondary Technical School	Commercial Cooking NC III	6	Electric Kneading Machine	1	unit	Moulinex QA403	Electric Kneading Machine, 4 L mixing bowl capacity, 900W, 220 V, planetary mixing action	15,000.00	15,000.00	31,125.00	31,125.00	KitchenAid 5KSM 150	Electric tilt-head stand mixer, 5 quarts bowl capacity, 300W, 220 V, planetary mixing action

Item Number	School	Specialization	Lot #	Item / Description	Qty.	Unit	Reference Make / Model	Specifications	Schools' Estimate, Unit Cost PHP	Schools' Estimate, Total Cost PHP	Unit Cost PHP	Total Cost PHP	Make / Model	Specifications
73	Opol National Secondary Technical School	Food and Beverage Services NC II	6	Coffee Maker	1	unit	Philips Advance Collection HD 7447 (1.3 Ltr.)	Coffee Maker, Capacity: 1.2 L, Power: 1000 W, Voltage: 220-240 V, Frequency: 50/60 Hz, Brewing time: 10 minute(s), Water level indication, Detachable filter holder, Drip stop, Illuminated power switch	10,000.00	10,000.00	3,600.00	3,600.00	Philips Advance Collection HD 7447	Coffee Maker, Capacity: 1.2 L, Power: 1000 W, Voltage: 220-240 V, Frequency: 50/60 Hz, Brewing time: 10 minute(s), Water level indication, Detachable filter holder, Drip stop, Illuminated power switch
74	Opol National Secondary Technical School	Commercial Cooking NC III	14	Sealer	1	unit	FR-900	Continuous bag band sealer, Sealing width: 6 to 12 mm, Conveyor Speed: 8mtrs per minute, Packaging LD, PP, HM and laminated pouches, aluminum foil or paper, Power: 230 V / 50 Hz	30,000.00	30,000.00	28,370.00	28,370.00	Hulian FRB-770-II	Continuous Band Sealer, 220V/50Hz, Power:50W, Sealing Power:300x2W, Sealing Speed(m/min):0-12 (0-16), Sealing Width(mm):810, Temperature Range:0-300, Distance from Sealing Center to Conveyor Table:150-270, Conveyor Table Size (LxW):840x153 mm, Max. Conveyor Loading for Single Package:≤1 kg, Overall Conveyor Loading:≤3 kg, External Dimensions (LxWxH):840x380x550 mm, Net Weight:37 kg, Ideal for solids/liquids, and aluminum/paper
75	Opol National Secondary Technical School	Commercial Cooking NC III	14	Stuffer	1	unit	Monaris TV3L	Sausage stuffer, manual, full stainless steel structure, 3 liters capacity, stuffer tube Diameter x L (mm): φ140 x 200, four-size stuffing tubes, vertical, 2-level speed for pushing and moving back	13,000.00	13,000.00	21,150.00	21,150.00	TVL3	Sausage stuffer, manual, full stainless steel structure, aluminium gear box, 3L capacity, includes four different sizes of blades and four different hole sizes, 2-level speed
76	Opol National Secondary Technical School	Commercial Cooking NC III	14	Meat Processor/Grinder	1	unit	Monaris Tasin Meat Grinder 1/2 HP	Meat grinder, stainless steel, capacity: 200+ kgs/hr., 1/2 HP, 220-240 V, 50-60 HZ, with sausage funnel, includes 4 different sizes of blades and 4 different hole size, detachable cutting tools	12,000.00	12,000.00	17,220.00	17,220.00	Tasin TS-102AL	Meat grinder, stainless steel, capacity: 200+ kgs/hr., 1/2 HP, 220-240 V, 50-60 HZ, with 1 sausage funnel and pestle, includes 4 mesh blades (1/4", 3/8", 1/2", 1/4"), 3 blade sets (2-blade:1 pc, 3-blade:2 pcs, 4-blade:1 pc),
77	Opol National Secondary Technical School	Commercial Cooking NC III	14	Food Warmer	1	unit	Monaris Food warmer, double	Food warmer, heated countertop display, 30 to 90 degrees Celsius inner temperature range, 36 x 19 x 24 (LXWXH in inches), thermostatically controlled, 220V/60Hz	15,000.00	15,000.00	28,580.00	28,580.00	Berjaya FW45	Food warmer, stainless steel construction, 30 to 90 degrees Celsius inner temperature range, 797mmL x 337+84mmD x 515mmH, thermostatically controlled, tempered glass doors, 240V, Nominal Amps:4.6A, Total Load: 1060w, Weight : 23kg, Volume 0.20m³
78	Opol National Secondary Technical School	Commercial Cooking NC III	14	Counter Top Gas Griddles	1	unit	Monaris Gas griddle	Dimension: 26 X 24 X 16 inches, food grade stainless steel, griddle size 22 x 16 inches, counter top model, plate thickness: 1" (25 mm), burner material: heavy grade metal	13,000.00	13,000.00	40,655.00	40,655.00	Justa TGH-21R	Gas Griddle, Counter Top model, Dimension: 600*612*470mm, griddle size 22 x 16 inches, counter top model, plate thickness: 1" (25 mm), burner material: heavy grade metal
79	Opol National Secondary Technical School	Commercial Cooking NC III	14	Gas Fryer	1	unit	Monaris Gas Fryer	Dimension: 22 X 14 X 12 inches, Oil Capacity 12L, Gas, food grade stainless steel body/hob top/tank, 2 baskets (chrome-plated)	30,000.00	30,000.00	41,870.00	41,870.00	Vesta TEF-6+6R	Gas Fryer, Counter Top model, Power:38.400 BTU/hr, Dimensions:600x612x470mm, Weight:31kg, Oil Capacity 12L (6L+6L), Gas, 2 baskets (chrome-plated)

Item Number	School	Specialization	Lot #	Item / Description	Qty.	Unit	Reference Make / Model	Specifications	Schools' Estimate, Unit Cost PHP	Schools' Estimate, Total Cost PHP	Unit Cost PHP	Total Cost PHP	Make / Model	Specifications
80	Opol National Secondary Technical School	Commercial Cooking NC III	14	Hot Bain Marie	1	unit	LF A06-BSB-4	Countertop Bain Marie, 4 Tubs w/ 4 food pans, 1/2 size x 4" w/ cover, 1170x350x315, 1,500w, 220V, stainless steel, 30 to 110 degrees Centigrade temperature range	15,000.00	15,000.00	32,345.00	32,345.00	Frigorific JR-8416	Countertop Bain Marie, 4 Tubs w/ 4 food pans, Dimension: 44"Lx17"Wx12"H + 16" sneeze guard, Capacity: 4 pcs. 1/2 x 4" pans with sneeze guard, tube lights included, Temperature range: 30 to 90°C, Power: 220 V, 60 Hz, 3 kW
81	Opol National Secondary Technical School	Commercial Cooking NC III	14	3-Burner	2	units	Okura A05-OJZY-050	Triple Top Cooker, gas, three low pressure double ring burners made of cast iron, 1.29 kg/h burner consumption	5,000.00	10,000.00	23,100.00	46,200.00	Whirlpool AKC7250/IX	High Pressure Built-in Cook Top, 2 High Power Double Ring Gas Burners (5.0 kW Italian Sabaf HEO), Cast Iron Pan Support, Battery Ignition, Safety Valve, High Grade Stainless Steel 304 surface, Flexible Clip, Dimensions (HWD): 510x770X98 mm
82	Opol National Secondary Technical School	Commercial Cooking NC III	14	Cake Showcase	1	unit	AR 160	Cake Showcase, Dimension: 874mmW x 568mmD x 686mmH, Capacity: 160 litres, Temperature: +2C to +8C, System: Blower (frost free), Finishing: Stainless steel, Glass: 4 side double layer glass, Electrical: 230 watt, Weight: 74kg, Accessories: Digital temperature controller, 2 pcs adjustable chrome plate shelves, internal L.E.D lighting	12,000.00	12,000.00	50,965.00	50,965.00	CN Rotor RTW-160L	Cake Showcase, Dimension: 35"L x 23"W x 27"H, Capacity: 160 litres, Temperature: 2 to 12°C, Stainless steel base, Glass: 4 side double layer glass, Curved front glass, Digital temperature controller, 2 pcs adjustable chrome plate shelves, LED lights, Countertop, Power: 220 V, 60 Hz, 160 W
83	Opol National Secondary Technical School	Commercial Cooking NC III	15	Production Table	6	units	Real WTM-72	Stainless steel production table, with bottom shelf, 72" by 27.5", food grade stainless steel (type 304)	21,000.00	126,000.00	21,000.00	126,000.00	Real Brand WTM-72	Stainless steel production table, with bottom shelf, 72" by 27.5", food grade stainless steel (type 304)
84	Opol National Secondary Technical School	Commercial Cooking NC III	15	Stainless Steel Rack	1	unit	Real A03-JW-N4818	Wire rack / shelving, 4 tiers storage rack/shelves, 4 x 1.5 x 5ft, chrome plated, round pipes	10,000.00	10,000.00	8,300.00	8,300.00	Real A03-JW-N4818	Wire rack / shelving, 4 tiers storage rack/shelves, 4 x 1.5 x 5ft, chrome plated, round pipes
85	Opol National Secondary Technical School	Commercial Cooking NC III	15	Service Trolley	2	units	Real A03-AF08164	Stainless steel 3-layer service trolley, 4 swiveling casters (100mm wheel diameter), Dimension: 865x450x895mmH, square tube frame, food grade stainless steel (type 304)	3,000.00	6,000.00	7,900.00	15,800.00	Real A03-AF08164	Stainless steel 3-layer service trolley, 4 swiveling casters (100mm wheel diameter), Dimension: 865x450x895mmH, square tube frame, food grade stainless steel (type 304)
86	Opol National Secondary Technical School	Commercial Cooking NC III	15	Crating Charge	1	charge		Crating for all units	0.00	0.00	10,000.00	10,000.00	Crating Charge	Crating for all units
87	Opol National Secondary Technical School	Commercial Cooking NC III	15	Delivery Charge	1	charge		Delivery Charge to Opol, Misamis Oriental	0.00	0.00	38,000.00	38,000.00	Delivery Charge	Delivery Charge to Opol, Misamis Oriental

Item Number	School	Specialization	Lot #	Item / Description	Qty.	Unit	Reference Make / Model	Specifications	Schools' Estimate, Unit Cost PHP	Schools' Estimate, Total Cost PHP	Unit Cost PHP	Total Cost PHP	Make / Model	Specifications
88	Rogongon Agricultural High School and Iligan City National School of Fisheries	Agriculture	3	Laptop Computer Microsoft Window	2	units	ASUS UX30	Laptop Computer Microsoft Windows 7 Home Basic OS and MS Office Chipset Mobile Intel® GS45 Express Chipset Main Memory 4GB DDR2 Memory Display 13.3" WXGA/ Resolution 1366x768 Video Graphics & Memory Intel® GMA 4500MHD Hard Drive 2.5" 9.5mm SATA 320GB, Card Reader 2 in 1 card reader, SD,MMC Battery Pack & Life Polymer 3 cells: 3250 mAh AC Adapter Output: 19 V DC, 3.42 A, 40W Input: 100-240 V AC, 50/60 Hz universal 3/2 pin compact power supply system	37,094.70	74,189.40	26,990.00	53,980.00	Lenovo G4070 (5944-1219)	Lap Top Computer with MS Office 2013 Home & Student; Processor: Intel Core i3 4030 (1.9Ghz); Memory 2GB DDR3; HDD 500GB SATA; Card Reader 4 in 1 , One Express Card slot; VGA: 2GB VGA ATI JET LER5M230; Display: 14" WSVGA (1366 x 768); DVD Writer: Super Multi DVD Writer; O.S: 8.1 Windows; Network: Modem/ Integrated LAN/ Intel PRO/RJ-11/RJ45; Others: Bluetooth, 3 Mega Pixel Camera, Audio, Mic/Bluetooth; USB Ports: 1USB 3.0, 2 USB 2.0, with retractable optical mouse and bag pack
89	Rogongon Agricultural High School and Iligan City National School of Fisheries	Agriculture	3	Projector	2	units	ACER P1173 3000	Projector, 3000 lumens, SVGA (800 x 600), 13,000:1, 4:3 (Native), 16:9 (Compatible), 1.86 ~ 2.04:1, 5000 Hour (Normal Mode) and 6000 Hour (Economy Mode)	20,900.00	41,800.00	18,995.00	37,990.00	Epson EB-S18	Projector, Projection System: 3LCD Technology, LCD Panel: 0.55 inch, Colour Light and White Light Output: 3,000 Lumen in accordance with ISO 21118:2012, Resolution: SVGA, 800 x 600, Aspect Ratio: 4:3, Contrast Ratio: 10,000 : 1, Lamp: 200 W and 5,000 h durability, Keystone Correction Auto vertical: ± 30 ° and Manual horizontal ± 30 °, Colour Processing: 10 Bits, 2D Vertical Refresh Rate: 50 Hz - 85 Hz, Projection Ratio :1.45 - 1.96:1, Digital Zoom Factor: 1.35, Lens: Optical, Projection Size: 30 inches - 350 inches, Projection Distance Wide/Tele 1.77 m - 2.4 m (60 inch screen), Projection Lens F Number: 1.44, Focal Distance: 16.7 mm, Focus: Manual, Offset: 8 : 1, USB Display Function: 3 in 1 (Image / Mouse / Sound); Interfaces: Cinch audio in, VGA in, RGB in, S-Video in, Component in, Composite in, HDMI in, Wireless LAN IEEE 802.11b/g/n (optional), USB 2.0 Type B, USB 2.0 Type A; Energy Use: 270 Watt, 201 Watt (economy), 0.28 Watt (standby); Supply Voltage: AC 100 V - 240 V, 50 Hz - 60 Hz; Noise Level: Normal: 37 dB (A) - Economy: 29 dB (A); Temperature Operation 5° C - 35° C, Storage -10° C - 60° C, Humidity Operation 20% - 80%, Storage 10% - 90%; Loudspeaker: 2 Watt; Inclusive of Carrying bag, Computer cable, Main unit, Power cable, Remote control incl. batteries, USB cable, User's Manual Set, and Warranty Documents, with projection screen
90	Rogongon Agricultural High School	Agricultural Crop Production NC III	7	Sumo hand tractor (Sumo Diesel Eng	2	units	Sumo hand tractor (Sumo Diesel Engine)Hand Tractor SPHT-60-DP w/2 Disc Plow Gear case: machine pressed Chain size: 60x60 ansi/chain number Hexagonal shaft: 1-1/4 inches Cage wheel(diameter) : 22 inches No. of blades: 12 +12 pcs Overall dimension: 105" x36" x48 "(l x h x w) Weight: 190 kgs Implements: SPHT-60-SP with single plow, and SPHT-60-RK RAKE	Hand tractor (gasoline) w/2 Disc Plow, Gear case: machine pressed, Chain size: 60x60 ansi/chain number, Hexagonal shaft: 1-1/4 inches, Cage wheel (diameter) : 22 inches, No. of blades: 12 +12 pcs, Overall dimension: 105" x36" x48" (l x h x w), Weight: 190 kgs, with disc plow and rake, disc plow diameter: _____, disc plow thickness: _____, specs for rake: _____	60,100.00	120,200.00	50,500.00	101,000.00	Sumo Hand Tractor SD 100T (10HP)	Hand Tractor SPHT-60-DP w/2 Disc Plow, Gear case: machine pressed, Chain size: 60x60, ansi / chain number, Hexagonal shaft: 1-1/4 inches, Cage wheel(diameter) : 22 inches, No. of blades: 12 +12 pcs, Overall dimension: 105" x36" x48", Weight: 190 kg.
91	Rogongon Agricultural High School	Agricultural Crop Production NC III	7	Implements	1	unit	SPHT-60-SP with single plow	Single plow implement for hand tractor	7,150.00	7,150.00	6,368.00	6,368.00	SPHT-60-SP with single plow	Single plow implement for hand tractor

Item Number	School	Specialization	Lot #	Item / Description	Qty.	Unit	Reference Make / Model	Specifications	Schools' Estimate, Unit Cost PHP	Schools' Estimate, Total Cost PHP	Unit Cost PHP	Total Cost PHP	Make / Model	Specifications
92	Rogongon Agricultural High School	Agricultural Crop Production NC III	7	Implements	1	unit	SPHT-60-RK RAKE	Rake implement for hand tractor	5,150.00	5,150.00	4,555.00	4,555.00	SPHT-60-RK	Rake implement for hand tractor
93	Rogongon Agricultural High School	Agricultural Crop Production NC III	7	Robin Brush Cutter (4 stroke)	5	units	Robin Brush Cutter (4 stroke) Robin Brush Cutter (4 stroke) Engine : EH-035 Displacement (c.c) 33.5 Max.Output (hp/rpm) 1.6/7000 Max Torques (Nm/rpm) 1.76/5000 Carburetor Type : Diaphragm Fuel: Gasoline Fuel Tank Capacity (liter) : 0.65 Ignition: Transistorized Magneto Overall length (cm): 179.5 Dry Weight (kg) : 7.6 Anti-vibration device: on handle	Brush Cutter, 4-stroke, Displacement (c.c) 33.5, Max. Output (hp/rpm) 1.6/7000, Max Torque (Nm/rpm) 1.76/5000, Carburetor Type : Diaphragm, Fuel: Gasoline, Fuel Tank Capacity (liter) : 0.65, Ignition: Transistorized Magneto, Overall length (cm): 179.5, Dry Weight (kg) : 7.6, Anti-vibration device: on handle	16,285.00	81,425.00	16,750.00	83,750.00	Robin	Robin Brush Cutter (4 stroke), Engine : EH-035, Displacement (c.c) 33.5, Max. Output (hp/rpm) 1.6/7000, Max Torque (Nm/rpm) 1.76/5000, Carburetor Type : Diaphragm, Fuel: Gasoline, Fuel Tank Capacity (liter) : 0.65, Ignition: Transistorized Magneto, Overall length (cm): 179.5, Dry Weight (kg) : 7.6, Anti-vibration device: on handle
94	Rogongon Agricultural High School		7	Knapsack sprayer	15	units	Tungho Knapsack sprayer (16-L capacity/Stainless) heavy duty	Knapsack sprayer, Manual, 16-L capacity, Stainless, heavy duty	3,300.00	49,500.00	3,200.00	48,000.00	Tungho	Tungho Knapsack sprayer, manual, 16-L capacity, stainless, heavy duty
95	Rogongon Agricultural High School	Agricultural Crop Production NC III	7	Knapsack power sprayer	5	pcs	Knapsack sprayer (16-L/Stainless)Fujihama Knapsack Sprayer with engine model FT-800 Pressure(kg/cm2) -30-35 Spraying volume (L/min) 5.2-6.0 Max power (kw/hr/min-0.75/7500) Discharging capacity (cc) 25.4 Fuel tank capacity (L) – 0.6	Knapsack power sprayer, 16-L capacity, Stainless steel, Pressure(kg/cm2) -30-35, Spraying volume (L/min) 5.2-6.0, Max power (kw/hr/min-0.75/7500), Discharging capacity (cc) 25.4, Fuel tank capacity (L) 0.6	5,000.00	25,000.00	7,000.00	35,000.00	Fujihama	Fujihama Knapsack Sprayer, 25 L capacity, Pressure (Kg/cm2): 15-25, Engine: 1E135FA, Size(mm)(LxWxH): 435x345x620, Plunger diameter: 18 mm, 4 stroke
96	Rogongon Agricultural High School	Agricultural Crop Production NC III	7	Wheel barrow (heavy duty)	25	units	Wheel barrow (heavy duty)solid tire 14",galvanized	Wheel barrow, heavy duty, solid tire, 14" diameter, galvanized	2,842.00	71,050.00	2,200.00	55,000.00	Viking	Wheel borrow heavy duty with reel double ball bearing
97	Rogongon Agricultural High School	Agricultural Crop Production NC III	7	Step ladder	10	units	Step ladder (sure step aluminum multi-purpose ladder 16 step)	Step ladder, aluminum, 16 step	4,345.00	43,450.00	6,000.00	60,000.00	TW multi purpose ladder	Step ladder aluminum 16 steps with 4 folds
98	Rogongon Agricultural High School	Agricultural Crop Production NC III	7	Steel Storage Cabinet	5	units	Steel Storage CabinetSteel Storage Cabinet 76 cm (30 in.) 2 door tall locker cabinet All steel construction,2 pieces adjustable shelves, aluminum recessed door handles Net weight: 65 kg (143 lb)	Steel Storage Cabinet Steel Storage Cabinet, 76 cm (30 in.) 2 door tall locker cabinet, All steel construction,2 pieces adjustable shelves, aluminum recessed door handles Net weight: 65 kg (143 lb)	7,500.00	37,500.00	16,125.00	80,625.00	Steel Storage CabinetSteel Storage Cabinet 72 x36	Steel Storage CabinetSteel Storage Cabinet 72 x36

Item Number	School	Specialization	Lot #	Item / Description	Qty.	Unit	Reference Make / Model	Specifications	Schools' Estimate,Unit Cost PHP	Schools' Estimate, Total Cost PHP	Unit Cost PHP	Total Cost PHP	Make / Model	Specifications
99	Rogongon Agricultural High School	Agricultural Crop Production NC III	7	Weighing Scale (10kgs.)(Fuji)	5	pcs	Fuji Table Weighing Scale (10kgs.) (Big Pan) FTB-10	Table Weighing Scale, 10kg.	1,700.00	8,500.00	1,200.00	6,000.00	Fuji Table	Table Weighing Scale (10kgs.) (Big Pan) FTB-10
100	Rogongon Agricultural High School	Agricultural Crop Production NC III	7	WeighingScale (60 kgs.)(Fuji)	5	pcs	Fuji WeighingScale (60 kgs.) Flat Type	Weighing Scale, 60 kg., Flat Type	2,600.00	13,000.00	2,200.00	11,000.00	Fuji WeighingScale	Table Weighing Scale WeighingScale (60 kgs.) Flat Type
101	Rogongon Agricultural High School	Agricultural Crop Production NC III	7	Long tape (stanley)	5	pcs	Long tape (stanley) (100m)/ Fiber Measuring Tape (100m/330 ft)	Long tape, 100m, Fiber Measuring Tape	1,500.00	7,500.00	2,150.00	10,750.00	Symron Tajima (Japan)	Fiber glass tape 100 m
102	Rogongon Agricultural High School	Agricultural Crop Production NC III	7	Delivery charge	1	unit	Delivery charge	Delivery charge	0.00	0.00	1,750.00	1,750.00	Delivery charge	Delivery charge to Rogongon AHS
103	Rogongon Agricultural High School	Agricultural Crop Production NC III	7	Delivery charge	1	unit	Delivery charge	Delivery charge	0.00	0.00	1,750.00	1,750.00	Delivery charge	Delivery charge to Rogongon AHS
104	Rogongon Agricultural High School	Agricultural Crop Production NC III	8	Hedge shear	25	pcs	Hedge shear 11" Aluminum handles,8- ¼ blade	Hedge shear , 11"Aluminum handles, 8- ¼ blade	620.00	15,500.00	600.00	15,000.00	True Temper Hedge Shears with Wood Handles and Comfort Grips; Part #2346130	Hedge Shear Description:Use a hedge shear to trim grasses, bushes, small trees, hedges, and plants. The wavy blades keep branches in place while cutting. Adjustable tension knob allows for cutting different size plant material. Good quality tool for new homeowners.Features: 10 inch high carbon steel wavy blades,Contoured hardwood handles with comfort grips; Fully heat treated blades for strength;Adjustable tension knob
105	Rogongon Agricultural High School	Agricultural Crop Production NC III	8	Pruning Saw	25	pcs	Pruning Saw Heavy duty 13" with triple ground teeth, ideal cutting branches up to 5" in diameter	Pruning Saw, Heavy duty, 13" with triple ground teeth, ideal cutting branches up to 5" in diameter	644.75	16,118.75	300.00	7,500.00	Creston Pruning saw PSW 512	Pruning Saw 250mm carbon steel blade; Hollow ground blade for enhanced cutting performance 7ppi ultra sharp precision ground teeth
106	Rogongon Agricultural High School	Agricultural Crop Production NC III	8	Pruning shear	25	pcs	Pruning shear (rust resistant) general pruning task with dimension of 1 x 4 x 10.8 inches	Pruning shear, rust resistant, dimension of 1 x 4 x 10.8 inches	229.00	5,725.00	220.00	5,500.00	Creston PRUNING SHEAR 8"	Pruning shear Heavy duty pruning shears, Quality carbon steel blades; Thumb operated open/close foam grip handles for extended use; Locking feature for blades, Bypass blade design gives a clean cut with minimal crush, Locking latch keeps the handles and blades safely together
107	Rogongon Agricultural High School	Agricultural Crop Production NC III	8	Rubber Gloves	50	pairs	Rubber Gloves use for spraying chemical 12" inches length	Rubber Gloves use for spraying chemical 12" inches length	98.00	4,900.00	220.00	11,000.00		Industrial Rubber Gloves use for spraying chemical 12" inches length
108	Rogongon Agricultural High School	Agricultural Crop Production NC III	8	Garden Gloves	50	pairs	Garden gloves with latex , nylon 8" length	Garden gloves, with latex , nylon, 8" length	119.00	5,950.00	85.00	4,250.00		Garden gloves with latex , nylon 8" length
109	Rogongon Agricultural High School	Agricultural Crop Production NC III	8	Rubber boots	15	pairs	Hawk brand black, Size: 6 @ 370	Rubber boots, black, size 6	370.00	5,550.00	350.00	5,250.00	Hawk brand black, Size: 6 @ 370	

Item Number	School	Specialization	Lot #	Item / Description	Qty.	Unit	Reference Make / Model	Specifications	Schools' Estimate, Unit Cost PHP	Schools' Estimate, Total Cost PHP	Unit Cost PHP	Total Cost PHP	Make / Model	Specifications
110	Rogongon Agricultural High School		8	Rubber boots	15	pairs	Hawk brand black, Size 7& 8 @ 350	Rubber boots, black, size 7-8	350.00	5,250.00	350.00	5,250.00	Hawk brand black, Size 7& 8 @ 350	
111	Rogongon Agricultural High School		8	Rubber boots	10	pairs	Hawk brand black, Size 9 @ 320	Rubber boots, black, size 9	320.00	3,200.00	350.00	3,500.00	Hawk brand black, Size 9 @ 320	
112	Rogongon Agricultural High School		8	Rubber boots	10	pairs	Hawk brand black, Size 10	Rubber boots, black, size 10	370.00	3,700.00	350.00	3,500.00	Hawk brand black, Size 10	
113	Rogongon Agricultural High School	Agricultural Crop Production NC III	8	Rubber coat	50	pcs	Rubber coat (Hercules) vinyl quality up and down	Rubber coat, vinyl quality, up and down	470.00	23,500.00	450.00	22,500.00	Hercules	Export quality; Thick and heavy-duty. Finest vinyl quality. 100% water-proof. 100% electronically heat-sealed.
114	Rogongon Agricultural High School	Agricultural Crop Production NC III	8	Goggles	50	pcs	Goggles(poly vinyl chloride) material type transparent,	Goggles, poly vinyl chloride, material type transparent	239.00	11,950.00	75.00	3,750.00		Goggles(poly vinyl chloride) material type transparent,
115	Rogongon Agricultural High School	Agricultural Crop Production NC III	8	Hand trowel	50	pcs	Hand trowel heavy duty with rubberized handle, 4 inch wide x 4 inch length, rust resistant,	Hand trowel, heavy duty with rubberized handle, 4 inch wide x 4 inch length, rust resistant	229.00	11,450.00	160.00	8,000.00	Creston TROWEL CGS500	Hand Trowel Manufactured to the highest standard using stainless steel; Narrow body for precise digging with depth marks on face, helpful for bulb planting etc. Tang (neck) is precision forged to the optimal angle for ergonomic working. Heavy duty PVC handle Laquer
116	Rogongon Agricultural High School	Agricultural Crop Production NC III	8	Pruning rake	25	pcs	Pruning rake heavy duty, 3 teeth, rubberized handle, rust resistant, stainless	Pruning rake, heavy duty, 3 teeth, rubberized handle, rust resistant, stainless	59.00	1,475.00	160.00	4,000.00	Creston CULTIVATOR CGS502/ Pruning Rake	Pruning Rake Manufactured to the highest standard using stainless steel; Narrow body for precise digging with depth marks on face - helpful for bulb planting etc. Tang (neck) is precision forged to the optimal angle for ergonomic working. Heavy duty PVC handle; Laquer Inish. CR-MO Steel
117	Rogongon Agricultural High School	Agricultural Crop Production NC III	8	Rake	25	pcs	Rake heavy duty long steel handle with 16 teeth, light weight	Rake, heavy duty, long steel handle, with 16 teeth, light weight	399.00	9,975.00	230.00	5,750.00	Creston GARDEN RAKE 14T CRK303	Rake Fabricated carbon steel head, and socket heat treated for strength; Wood Shaft, Epoxy coated head for improved resistance to rust, scratches, humidity and alkaline in the soil, Tubular steel shaft; 14 teeth
118	Rogongon Agricultural High School	Agricultural Crop Production NC III	8	Slashing bolo	50	pcs	Slashing bolo heavy duty ,stainless, 50" x 5" with rubberized handle	Slashing bolo, heavy duty ,stainless, 50" x 5" with rubberized handle	669.75	33,487.50	350.00	17,500.00		Bolo, heavy duty, steel, 19" x 1 and 3/4" blade, wood handle
119	Rogongon Agricultural High School	Agricultural Crop Production NC III	8	Post hole digger	50	pcs	Post hole digger PE60, rust resistant, twin blades, can dig a hole of 6-7 inch, handles are replaceable, product weight of 3-4 kg.	Post hole digger, rust resistant, twin blades, can dig a hole of 6-7 inch, handles are replaceable, product weight of 3-4 kg.	700.00	35,000.00	910.00	45,500.00	Creston POST HOLE DIGGER CDG102	Post Hole digger Ideal for digging fence post holes ; Hardened steel blades ,Oval mouth shovel blades quickly .

Item Number	School	Specialization	Lot #	Item / Description	Qty.	Unit	Reference Make / Model	Specifications	Schools' Estimate,Unit Cost PHP	Schools' Estimate, Total Cost PHP	Unit Cost PHP	Total Cost PHP	Make / Model	Specifications
120	Rogongon Agricultural High School	Agricultural Crop Production NC III	8	Shovel	50	pcs	Shovel (pointed) heavy duty , steel, with hard wood handle and plastic grip, 15.5x20.5x68.0cm light weight	Shovel, pointed, heavy duty , steel, with hard wood handle and plastic grip, 15.5x20.5x68.0cm light weight	260.00	13,000.00	330.00	16,500.00	Creston ROUND POINT SHOVEL CNS803	Shovel- Wooden Handle Ideal for light digging and moving shingle, sand and gravel, Ideal for work in confined areas. Useful for deep holes and ditched, Ash wood shaft for greater durability
121	Rogongon Agricultural High School	Agricultural Crop Production NC III	8	Blunt Bolo	50	pcs	Blunt Bolo heavy duty with wood handle	Blunt Bolo, heavy duty, with wood handle	250.00	12,500.00	475.00	23,750.00		Blunt Bolo heavy duty with wood handle
122	Rogongon Agricultural High School	Agricultural Crop Production NC III	8	Pick mattock	25	pcs	Pick mattock with fiber glass handle heavy duty	Pick mattock, with fiber glass handle heavy duty	580.00	14,500.00	720.00	18,000.00	John Benzen Pick mattock	Pick mattock 4.5lbs with fiber glass handle
123	Rogongon Agricultural High School	Agricultural Crop Production NC III	9	Soil tester	4	units		Soil tester, ph meter , 4 in 1 functions Can measure ph level 3.5 to 9.0 Dimension 7.9 in x 0.24 in	13,000.00	52,000.00	12,197.00	48,788.00	Kelway	
124	Tagum National Trade School	Automotive Servicing NC II; and Small Engine and Motorcycle Servicing NC II	17	4 Post Lift	1	set	Bendpak HD-9	4 Post Lift Lifting capacity*: 9,000 lbs. / 4,082 kg Max capacity / front axle: 4,500 lbs. / 2,041 kg Max capacity / rear axle: 4,500 lbs. / 2,041 kg Overall width: 99-3/4" / 2,534 mm Outside length: 174" / 4,420 mm Overall length: 200" / 5,080 mm Height of columns: 88" / 2,235 mm Runway min height: 4-1/2" / 114 mm Max rise: 70" / 1,778 mm Max lifting height: 74-1/2" / 1,892 mm Width between posts: 89-3/4" / 2,280 mm Runway width: 19" / 483 mm Width between runways: 37-1/2" / 952 mm Runway center line: 56-1/2" / 1,435 mm Outside edge of runways: 75-1/2" / 1,918 mm Length of runways: 164" / 4166 mm Min. wheelbase @ rated capacity: 115" / 2,921 mm Min. wheelbase @ 75% capacity: 100" / 2,540 mm Min. wheelbase @ 50% capacity: 85" / 2,159 mm Min. wheelbase @ 25% capacity: 70" / 1,778 mm Locking positions: 12 Lock spacing: every 4" / 102 mm Lifting time: 45 sec Motor: 220 VAC / 60 Hz / 1 Ph Shipping weight: 1,872 lbs. / 851 kg Shipping dimensions: 180" x 22" x 40" / 4,572 mm x 559 mm x 1,016 mm	280,000.00	280,000.00	260,000.00	260,000.00	Veritek Y4J-5500	Four-Post Alignment Lift. Lifting Capacity: 5500 kg (12000 lb); Lifting Height: 1850 mm; Lifting Time(Loaded): 40 s; Lowering Time(Loaded): 30 s; Width Between Columns: 2850 mm; Length of Platform: 5170 mm; Width of Each Platform: 560 mm; Minimum Height of Platform: 175 mm; Net Weight: 1250 kg (2500 lb); Motor: 220 VAC / 60 Hz / Single Phase; Includes 1 unit each: Manual waste oil drain (60L capacity); Mechanical creeper(101x47.5x13 cm) and one set Filter cap wrench (15 pcs cap tyre oil filter wrench FW-0701, with carry case)

Item Number	School	Specialization	Lot #	Item / Description	Qty.	Unit	Reference Make / Model	Specifications	Schools' Estimate, Unit Cost PHP	Schools' Estimate, Total Cost PHP	Unit Cost PHP	Total Cost PHP	Make / Model	Specifications
125	Tagum National Trade School	Automotive Servicing NC II; and Small Engine and Motorcycle Servicing NC II	17	Computerized wheel aligner	1	set	Heshbon 710	Computerized wheel aligner w/ 8 CCD Image Sensor System Sensors: Wireless type (Bluetooth) Sensor Type: CCD Clamp: 9"to 21" Spoiler: O Printer: O Cabinet: Basic Resolution for Toe, Camber, Setback and Caster: ±0.01 Measurement Range for Toe, Camber and Setback: ±22 Measurement Range for Caster: ±18 Computer specifications : Windows 7 OS, INTEL motherboard, 256 MB RAM, 80 GB HD, DVD reader, High speed USB 2.0 port, Ethernet network circuit board, Optical mouse, Key board, 17" Color LCD monitor, inkjet printer, Brake pedal depressor and Steering clamp	550,000.00	550,000.00	298,000.00	298,000.00	3Excel Classic E315	Computerized wheel aligner w/ 8 CCD Image Sensors. Sensor Type: Charge Coupled Device (CCD), 8 heads, Bluetooth sensors, 3D Animation demo system; Measurement Accuracy for Camber and Steering Axis Inclination (SAI) / King Pin Inclination (KPI): ±0.1°; Measurement Accuracy for Front and Rear Wheel Individual Toe: ±0.01°; Measurement Accuracy for Front / Rear Wheel Total Toe: ±0.02°; Measurement Accuracy for Front / Rear Wheel Camber, Thrust Angle and Setback: ±0.03°; Measurement Range for Front / Rear Wheel Individual Toe, Thrust Angle and Setback: ±2° Measurement Range for Front / Rear Wheel Total Toe, Front / Rear Wheel Camber: ±4° Measurement Range for Camber and SAI/KPI: ±18° Product Configuration: Cabinet, Computer with Windows OS, Deskjet Printer, 4 measurement probes, Steering lock, 5 Adjustment gaskets, Pedal Depressor, 2 Mechanical turntables, 4 four-point wheel clamps, Bluetooth communication box, 2 emergency charging wires (6m), 4 Wheel clamp fasteners, and 2 Adjustment screws. Includes: One set Allen wrench keys and One unit Tool caddy (706x450x950mm, with casters)
126	Tagum National Trade School	Automotive Servicing NC II; and Small Engine and Motorcycle Servicing NC II	17	Wheel balancer	1	set	Geodyna 960	Motorised wheel balancer Rim centre bore diameter (mm)43 - 116 Shaft diameter (mm)40 Measuring speed (rpm) <100 Display / Monitor LED Felgenreite (Inch)3 - 20 Rim diameter (Inch)10 - 30 Wheel width max. (mm)500 Wheel diameter max. (mm)900 Wheel weight max. (kg)70 Power supply 200-240 VAC ; 1 ph'50/60Hz Dimensions Width (mm)1100 Dimensions - Depth (mm)1050 Dimensions - Height (mm)1710 Machine weight (kg)70 Noise level (dB (A)) <70	140,000.00	140,000.00	60,000.00	60,000.00	Veritek V95BB	Motorized wheel balancer. Wheel weight max. (kg): 65; Motor power: 0.2kW/0.37kW; Power Supply: 220 V / 110 V; Balancing Accuracy: 1 gram; Balancing speed: 200 rpm; Rim diameter : 10 to 30 inches; Rim width: 1.5 to 20 inches; Balancing Modes: Dynamic for standard rims, 3 ALU modes for alloy rims, static mode for motorcycle rims. Set includes: ½ Inch Air impact wrench with 9,10,11,13,14,17,19,22,24,27 mm sockets, wheel weight pliers, 25 pcs. wheel weights and 15 meters polyurethane hose.
127	Tagum National Trade School	Automotive Servicing NC II; and Small Engine and Motorcycle Servicing NC II	17	OBDN Scanner	1	piece		OBDN Scanner With U480 code reader Reads and clears generic and manufacturer specific	2,500.00	2,500.00	110,000.00	110,000.00	Launch X431 5C	OBD II Scanner. Reads and clears generic and manufacture-specific Diagnostic Trouble Codes; Operating System: Android; CPU: Dual Core; Battery: 3000mAh (rechargeable); Memory: 512 MB; Extension memory Card: 32GB MicroSD Card Supported; Storage: 2GB; LCD Screen: 7 inches; LCD Resolution: 1024 x 600; Five point capacitive touch screen; Cameras: 2MP rear and 0.3 MP front; WiFi and Bluetooth enabled. Includes: 2TB Auto Data, X431 5C Tablet, OBD2 Bluetooth Adapter, OBD Cable, USB Cable, AC Adapter, Password envelope, and X-431 5C protection sleeve

Item Number	School	Specialization	Lot #	Item / Description	Qty.	Unit	Reference Make / Model	Specifications	Schools' Estimate, Unit Cost PHP	Schools' Estimate, Total Cost PHP	Unit Cost PHP	Total Cost PHP	Make / Model	Specifications
128	Tagum National Trade School	Automotive Servicing NC II; and Small Engine and Motorcycle Servicing NC II	17	Delivery and installation charges	1	unit		Delivery and installation charges	0.00	0.00	22,000.00	22,000.00		Delivery, installation and testing at TNTS, with training of TNTS personnel on proper operation and basic maintenance of equipment.

Total Amount (PHP):

5,659,087.82

Lot #	Description - School	Request for Quotation Sent (Supplier and Date)					Quotation Received (Date and Amount)					Purchase Order Sent	Delivery (Purchase Order Schedule and Actual Date)	Inspection (School and JPT)	Payment (Date, Mode and Amount)	Notes
		Supplier 1	Supplier 2	Supplier 3	Supplier 4	Supplier 5	Supplier 1	Supplier 2	Supplier 3	Supplier 4	Supplier 5					
1	4WD Farm Tractor - Bukig	FTPI	IHEC	SEAC	Sojitz	/	20150724	20150730	Declined	Declined	/	FTPI - 20150730	PO - 20150824	BNATS: 20150824	20150824 - MC	
		20150710	20150710	20150710	20150710	/	1,000,000.00	1,850,000.00	/	/	/	1,000,000.00	Actual - 20150821	JPT: 20150824	1,000,000.00	
2	Materials for Gas Tank House - Opol	Mackun Marketing	Jirah Enterprises	Incremental	/	/	20150727	20150727	20150725	/	/	Jirah Enterprises - 20150803	PO - 20150810	ONSTS: 20150810	20150826 - Cash	
		20150716	20150716	20150716	/	/	15,342.40	16,520.00	18,477.00	/	/	16,520.00	Actual - 20150810	JPT: 20150826	16,520.00	
3	Computers and Projectors - Iligan & Rogongon	EMCOR Iligan City	Gaisano Interpace	Octagon - Iligan City	/	/	20150727	20150728	20150728	/	/	Gaisano Interpace - 20150803	PO - 20150827 (pick-up)	ICNSF and RAHS: 20150826 (inspection at the shop before delivering)	20150827 - Cash	
		20150716	20150716	20150716	/	/	71,970.00	137,955.00	147,720.00	/	/	137,955.00	Actual - 20150827	JPT: 20150827	137,955.00	
4	Furniture - Opol	Mandaua Foam	Twinkle Trading	Mega Home	/	/	20150727	20150724	20150729	/	/	Twinkle Trading - 20150803	PO - 20150826	ONSTS: 20150826	20150902 - Cash	
		20150716	20150716	20150716	/	/	84,450.00	74,000.00	95,680.00	/	/	74,000.00	Actual - 20150826	JPT: 20150826	74,000.00	
5	Airconditioning and Refs - Opol	Emcor - CDO	Asian Home	Robinsons Appliances - CDO	Abensons (online)	/	20150727	20150724	20150729	Abensons (online)	/	Asian Home - 20150803	PO - 20150826	ONSTS: 20150826	20150826 - Cash	
		20150716	20150716	20150716	N/A	/	266,455.00	232,900.00	105,340.00	278,989.00	/	232,900.00	Actual - 20150826	JPT: 20150826	232,900.00	
6	Kitchen Equipment - Opol	EMCOR	Robinsons Appliances - CDO	Asian Home	Mindanao Glassware	Jirah Enterprises	20150728	20150722	20150729	20150730	20150730	Jirah Enterprises - 20150805	PO - 20150826	ONSTS: 20150825	20150826 - Cash	
		20150716	20150716	20150716	20150716	20150716	128,837.00	63,550.00	59,300.00	295,545.60	207,335.00	207,335.00	Actual - 20150825	JPT: 20150826	207,335.00	
7	Agricultural Equipment - Rogongon	Mackun Marketing	Isalama Industries	Krypton	/	/	20150728	20150730	20150721	/	/	Isalama Industries - 20150805	PO - 20150827	RAHS: 20150826 (inspection at the shop before delivering)	20150902 - MC	
		20150716	20150716	20150716	/	/	673,985.00	499,298.00	1,826,000.00	/	/	503,798.00	Actual - 20150827	JPT: 20150827	503,798.00	
8	Agricultural Hand Tools and PPE - Rogongon	Robinsons Handyman	Isalama Industries	Krypton	Mackun Marketing	/	20150715	20150730	20150721	20150727	/	Isalama Industries - 20150805	PO - 20150827	RAHS: 20150827 and 20150902	20150902 - MC	
		20150716	20150716	20150716	20150716	/	176,022.50	227,750.00	8,636,200.00	230,500.00	/	227,750.00	Actual - 20150827	JPT: 20150827	227,750.00	
9	Measuring and laboratory equipment - Rogongon	Krypton	Enzed	Golden Bat	/	/	20150730	20150729	20150805	/	/	Golden Bat - 20150810	PO - 20151104	RAHS: 20151120	20151129 - Bank Deposit	
		20150716	20150716	20150727	/	/	135,600.00	58,520.00	48,788.00	/	/	48,788.00	Actual - 20151121	JPT: 20151016 (inspection at the Project Office)	48,788.00	
10	Measuring Equipment - Bataan	Enzed Trade	FEV	Sun East Asia Corp.	/	/	20150729	20150731	20150730	/	/	Sun East Asia Corp. - 20150803	PO - 20150903	BSF: 20150903	20150914 - Bank Deposit	
		20150716	20150716	20150716	/	/	175,260.00	43,000.00	287,882.00	/	/	287,882.00	Actual - 20150903	JPT: 20150911	287,882.00	

Lot #	Description - School	Request for Quotation Sent (Supplier and Date)					Quotation Received (Date and Amount)					Purchase Order Sent	Delivery (Purchase Order Schedule and Actual Date)	Inspection (School and JPT)	Payment (Date, Mode and Amount)	Notes
		Supplier 1	Supplier 2	Supplier 3	Supplier 4	Supplier 5	Supplier 1	Supplier 2	Supplier 3	Supplier 4	Supplier 5					
11	Specialized Aquaculture Equipment - Bataan	Suntrade	Sun East Asia Corp.	Ruel Aquaculture Supplies and Trading	/	/	20150810	20150818	20150818	/	/	Ruel Aquaculture Supplies and Trading - 20150820	PO - 20150903	BSF:20150831	20150903 - MC	
		20150716	20150716	20150810	/	/	99,000.00	271,770.00	190,500.00	/	/	190,500.00	Actual - 20150831	JPT: 20150911	190,500.00	
12	Food Processing Equipment - Bataan	Sun East Asia Corp.	Savers Home Depot	Abensons Online	/	/	20150730	20150730	20150731	/	/	Sun East Asia Corp. - 20150803	PO - 20150827	BSF 20150827	20150828 - Bank Deposit	
		20150716	20150716	NA	/	/	99,464.00	60,525.00	70,089.00	/	/	99,464.00	Actual - 20150827	JPT: 20150911	99,464.00	
13	Specialized Food Processing Equipment - Bataan	Sun East Asia Corp.	Merit Stainless Steel	Sojitz	De Leon	/	20150730	20150721	Declined	Declined	/	Sun East Asia Corp. - 20150803	PO - 20150827	BSF: 20150827	20151002 - Bank Deposit	
		20150716	20150716	20150716	20150716	/	296,416.00	426,500.00	/	/	/	296,416.00	Actual - 20150827	JPT: 20150911	296,416.00	
14	Specialized Kitchen Equipment - Opol	TLX Davao	Merit Davao	CT Concepts	JJC	Sun East Asia Corp.	20150729	20150721	20150730	20150721	20150813	Sun East Asia Corp- 20150814	PO- 20150826	ONSTS: 20150826	20150828 - Bank Deposit	
		20150716	20150716	20150716	20150716	20150716	377,000.00	358,000.00	258,400.00	122,500.00	307,335.00	307,355.00	Actual - 20150826	JPT: 20150826	307,355.00	
15	Stainless Steel Equipment - Opol	Merit Stainless Steel - DVO	CT Concepts	G&R Engineering Works	Fil Crest Engineering	Merit Stainless Steel - Pasig	20150721	20150730	20150722	20150731	20150730	Merit Stainless Steel - 20150803	PO - 20150826	ONSTS: 20150902	20150903 - MC	
		20150716	20150716	20150716	20150716	20150716	202,500.00	249,000.00	395,360.00	442,370.69	190,200.00	198,100.00	Actual - 20150818	JPT: 20150902	198,100.00	
16	Aquaculture Equipment - Bataan	Suntrade	Sun East Asia Corp.	Ruel Aquaculture Supplies and Trading	/	/	20150810	20150811	20150810	/	/	Sun East Asia Corp. - 20150820	PO- 20150827	BSF: 20150827	20150828 - Bank Deposit	
		20150716	20150716	20150810	/	/	99,000.00	98,900.00	158,500.00	/	/	98,900.00	Actual - 20150827	JPT: 20150911	98,900.00	
17	Automotive Equipment - Tagum	EMICOR, Inc.	Henry Import & Export Corp.	Sun East Asia Corp.	Sojitz	De Leon Import and Export	20150917	20150902	20150918	20150917	Declined	Henry Import & Export Corp.	PO- 20150923	TNTS: 20151009	20151009 - MC	
		20150828	20150828	20150828	20150828	20150828	1,140,000.00	750,000.00	1,644,400.00	990,000.00	/	750,000.00	Actual - 20150924	JPT: 20151009	750,000.00	
18	Aquaculture Workshop Equipment - Iligan	Jirah Enterprise	Isalama Industries	SEAC	Elmar Marketing	Ruel Aquaculture	20160209	20160210	20160205	20160205	20160201	Jirah Enterprise - 20160213	PO - 20160219	ICNSF: 20160219	20160219 - Cash	
		20160201	20160201	20160201	20160201	20160201	71,955.00	79,001.00	79,335.00	94,050.00	105,000.00	71,955.00	Actual - 20160219	JPT: 20160219	71,955.00	

Description - School	Invitation to Bid	Quotation Received (Bid-Open on November 6)					Contract	Construction	Inspection (School and JPT)	Payment (Date, Mode and Amount)	Notes					
		Supplier 1	Supplier 2	Supplier 3	Supplier 4	Supplier 5										
Construction	Multi-species Hatchery - Iligan	Posted on 20151012 at the Philippine Government Electronic Procurement System (PhilGEPS) website					L & L Construction	AHMADI Builders	/	/	/	AHMADI Builders - 20151118	Contract - 20160211	ICNSF: 20160126 ICNSF: 20160210 ICNSF: 20160223	20160315 - Bank Deposit	
		896,000.00	909,469.82	/	/	/		909,469.82	Actual - 20160224	JPT: 20160302	909,469.82					

Total Amount(PHP) : 5,659,087.82

添付資料7

合同調整委員会議事録

**Minutes of Meeting on the
1st Joint Coordination Committee Meeting
for
Technical Cooperation Project on
Project for Supporting Senior High School Modeling in
Selected Technical Vocational High Schools**


**Agreed upon between
Department of Education and
JICA Project Team**

Date: July 8, 2014

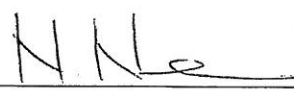
Place: Pasig City

For
Department of Education

For
Japan International Cooperation Agency



Dr. Dina S. Ocampo - JCC Chairperson
Undersecretary for Programs and Projects
The Department of Education



Mr. Noriaki Niwa - JCC Vice Chairperson
Chief Representative
Japan International Cooperation Agency
Philippine Office

Summary of Minutes for 1st JCC Meeting

The first Joint Coordination Committee (JCC) Meeting for the JICA Project for Supporting Senior High School Modeling in Selected Technical Vocational High Schools was held on 04 July 2014, four months after the project started. The meeting was chaired by Undersecretary Dina S. Ocampo of the Department of Education (DepEd), with Mr. Noriaki Niwa, Chief Representative of the JICA Philippine Office, as Vice Chairperson.

During the meeting, Mr. Tetsuya Ishii of the JICA Project Team presented the approved work plan for the project. The three main project outputs were discussed, as follows: a) identification of mismatches between competencies of graduates at the pilot technical-vocational high schools (TVHS) and local industry needs; b) assistance for pilot schools' collaboration with industries, including Japanese firms; and c) dissemination of piloted activities and best practices for possible replication at the senior high schools modeling TVHS.

Updates were also provided on the progress of project outputs, including key activities accomplished in the last four months. Planned activities from July 2014 to May 2015 were discussed, along with collaboration and support for the DepEd Technical Vocational Unit's workshops and conferences.

The Project Design Matrix was discussed in the meeting, including suggested modifications for the output indicators. USEC Ocampo suggested the inclusion of a tracer study in the indicators to verify if gaps are being met, and also confirm initial results of the senior high school pilot initiatives for TVHS. The importance of documenting SHS initiatives and best practices in the pilot and model schools was also noted.

In the discussions, TESDA stressed the need to include assistance for developing technical vocational courses in agriculture to address future demands in production and processing. The JICA Project Team noted the suggestion to promote technical vocational high schools with agriculture courses, and advised future training in Japan will include agriculture in the agenda. TESDA believes there will be an increased demand for operators and technicians of agriculture and fisheries equipment due to the Agricultural and Fisheries Mechanization (AFMech) Law.

Pilot schools, represented by school administrators and officers, reiterated an urgent plea for including an "Industry Linkage Coordinator" in the DepEd staffing pattern to undertake industry linkage activities. USEC Ocampo advised that it is best for schools to designate ILCs at the moment, as including ILCs in the DepEd list of plantilla positions requires protracted legal procedures. CHED also noted the pilot schools' request to revive BSIE (Bachelor of Science in Industrial Education) course offering, given the perceived need for additional teachers with technical vocational specializations.

Director Joyce Andaya of the DepEd Bureau of Secondary Education provided a summary of the discussions. The JICA Project Team advised the committee of the 2nd JCC Meeting to be conducted in March 2015.

Attachment-1: List of the members present

Department of Education

1	Dr. Dina S. Ocampo	DepEd Undersecretary for Programs and Projects (Chairperson)
2	Dr. Jocelyn Andaya	DepEd, Bureau of Secondary Education, Director
3	Dr. Elmer K. Talavera	TESDA, Executive Director
4	Dr. Renato A. Villegas	CHED, Senior Education Program Specialist
5	Dr. Victorio N. Medrano	San Pedro Relocation Center National High School, Principal
6	Dr. Eladio H. Escolano	Don Alejandro Roces Sr. Science and Technology High School, Principal
7	Ms. Myrna G. Yu	Subangdaku Technical Vocational School, Principal Rizal Experimental Station and Pilot School for Cottage Industries, Head
8	Ms. Marites P. Romen	Teacher III Don Alejandro Roces Sr. Science and Technology High School, Head
9	Mr. Nelson P. Hernandez	Teacher VI Don Alejandro Roces Sr. Science and Technology High School, Head
10	Ms. Gina Labor-Obierna	Teacher III
11	Ms. Naomi Fontanos	Executive Assistant, Undersecretary for Programs and Projects
12	Ms. Charlotte Valbuena	DepEd, Bureau of Secondary Education, Technical Assistant
13	Ms. Maria Cecilia O. Nayve	DepEd Tech-Voc Unit, Senior Education Program Specialist
14	Ms. Edna M. Bulan	DepEd Tech-Voc Unit, Senior Education Program Specialist
15	Mr. Clodualdo V. Paiton	DepEd Tech-Voc Unit, Technical Specialist
16	Ms. Sarah Jane Atienza	DepEd Tech-Voc Unit, Technical Assistant
17	Ms. Pamela C. Loveria	DepEd Tech-Voc Unit, Administrative Assistant IV
18	Mr. Efren K. Darcera	DepEd Tech-Voc Unit, Administrative Assistant
19	Mr. Romeo L. King, Jr.	DepEd Tech-Voc Unit, Administrative Assistant

Japan International Cooperation Agency

20	Mr. Noriaki Niwa	JICA Philippine Office, Chief Representative (Vice Chairperson)
21	Mr. Takahiro Morita	JICA Philippine Office, Senior Representative
22	Ms. Atsuko Itsuki	JICA Philippine Office, Representative
23	Ms. Flerida Chan	JICA Philippine Office, Section Chief, Poverty Reduction Section
24	Ms. Judie Ann G. Militar	JICA Philippine Office, Senior Program Officer
25	Mr. Tetsuya Ishii	JICA Project Team, Chief Advisor
26	Mr. Munetoshi Ishida	JICA Project Team, Industrial Linkage Coordinator
27	Ms. Sayaka Suzuki	JICA Project Team, Industrial Linkage Coordinator
28	Ms. Kim Inso	JICA Project Team, Project Coordinator
29	Ms. Mae Padilla	JICA Project Team, Project Assistant

Attachment 2: Detailed Discussion

1. Opening Remarks

(Undersecretary Ocampo)

The K to 12 Reform is a huge undertaking. DepEd tackles this arduous undertaking in collaboration with TESDA and CHED. Since diversification of secondary education is imperative for meeting the needs of children, the reform is to provide the senior high school students with diversified tracks such as sports, arts and design and tech-voc tracks. What we aim to do in essence is to nurture good thinkers and good problem-solvers. All in all, the efforts at the SHS modeling schools have been successful. What these schools offer is relevant to the community needs. Together with feedbacks from the modeling schools and day-to-day experience under the JICA project, we should be able to upgrade the secondary education.

(JICA Chief Representative, Mr. Niwa)

An USAID study indicates that preparing young students in vocational and technical skills is crucial for the development of a country. World Development Report 2007 features that 1.3 billion young people in developing countries are unemployed. This represents about the half of the employable of the world's youth. The reason for high rate of unemployment is not totally the lack of demand but it is in many cases due to the mismatching of market needs and young peoples' skills. We regard the current undertaking by DepEd as a critical milestone. JICA is excited to be part of this reform process and to be able to assist in the evolution of tech-voc education. The project has got off to a good start with the hard-working staff of the DepEd. We hope that the project will go a long way in giving children a fair chance to compete in labor market and contributing to the nation-building.

2. Presentation by Mr. Ishii and Questions/Comments

Mr. Ishii, Chief Advisor of JICA Project Team, made presentation on the progress of the project, major findings and upcoming activities. During the presentation, Mr. Ishii also underscored the following points:

SIP

- Partly due to the limited time passed since the start of the project, not much improvement was made for 2014/15 SIP at 4 pilot schools.

Internship Policy drafted in Quezon City

- The resolution concerning the internship policy by QC Councillor Medalla may be studied further by DepEd and other concerned parties. This initiative can be replicated in other LGUs.

Career Guidance

- It is suggested that career guidance should start in early stage. It can start as early as in elementary schools.

After Mr. Ishii's presentation, questions and comments were invited from the participants.

Academic/Specialization Courses

- (Usec. Ocampo) Are both academic and specialization courses taught in technical HSs in Japan? What is the ratio between the two?
- (Mr. Ishii) Both categories are taught in Japan. The ratio can be 60% for academic subjects and the remaining 40% for specialization subjects.
- (Usec. Ocampo) According to Mr. Ishii's explanation, in Japan motivation of the students may be affected by this academic/specialization balance and shift of weight from one to the other. How can you measure the attitude change?
- (Mr. Ishii) The students, who pursue the technical path in senior high school in Japan, are usually among those who did not do well in junior high school. Generally, they like activity-oriented courses rather than lecture-type courses. During the 1st. year in senior high school the students' motivation level may not be so high due the dominance of lecture-type courses in the curriculum, but from the 2nd. year on, more activity-related courses help motivate the students in engage in academic subject like mathematics. In Japan, good academic performance and disciplined behavior is also important in finding jobs.
- (Director Andaya) Are academic and specialization courses taught simultaneously in Japan?
- (Mr. Ishii) Yes, both of them are taught in Japan.
- (Usec. Ocampo) Finding the right balance between the two categories is important. We, DepEd, also advocate the necessity and importance of academic subjects even for the students in the tech-voc track as we know that some students later in higher education may change their interests to academic courses.
- (Mr. Niwa) No one formula fits all. The Philippines still need to find its own formula that fits the particular needs and conditions.
- (Dr. Medrano) Technical education curriculum in Japan is almost same as that of the Philippines. Only difference may be how to practice it. In reality there is a need to be flexible in the implementation as situation is widely different in some areas. For instance, in some areas industry is almost non-existent. Adjusting to the needs of the community and industry is important and that is what we are doing at SPRCNHS.

Agricultural Education

- (Usec. Ocampo) Agriculture courses are not so popular in the Philippines, but the demand is great for graduates of such courses.

There are about 80 secondary schools which have agriculture-related courses, but the number of teachers who can teach the agricultural subjects is limited. In this light, CHED can give us its insight on this matter.

- (Dr. Medrano) To value agricultural courses is important in this country. Even though there is not much variety of industry around a school, agricultural sector can usually absorb labor in this country. There should be some policy of strengthening the agricultural education.
- (Dr. Talavera) There is currently very established "upstream" end of agricultural education in

the country but the “downstream” end, dealing subjects such as post-harvest and agro-processing, is considered weak despite the increasing demand for these subjects in the labor market. Our education should try to meet with and adjust to this trend.

Industry Immersion

- (Dr. Talavera) Is there a possibility that tech-voc high schools invite Japanese companies to visit their schools to conduct the career advocacy? Immersion in Japanese companies should help promote readiness among children. It should also help in inspiring them.
- (Mr. Ishii) We understand that TESDA regularly holds consultative forums with the industry. The discussion and learnings from these forums can be shared with DepEd. They are valuable inputs to the concerned offices. We need to be a bit careful when we approach the industry for this end since what companies can offer may be different from what the educational institutions can/should offer.
- (Dr. Medrano) Seeking industry immersion is rather a regular activity for industry linkage coordinators. But it is still a good suggestion that we increase and expand the opportunities of industry immersion.
- (Mr. Paiton) Not only students but also teachers can learn from the immersion in the industry.

3. Discussion regarding PDM

After Mr. Ishii made suggestions for minor changes in PDM, the participants provided comments and suggestions. The participants agreed to the suggested modifications.

- (Dr. Talavera) Changing qualifications is something that cannot be avoided sometimes. TESDA should be alert to the dynamics in the industry. For example, in ICT competency standards move a lot faster than other areas.
- (Usec. Ocampo) “Mechanism” should be defined clearly. In achievement column, we should list down what processes and guidelines we have currently been doing. We still need to expand, revise or develop some new guidelines like curriculum development and industry linkage coordination.
- (Dr. Medrano) We would like to point out that there should be an official position (plantilla) for an industry linkage coordinator in our school setting and DepEd is required to help us in this matter.
- (Usec. Ocampo) It will take some years to achieve this as we have to involve other agencies in the process. As for the career counsellors, there is now a law that requires the professionalization of counsellors. This is one of the reasons for the short supply of counsellors we are facing. So what we do as a temporary measure is to train teachers for the function of career advisors.
- (Dr. Medrano) Is there a possibility of restoring the offering of Bachelor of Science in Industrial Education (BSIE) in higher education?
- (Dr. Villegas) There is in fact a proposal of reviving BSIE on the discussion table now (in the Technical Review Panel). Training of teachers for tech-voc schools may be restored soon.
- (Usec. Ocampo) Proper documentation of activities and findings in each pilot school is

important. The efforts of such documentation may be converted to the compilation of guidelines in the future.

4. Closing Remarks (Summary of the discussion)

Director Andaya and Ms. Cecile of Tech-Voc Unit summarized the suggestions made during the meeting.

- DepEd shall discuss with Department of Agriculture regarding agricultural program under tech-voc and explore the possibility of technical assistance in this field.
- JICA will explore the possibility of visiting Agricultural High Schools in Japan during the program of training in Japan next year.
- Tech-voc schools are encouraged to promote industry immersion.
- DepEd shall look into the issue of giving a new item for ILC in the official staff list.
- Tracer study of graduates should be done, as part of the project activities.
- Pilot schools are requested to submit the revised SIPs to the JICA Project Team.

Attachement 3: Project Monitoring Sheet I (Revision of Project Design Matrix)

Project Title: Project for Supporting Senior High School Modeling in Selected Technical Vocational High Schools in the Republic of the Philippines

Version 0

Implementing Agency: Department of Education (Dep.ED)

Dated July 4, 2014

Target Group: Overall goal: 280 TVHS, Project Purpose: 14 TVHS participating in SHS modeling, Output 1 & 2 : 4 Selected Technical Vocational Schools participating in the SHS modeling by Dep.ED, Output 3: 10 TVHS participating in SHS modeling other than 4 selected TVHSs.

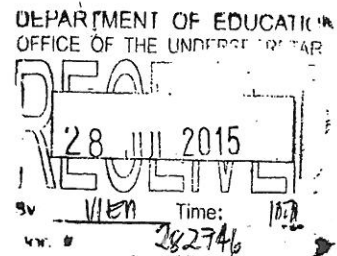
Period of Project: February 2014 to June 2017

Project Site: Metro Manila, Laguna, Cebu

Narrative Summary	Objectively Verifiable Indicators	Means of Verification	Important Assumption	Achievement	Remarks
Overall Goal					Suggested means of verification
Activities, strategies and promising practices implemented in the SHS modeling will be shared to other TVHSs including the K to 12 modeling TVHS nationwide as a resource reference to develop/enhance their School Improvement Plans (SIP).	1. Numbers of TVHS that are informed of the outcomes of the SHS modeling program 2. Numbers of TVHS that are subsidized to replicate the practice piloted in the SHS modeling program	K to 12 monitoring record → SHS Program National Task Force SHS modeling record → SHS Program National Task Force			1. The number of schools attended the good practices sharing workshop (Workshop attendance record) 2. The number of school which experienced benchmarking.
Project Purpose					Suggested Indicators
A mechanism is developed for TVHS activities to ensure its effective implementation through collaboration with industries/firms (including those from Japan).	Number of activities conducted involving (Japanese) industries/firms by TVHS participating SHS modeling	SHS modeling record → Document from Tech-Voc Unit	K to 12 SHS is fully implemented in 2016 as scheduled.	Academic year 2014/2015 just started. No mechanism to mention is developed at this moment.	At least 1 document (Guideline, Manual, MoA) related to Tech-Voc Education (eg. Agreement with DOLE on OJT age, Coordination mechanism with TESDA, CHED request letters to industry associations, OJT guideline, and Career education guide for Elementary school)
Outputs					
1. Mismatches/gaps between capacities/competencies of graduates and industry needs are identified at the pilot TVHSs and addressed in their SIPs.	SIP improved/modified	School visit log SIP document → Tech-Voc Unit/Project Team records → Industry Interview Sheet to be kept in school	No policy change to proactively utilize industry-school collaboration. (Japanese) industries/firms maintain the momentum to collaborate with TVHS.	Industrial Linkage Coordinators are designated in SPRCNHS. In 3 pilot schools, there are teachers working on industrial linkage development. *Communication skill and attitude towards work are pointed as important. * Consciousnes on safety including proper attire and hygiene are pointed as important. →More appropriate or comprehensive orientation before sending studnets to OJT is required.	Improvement in SIP can be evaluated using the following criteria. 1) Mismatches/gaps are described properly, 2) Industry needs are described properly, 3) Partner development strategy is described, and 4) Education improvement plan is described.

				<p>* More practical lesson delivery is requested by welding company.</p> <p>→ Teachers' visit to industry may be useful in improving their knowledge and skill.</p> <p>No significant improvement observed in the SIPs.</p>	<p>Additional indicator suggested</p> <p><i>The number of employment support activity conduted in the schools. (graduates tracer study)</i></p>
2. Pilot Schools become able to collaborate with industry/firms (including Japanese firms) to improve school activities and to fill the identified gaps.	Minimum of one activity per school	SHS modeling record → Tech-Voc Unit/Project Team records		<p>Visits were made to the 15 firms (including 4 Japanese firms) and 2 Chamber of Commerce and Industry, and AAHHRMRI (Industry association).</p> <p>Received a list of metal works and garments firms in Cebu.</p>	<p>Suggested modification in indicator</p> <p>→ Number of activities to improve school activities. Activities include, OJT, Industrial immersion, factory visit, and lecture.</p>
3. SHS modeling TVHSs, other than the four (4) Pilot Schools, are informed of piloted activities/best practices for possible replication/adaptation/adoption.	Number of TVHS that are informed of the activities piloted by the modeling schools	SHS modeling record → Tech-Voc Unit/Project Team records (Workshop attendance record)		<p>Out of 10 model schools, 5 accepted G11 students in 2014.</p> <p>Visited 4 model schools in Luzon. All of them are ready to offer SHS because there are teachers with NCs, equipmenet/workshops, and demand for SHS.</p>	<p>Suggested modification in indicator</p> <p>1. The number of schools attended the good practices sharing workshop 2. The number of school which experienced benchmarking. 3. Number of activities conducted in pilot schools and model schools.</p>

Activities	Inputs		Pre-Conditions
	The Japanese Side	The Philippine Side	
<p>[1-1] Designate a person(s) in charge for identifying gaps between school activities/curriculum and industry needs.</p> <p>[1-2] Interview industry with regard to job/skills requirements.</p> <p>[1-3] Address the identified gaps by incorporating adjusted strategies/activities in SIPs.</p> <p>[1-4] Promote recruitment of graduates to potential employers.</p> <p>[2-1] Designate an Industry Linkage Coordinator (ILC) to work out collaboration arrangements with industry (including Japanese firms).</p> <p>[2-2] Develop an effective school-industry collaboration mechanism through facilitating the Memorandum of Agreement (MOA) between the schools and industry (including Japanese firms).</p> <p>[2-3] Conduct capacity building activities for school heads, teachers, ILCs and career guidance counsellors, etc.</p> <p>[2-4] Examine the adequacy of the existing equipment at the Pilot Schools.</p> <p>[2-5] Implement the activities agreed upon in MOAs.</p> <p>[2-6] Monitor and evaluate the implementation of MOAs.</p> <p>[3-1] Develop a strategic plan for adoption/implementation of the learning experiences and best practices of the Pilot Schools by other TVHSs.</p> <p>[3-2] Hold a workshop to disseminate learning experiences/best practices of the Pilot Schools.</p> <p>[3-3] Provide competitive grants to the selected TVHSs.</p> <p>[3-4] Monitor the execution of competitive grants.</p>	<p>1. Experts Chief Advisor, Industrial Linkage Experts</p> <p>2. Competitive Grants The grants are for the TVHS participating in SHS</p> <p>3. Necessary expenses</p>	<p>1. Counterpart Personnel</p> <p>2. Office space and necessary office facilities for the experts</p> <p>3. Information and/or data necessary for the implementation of the Project</p> <p>4. Operating and accommodation expenses necessary for the implementation and monitoring of the Project</p>	<p>The Yen-Loan Project is implemented as planned.</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="background-color: yellow; text-align: center;"><Issues and countermeasures></p>



**Minutes of Meeting on the
2nd Joint Coordination Committee Meeting
for
Technical Cooperation Project on
Project for Supporting Senior High School Modeling in
Selected Technical Vocational High Schools**


**Agreed upon between
Department of Education and
Japan International Cooperation Agency**

Date: June 30, 2015

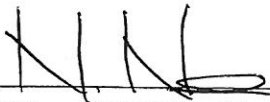
Place: Pasig City

For
Department of Education

For
Japan International Cooperation Agency



Dr. Dina S. Ocampo - JCC Chairperson
Undersecretary for Programs and Projects
The Department of Education *DS*



Mr. Noriaki Niwa - JCC Vice Chairperson
Chief Representative
Japan International Cooperation Agency
Philippine Office

Summary of Minutes for 2nd JCC Meeting

The 2nd Joint Coordination Committee (JCC) Meeting for the JICA Project for Supporting Senior High School Modeling in Selected Technical Vocational High Schools was held on 30 June 2015. The meeting was chaired by Undersecretary Dina S. Ocampo of the Department of Education (DepEd), with Mr. Noriaki Niwa, Chief Representative of the JICA Philippine Office, being Vice Chairperson.

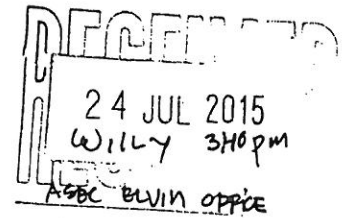
During the meeting, Mr. Tetsuya Ishii of JICA Project Team presented the progress and accomplishments of the project during the 1st. project year as well as the planned activities described in the Work Plan for the 2nd. Year.

The four Pilot schools reported their school-industry partnership development practices. JICA Philippine Office presented the background of the “Impact Evaluation for Industrial Human Resource Development”, a study that intends to measure the initial performance of the introduction of the additional two years of SHS (Grade 11 and 12) by evaluating the impact of SHS modeling program and JICA’s Technical Assistance on the Philippines’ labor market outcomes.

Ms. Cecile Nayve of Tech-Voc Unit provided a summary of the discussions described above and suggestions made during the meeting.

- Mr. Niwa of JICA shared the progress and achievements of the project. He encouraged all to keep the motivation and commitment high as there are more things to be done in the coming years.
- There is a need to solidify partnership with industry. Terms should be defined according to DepEd’s operational framework.
- Advocacy to industries and information dissemination are some of the strategies in creating partnership, headed by DepEd central office. Division offices will be convened to work with the schools.
- Guidelines shall not just focus on industry immersion, but also function as guidelines for all aspects of partnerships
- Officials from the Governance Bureau may be invited in the next JCC meeting.
- BSE will provide office space for the Project Team when the physical transfer of offices as a result of RAT plan implementation takes effect
- A good monitoring and evaluation will be able to identify schools that can offer flagship Technical-Vocational Livelihood Track from among the STVEP schools that have piloted the Tech voc Education in the Philippines.
- The project title should be changed to “Project for Supporting Senior High School (SHS) program in TVHSS” as proposed.
- “Manualization” of all aspects should be done, including the utilization of equipment.
- Current STVEP schools should also help other schools offering TVL track.

Attachment-1: List of the members present



Department of Education

1	Dr. Dina S. Ocampo	DepEd Undersecretary for Programs and Projects (Chairperson)
2	Dr. Jocelyn Andaya	DepEd, Bureau of Secondary Education, Director
3	Dr. Buenaventura D. Macatangay	CHED, Chief, Program Development Division
4	Dr. Victorio N. Medrano	San Pedro Relocation Center National High School, Principal
5	Dr. Eladio H. Escolano	Don Alejandro Roces Sr. Science and Technology High School, Principal
6	Ms. Myrna G. Yu	Subangdaku Technical Vocational School, Principal
7	Ms. Marites P. Romen	Rizal Experimental Station and Pilot School for Cottage Industries, Head Teacher I
8	Ms. Gina Labor-Obierna	Don Alejandro Roces Sr. Science and Technology High School, Head Teacher III
9	Ms. Naomi Fontanos	Executive Assistant, Undersecretary for Programs and Projects
10	Ms. Maria Cecilia O. Nayve	DepEd Tech-Voc Unit, Senior Education Program Specialist
11	Ms. Edna M. Bulan	DepEd Tech-Voc Unit, Education Program Specialist II
12	Mr. Clodualdo V. Paiton	DepEd Tech-Voc Unit, Technical Specialist
13	Mr. Efren K. Darcera	DepEd Tech-Voc Unit, Administrative Assistant
14	Ms. Criselda Reyes	DepEd Tech-Voc Unit, Administrative Assistant

Japan International Cooperation Agency

15	Mr. Noriaki Niwa	JICA Philippine Office, Chief Representative (Vice Chairperson)
16	Mr. Hiroyuki Enoki	Embassy of Japan, Second Secretary
17	Mr. Takahiro Morita	JICA Philippine Office, Senior Representative
18	Ms. Atsuko Itsuki	JICA Philippine Office, Representative
19	Ms. Florida Chan	JICA Philippine Office, Section Chief, Poverty Reduction Section
20	Ms. Judie Ann G. Militar	JICA Philippine Office, Program Officer
21	Mr. Tetsuya Ishii	JICA Project Team, Chief Advisor
22	Mr. Munetoshi Ishida	JICA Project Team, Industry Linkage Expert
23	Mr. Yuta Yoneda	JICA Project Team, Competitive Grant Administrator
24	Ms. Kim Inso	JICA Project Team, Project Coordinator
25	Ms. Mae Padilla	JICA Project Team, Project Assistant

Attachment 2: Detailed Discussion

1. Opening Remarks

Undersecretary Ocampo, Chairperson recalls that in the last JCC meeting, DepEd learned a lot from technical vocational education in Japan. The meeting also raised an alarm over the agricultural education in the country. The DepEd has undertaken an extensive division-level SHS planning nationwide and estimated that there would be 5,899 SHSs, of which about 900 to 1,000 are to offer agriculture strands. She also said that there is a workshop being held, simultaneous to this meeting, for the purpose of finalizing the K to 12 Partnership Guidelines. The DepEd hopes to generate learning from this project as inputs to the guidelines. Usec. Ocampo also stressed out that partnership with industry can be started easily but the actual implementation can pose challenges. One horrible situation to avoid is that there are many MOAs but no meaningful program is offered for the benefit of the children. She emphasized that work immersion should always be student-centered. Thus, MOA implementation needs to be monitored closely.

Mr. Niwa, Vice Chairperson, also brought to mind that almost a year and half has passed since the start of the project and it is now on the halfway point of this 3-year project. He noted that the 1st project year witnessed several accomplishments, namely the training in Japan, adoption of best TVET practices, establishment of Job Search Corners and equipment procurement for better instructional delivery and student learning in the pilot schools, and competitive grant for model schools. He emphasized the need for all the stakeholders to keep up their effort level during the 2nd project year to make sure that all the lessons learned through the project are translated into SIP and that partnerships with companies continue to benefit schools.

2. Presentation by Mr. Ishii and Questions/Comments

Mr. Ishii made presentation on the progress and accomplishments of the project during the 1st project year as well as the planned activities for the 2nd. project year. During the presentation, Mr. Ishii also underscored the importance of advocacy activities to bring industry up to date on SHS reform developments by showcasing the recent project-supported awareness campaign at Mactan Economic Zone in Cebu.

3. Questions and Comments on Mr. Ishii's presentation

After Mr. Ishii's presentation, questions and comments were invited from the participants.

On Communication skills

- (Usec. Ocampo) focused her query on the importance of communication skills in English for entry level workers. She wanted to know exactly which companies value communication skills

in English as there is probably a specific component of their business where such skill is needed.

- (Mr. Ishii) responded that those manufacturing companies in metal works require better communication skills, for instance, in reporting to supervisors and relaying information to co-workers.

- (Dr. Medrano) reiterated that in TESDA training programs, trainees mainly focus on skills and their short-time vocational training courses do not address sufficiently English proficiency skills.

On Advocacy/awareness-raising activities

- (Dr. Andaya) questioned the basis for stating that companies are not informed of SHS program.

- (Mr. Ishii) responded that the project team interviewed about 40 companies and found out that some companies are not informed sufficiently about SHS. In fact some of them were very surprised to find out that there will be no university graduates in 2020 and in 2021. He also noted that companies are very careful about the legal age for hiring workers.

- (Usec. Ocampo) reiterated that lack of information for industry partner is no doubt a big concern for us. The responsibility for informing stakeholders rests on the division offices. Academic track not so much, but more for the other 3 tracks, especially for tech voc track, providing updated information is much needed work. Different strategies are required for different stakeholders. One of the recommendations is that we convene major industries in the division offices in which 10 schools of the project fall. This is not the job of principals, but the division offices. This activity is not in the project log-frame, but the project may want to address this issue as this is one of identified gaps for the 1st. project year and should be addressed in 2nd project year.

- (Mr. Ishii) mentioned that the project has reiterated the role of the division offices in developing partnerships and in raising awareness among stakeholders.

- (Usec. Ocampo) emphasized that such effort also requires coordination among division offices and provincial/city division offices and regional division offices.

- (Dr. Andaya) shared the Dep.Ed plan - which was presented in the Annual Tech Voc Conference - that holding industry summit, whereby industry leaders and LGUs would be invited for partnership development.

On SILO, Work Immersion and Guidelines

- (Usec. Ocampo) made it clear that Guidelines will state what SILO will be doing. Term "SILO", however, will be done away with as it is not realistic to expect a plantilla or an item to be provided by 2016. Guidelines will have to be inclusive. Definitions will have to be opened up for other schools which have other tracks, like academic, sports, arts and design. SILO is not applicable and instead work immersion coordinator's TOR is being formalized. It should be noted that there is no school manual for DepEd schools, just orders. Definitions, monitoring templates, MOA templates, all of these needs to be systematically included in one guideline.

Work immersion may be done during 80 hours within specialization subjects and another 80 hours within applied subjects, making it 80 hours times two. The reason for limiting the number of hours for work immersion is that we are afraid children are fielded in the factory and do not come back to schools.

Dep.Ed Rationalization Plan

- (Mr. Ishii) asked the implementation schedule of Rationalization Plan.
- (Usec. Ocampo) reiterated that it has been progressing but there is no definite road map for RAT yet. It will create newly “Curriculum Development” and “Educational Assessment” Bureaus out of the Programs and Projects. The project after Rationalization Plan will be with the Bureau of “Curriculum Development”, but will need to coordinate with “Governance” as well since the project deals with improvement of SIPs. Programs and Projects will continue to function as before, until such time that the structure RAT is fully implemented. She also said that there should be no worry about the project’s operations. Neither is there any space problem As for Tech-Voc Unit, please note TVU is not in the Rat Plan. Rest assured that tech voc schools will be fully supported.

On Project Title

- (Ms. Nayve) remarked on the proposition to change of the project title to “JICA Project for Supporting SHS Program in TVHSs” because the term modeling is no longer used.
- (Usec. Ocampo) agreed to the proposition as there is no modeling of SHS schools.

4. Presentations by 4 Pilot Schools

Don Alejandro Roces Sr. Science and Technology High School (DARSSTHS)

Dr. Escolano made the presentation which included the following points:

- Practices of school-industry partnership such as community and industry mapping
- SHS IEC activities
- Benchmarking of best practices by other schools, HEIs, and other TVIs
- Periodic consultation with stakeholders and industry partners
- Quezon City initiatives to support SHS program
- PESO Linkage and attending career fairs

Rizal Experimental Station and Pilot School of Cottage Industries (RESPSCI)

Ms. Romen, representing RESPSCI, highlighted the following issues in her presentation.

- Continuous industry mapping and assessment of local economy
- Orientations for parents and other stakeholders
- Tracer study and assistance for graduates’ employment (Special Training for Employment Program: STEP)
- Training in Japan lesson having led to the LGU’s support in finding jobs for G12 students

San Pedro Relocation Center National High School (SPRCNHS)

Dr. Medrano touched on, among others, the following points in his presentation:

- Activities related to industry linkage partnerships
- Training in Japan
- Utilization of equipment provided by the project (i.e. not only for students learning, but also for the teacher training)
- Benchmarking
- Kto12 Plus Program curriculum (which aims to add more training in the industry after academic subjects are taken by students)
- Suggestions to DepEd to improve TVHS (e.g. more funding allocation in Tech Voc Track)

Subangdaku Technical Vocational School (STVS)

Ms. Yu shared the following information in her presentation.

- Activities of school-industry linkage development
- Community mapping (including the Mactan Economic Zone conference)
- Stakeholders orientation (insurance discussion, etc.)
- Advocacy (Feedback from HR that industry is not informed. Also as parents, SHS information should be brought to stakeholders)
- Education Summit by DepEd Mandaue City Division Office
- Training in Japan and SIP contributions

5. Questions/Comments Overall

- (Ms. Chan- JICA Philippine Office) asked about the possible DepEd assistance for the TVHSs which are leading school-industry linking and partnership development.
- (Usec. Ocampo) replied that the usual planning practice in DepEd was bottom-up. It means resource allocation should be based on the pragmatic plans of division offices. Providing extra funds to pilot schools without a clear bottom-up planning is not our usual planning procedure. Please also note that we are getting rid of certain allocations specifically targeted for TVHSs
- (Usec. Ocampo) referred to broken equipment and missing textbooks. TVHSs are in a position to help other schools deal with very pragmatic problems.
- (Dr. Medrano) reiterated the importance of paying attention to procurement process. When we at the school level require certain brands, what is procured is poor-quality equipment. As for lost books, teachers' paying from their own pockets is prohibited. Yearly inventory should be strictly implemented as well to ensure equipment is functional and all materials are returned.
- (Usec. Ocampo) mentioned that governance issue should also be addressed. It is possible that this is also a management issue. Systems need to be in place. These are issues which a project like this can address. "Manualization" of systems is needed. Maybe this project can help in this aspect. It is not always a resource lack; sometimes it does not know how to manage what we have.

6. JICA presentation on Impact Evaluation

Ms. Militar of JICA Philippine Office presented the background of the “Impact Evaluation for Industrial Human Resource Development Policy”, a study that aims to measure the initial impacts of DepEd’s SHS modeling program and JICA’s TA in terms of academic performance and labor participation of the sample schools. In the presentation, the evaluation design (Difference-in-Differences Method), detailed survey structure and initial findings of the baseline survey were also shared to the participants.

7. Commission on Higher Education (CHED)

Dr. Macatangay presented that CHED was currently working on a new general education curriculum, in response to changes in basic education. CHED also continues to work closely with the Philippine Qualification Framework.

8. Summary

Ms. Cecile Nayve of Tech-Voc Unit summarized the discussions and suggestions made during the meeting as follows:

- Mr. Niwa of JICA shared the progress and achievements of the project. He encouraged all to keep the motivation and commitment high as there are more things to be done in the coming years.
- There is a need to solidify partnership with industry. Terms should be defined according to DepEd’s operational framework.
- Advocacy to industries and information dissemination are some of the strategies in creating partnership, headed by DepEd central office. Division offices will be convened to work with the schools.
- Development of guidelines shall not just focused on a handbook for industry immersion, but also guidelines for all aspects of partnerships
- Officials from the Governance Bureau should be invited in the next JCC meeting.
- BSE will provide office space and counterpart personnel for the Project Team when the physical transfer of offices as a result of RAT plan implementation takes effect
- A good monitoring and evaluation will be able to identify schools that can offer flagship Technical-Vocational Livelihood Track from among the STVEP schools that have piloted the Tech voc Education in the Philippines.
- The project title should be changed to “Project for Supporting Senior High School (SHS) program in TVHSs” as proposed.
- “Manualization” of all aspects should be done, including the utilization of equipment.
- Tech Voc schools should also help other schools offering TVL track.

End

Minutes of Meeting on the
3rd Joint Coordination Committee Meeting
for
Technical Cooperation Project on
Project for Supporting Senior High School Program in
Technical Vocational High Schools

Agreed upon between
Department of Education and
Japan International Cooperation Agency

Date: October 14, 2016

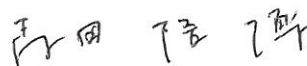
Place: Pasig City

For
Department of Education

For
Japan International Cooperation Agency



Dir. Jocelyn DR Andaya
Director IV
Bureau of Curriculum Development
The Department of Education

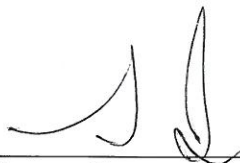


Mr. Takahiro Morita
Senior Representative
Japan International Cooperation Agency
Philippine Office

Noted by:



Dr. Dina S. Ocampo
Undersecretary for Curriculum and Instruction
The Department of Education



Mr. Susumu Ito
Chief Representative
Japan International Cooperation Agency
Philippine Office

Summary of Minutes for 3rd JCC Meeting

The 3rd Joint Coordination Committee (JCC) Meeting for the JICA Project for Supporting Senior High School Program in Technical Vocational High Schools was held on 11 October 2016. The meeting was chaired by Director Jocelyn DR Andaya of the Department of Education (DepEd) Bureau of Curriculum Development, with Mr. Takahiro Morita, Senior Representative of the JICA Philippine Office as Vice Chairperson.

During the meeting, Mr. Tetsuya Ishii of the JICA Project Team presented accomplishments of the project, planned activities described in the Work Plan for the 3rd. year and recommendations to DepEd for SHS-TVL.

The four Pilot schools presented good practices and lessons learned for building partnerships with industries, improving the quality of technical-vocational course offerings and providing career guidance to students. Mr. Buenaventura Macatangay of CHED informed JCC members of the K to 12 Transition Program to mitigate impact of SHS full implementation for displaced HEI personnel, the revision of the General Education curriculum to align with basic education, and adjustment of policies and standards for college courses in line with K to 12. Mr. Elmer Talavera of TESDA also provided updates on the newly appointed Director General's priority programs, underpinned by a two-pronged strategy of Technical and Vocational Education and Training (TVET) for global competitiveness and TVET for social equity.

Director Andaya summarized the important points discussed and suggestions made during the meeting.

The need to conduct industry mapping was emphasized, as local industry needs determine SHS offerings. Schools also need to engage the LGU as a partner for SHS, especially for work immersion and placement and to help address resource gaps. Pilot schools also highlighted the importance of the General PTA for success of the SHS. The JICA Project team headed by Mr. Ishii was thanked as the project is implemented on time, and the project targets are being met. The replication of best practices, including the empowerment of Industry Linkage Coordinators for partnership building, is now being done by other schools offering TVL track in SHS. The success of projects for Agri-Fishery Arts (AFA) courses in the CGP, can also give insights for addressing low enrollment in AFA strand.

Mr. Morita also added to the summary, reiterating the project's successful implementation and how the project went beyond achieving the set targets. Pilot schools now serve as models for other TVHS. Everyone was encouraged to stay motivated and be committed to improving basic education.

Attachment 1 to the Minutes of the 3rd JCC Meeting is the list of members who attended, and Attachment 2 contains the main points of discussion during the meeting.

Attachment-1: List of the members present

Department of Education

1	Dir. Jocelyn Andaya	DepEd, Director, Bureau of Curriculum Development
2	Ms. Maria Cecilia O. Nayve	DepEd, Senior Education Program Specialist, SCPD-BCD
3	Mr. Clodualdo V. Paiton	DepEd, Technical Specialist, SCPD-BCD
4	Dr. Buenaventura D. Macatangay	CHED, Chief, Programs Development Division
5	Dir. Elmer K. Talavera	TESDA, Executive Director, National Institute for Technical Education and Skills Development
6	Dr. Victorio N. Medrano	San Pedro Relocation Center National High School, Principal
7	Dr. Eladio H. Escolano	Don Alejandro Roces Sr. Science and Technology High School, Principal
8	Mr. Domingo N. Viñas	Rizal Experimental Station and Pilot School for Cottage Industries, Principal
9	Dr. Victorio N. Medrano	San Pedro Relocation Center National High School, Principal
10	Mr. Rene M. Petancio	Subangdaku Technical Vocational School, Principal
11	Ms. Gina Labor-Obierna	Don Alejandro Roces Sr. Science and Technology High School, Head Teacher
12	Ms. Alenie B. Dualan	San Pedro Relocation Center National High School, Teacher / ILC

Embassy of Japan and Japan International Cooperation Agency

13	Mr. Hiroyuki Enoki	Embassy of Japan, First Secretary
14	Mr. Takahiro Morita	JICA Philippines Office, Senior Representative
15	Ms. Kawaguchi Misaki	JICA Philippines Office, Representative
16	Ms. Flerida Chan	JICA Philippines Office, Section Chief, Poverty Reduction Section
17	Ms. Mary Ann Bakisan	JICA Philippines Office, Senior Program Officer
18	Mr. Tetsuya Ishii	JICA Project Team, Chief Advisor
19	Mr. Munetoshi Ishida	JICA Project Team, Industry Linkage Expert
20	Ms. Kim Inso	JICA Project Team, Project Coordinator
21	Ms. Mae Padilla	JICA Project Team, Project Assistant

Attachment 2: Main Points of Discussion

1. Opening Remarks

Director Andaya, Chairperson informed the body of the successful enrollment of Grade 11 students in SY 2016-2017 for the full implementation of SHS across public and private schools nationwide. Of the total 1.5 million students enrolled in Grade 11 nationwide, roughly 60% are enrolled in Dep-Ed schools and the rest are in private schools and State Universities and Colleges (SUCs). Of those enrolled in DepEd schools, about 62% chose to enroll in the academic track, 37% are taking technical-vocational livelihood (TVL) track, and the remaining in arts and design and sports tracks.

DepEd is concerned about the low enrollment for the Agri-Fishery Arts (AFA) strand of the TVL track. There are varied offerings for AFA strand but an alarmingly low number of enrollees. The DepEd hopes the project's 3rd project year activities generate learnings to help address the concern.

Mr. Morita, Vice-chairperson mentioned the SHS program as having required tremendous efforts on the part of DepEd for more classrooms, more teachers hired, and more resources expended for full implementation. He also noted the significant accomplishments of the project, noting the counterpart training in Japan for DepEd personnel, the installation of Job Support Corners at pilot schools for career guidance, and the procurement of tools and equipment for student's practicum to improve instructional delivery. Throughout the implementation of the project, the local government unit (LGU) of Quezon City and Pasig City have also shown increased support for SHS, and schools have emphasized employment after graduation. Practices proven effective during early implementation by the pilot schools can be adopted in the improvement of SIPs. He enjoined everyone to build on these gains and to sustain the commitment to quality education.

2. Presentation by Mr. Ishii

Mr. Ishii reported accomplishments of the project and the planned activities described in the Work Plan for the remainder of the last project year. At the end of the presentation, Mr. Ishii recommended a re-orientation on the existing DepEd policy directions for SHS, the need for coordination with DepEd division offices for partnership development and the proposed collaboration between Alternative Learning System (ALS) and SHS-TVL Track to the SHS program.

3. Questions and Comments on Mr. Ishii's presentation

After Mr. Ishii's presentation, Director Andaya acknowledged that most of the principals implementing SHS for the first time need to focus more on work immersion. This is partly because work immersion is taken up in Grade 12, i.e. in 2017, and also because the focus is on addressing immediate resource gaps like lack of classrooms, tools and equipment and learning materials, and hiring additional teachers. Director Andaya also said although division offices play a role in partnership development, schools also have to engage LGUs, who play a very significant role together with industries.

For the ALS recommendation, Director Andaya remarked that the ALS is based on the existing 10-year basic education curriculum. At present, ALS completers may take up SHS by enrolling in Grade 11 in the formal education set-up. The DepEd is working on developing a curriculum for ALS that includes SHS, which is targeted for implementation in 2018. Specialized teachers may also be a concern for TVL track. Mr. Ishii replied that ALS completers go to existing SHS offering TVL track, as these schools have the teachers and facilities.

Director Andaya also commented on the sustainability of the employment rate reported for the pilot schools. Since the number of students is small for early implementation, pilot schools should gather updated data on employment of students after the initial data is gathered (at 3 months after graduation). Employment rate is acknowledged as an indicator of program success. Mr. Talavera, the National Institute for Technical Education and Skills Development (NITESD) Executive Director from TESDA, remarked that 80% employment rate 3 months after graduation is so much more ambitious compared to the TESDA target of 65% employment rate 6 months after graduation. The tracer figures by the pilot schools should be trumpeted as remarkable achievements.

The initiative implemented by Rogongon Agricultural High School (RAHS) for agroforestry and sustainable livelihood was commented on by Director Andaya, and she expressed interest in finding out what specific intervention was done by the JICA Project Team. The AFA strand is not popular among students, and DepEd is interested in identifying the specific support needed to address low enrollment rate. Mr. Ishii explained the project simply procured hand tools and equipment suitable to the mountainous topography of Rogongon, to help the school implement its plans to help the school offer the agriculture course for SHS. Director Andaya commented that funds for workshops and tools and equipment are being downloaded to schools, and that PHP 137 M was allotted for schools offering AFA strand.

4. Presentations by 4 Pilot Schools, and Updates from TESDA and CHED

The four pilot schools of Don Alejandro Roces Sr. Science and Technology High School (DARSSTHS), Rizal Experimental Station and Pilot School of Cottage Industries (RESPSCI), San Pedro Relocation Center National High School (SPRCNHS) and Subangdaku Technical Vocational School (STVS) each presented their enrolment for SY 2016-2017. Also highlighted were the updated results of their tracer study for all batches who graduated SHS from SY 2012/13 to SY 2015/16, the summary of support received from all partners, the good practices for school-industry linkage development and improvement of the quality of TVL education and best practices for career guidance. The pilot schools also provided a summary of practical advice for schools implementing SHS and what was learned by working with the JICA Project.

Some lessons shared with the members of the JCC meeting are the following:

- Different strategies should be employed in partnering with industries
- Expectations from both school and partner institutions should be well articulated in the Memorandum of Understanding / Agreement.
- Parents and students must be well-informed about the immersion arrangements.
- Establishment of school-based industries operated by students is recommended to address need for work immersion venues
- Curriculum must be contextualized based on community and industry needs.
- Industry associations are also good partners for industry immersion.
- Students need to be engaged for possible career options by providing readily available information related to possible career options, including labor market information and business opportunities.

For the updates from CHED, Dr. Buenaventura Macatangay, Chief of the Programs Development Division, informed JCC members of the K to 12 Transition Program to mitigate the impact of SHS full implementation for displaced HEI personnel. He also informed members of the on-going revision of the General Education curriculum to align with basic education, and adjustment of policies and standards for college courses in line with K to 12.

NITESD Director Elmer K. Talavera of TESDA also provided updates on the newly appointed Director General's priority programs. He explained the 6 year agenda of TESDA is guided by the two-pronged strategy of TVET for global competitiveness and TVET for social equity. Priority programs of the agency include the new flagship program "Barangay

Kasanayan para sa Kabuhayan at Kapayapaan” (BKKK), which involves provision of scholarship programs and skills mapping for all 42,000 barangays in the country. TVET providers are also being audited to ensure quality control.

5. Questions/Comments Overall

- (Mr. Talavera) found it recommendable that SPRCNHS has 90 partners for work immersion. This adheres to the practice of having multiple partners for immersion over and above the number of students. The SPRCNHS practice of having a school-based PESO is also impressive, as this gives improved access to students on information about jobs. DARSSTHS is also to be commended for capitalizing on the good relationship with LGU for SHS.

- (Mr. Talavera) also mentioned the Career Guidance Advocacy Program (CGAP), a convergent initiative of DOLE with DepEd, as providing opportunities for collaboration to address SHS needs. As for insurance, he believes there are plenty of insurance providers DepEd can partner with who can provide insurance for work immersion at lower cost.

- (Mr. Talavera) reiterated the need for DepEd to include TESDA Assessment results as an indicator by the project. Director Andaya replied students' assessment was funded for piloting phase and teachers' assessment for both NC and TM is also required. DARSSTHS Principal also remarked the PHP 500 assessment fee covered by DepEd is not enough for assessment in certain courses.

- (Dir. Andaya) expressed concern for the low number of female enrollees for industrial arts courses like automotive and welding, to which TESDA representative remarked that employment at present does not discriminate between genders and the model for TESDA Women's Center model can be replicated by DepEd for TVL track. Ms. Cecile Nayve of SCPD-BCD informed the members of the fact that the winner for the 2016 National festival of Talents for automotive servicing is a female student from one of the project's pilot schools, DARSSTHS.

- (RESPSCI Principal Domingo Viñas) reported the teacher items shortage for his school, advising JHS teachers are being asked to teach SHS subjects as teacher items were not provided to the school. Dir. Andaya advised Principal Viñas to take up the matter with the division office, as DepEd carefully canvassed the number of teacher items needed - there are even reported cases of too many teacher items in some divisions.

- (DARSTHS Principal Eladio Escolano) asked for clarification on the 80 hours work immersion, the need for work immersion insurance. Schools are not allowed to use MOOE for work immersion insurance of students and DepEd has a no collection policy. Dir. Andaya remarked that work immersion insurance should be chargeable to school MOOE, and this matter will be discussed with the coordinators during planning workshop for SY

2017-2018 being held in Tanza from October 11-13, 2016.

- (Dir. Andaya) announced to members DepEd is entering into a MOA with the Technical Vocational Schools and Associations of the Philippines (TEVSAPHIL) for delivery of TVL courses for schools who presently do not have the facilities or resources to offer these to their SHS. TEVSAPHIL is a national association of regional, provincial and district associations of private tech-voc schools throughout the Philippines.

6. Summary

Director Andaya summarized the discussions and suggestions made during the meeting as follows:

- There is a marked need to conduct industry mapping as local industry needs should help determine SHS offerings.
- The LGU needs to be engaged as a partner for SHS, for their influence on local businesses which can be instrumental for work immersion and placement. LGU funds can also be used to help address resource gaps.
- The support of the general PTA is important for SHS to be successful.
- Project implementation is on time, as the JICA Project team headed by Mr. Ishii, has been diligent in implementing the project activities.
- Rewards of early implementation include the replication of best practices by schools now offering SHS-TVL track, including the practice of empowering Industry Linkage Coordinators.
- The success of school improvement projects for AFA courses can give insights for addressing low enrolment in AFA strand.
- The DepEd Bureau of Curriculum and Development is looking forward to future initiatives with JICA focusing on agriculture courses, given the department's aim to contribute to the achievement of sustainable agriculture and livelihood.
- Participation of the External Partnership Service of DepEd is needed for the next JCC meeting. DepEd is suggested to review the guidelines on immersion, taking into consideration the experiences of the JICA partner schools.
- Immersion guidelines should articulate gender and development (GAD) concerns, especially in addressing the enrollment discrepancy for male-dominated courses.

Mr. Morita of JICA also added to the closing remarks by stating the progress and achievements of the project clearly go beyond the agreed targets. With pilot schools serving as models for other TVHS, he encouraged everyone to stay motivated and be committed to improving basic education. End